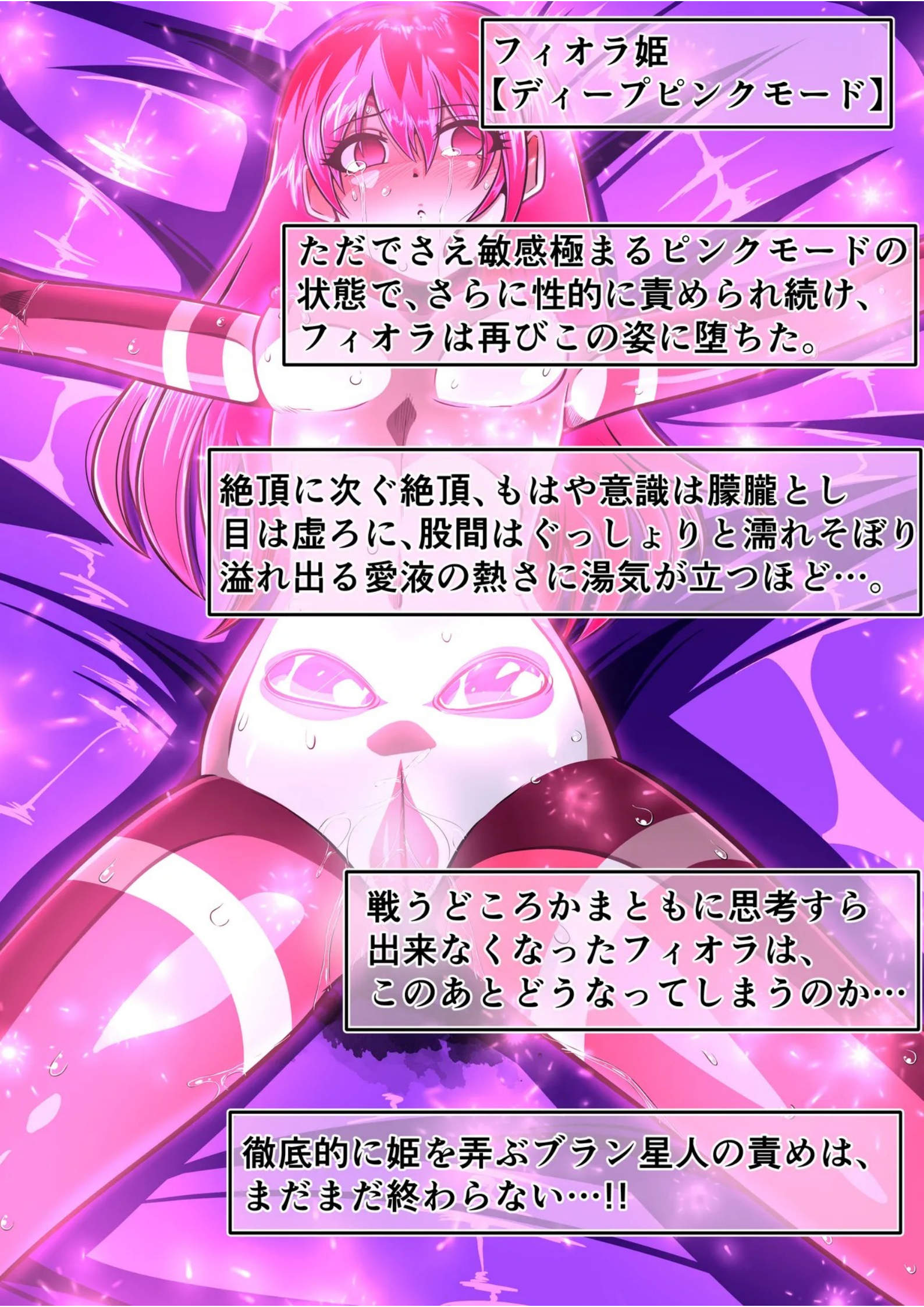




フィオラ姫
【ディープピンクモード】

ただでさえ敏感極まるピンクモードの状態で、さらに性的に責められ続け、フィオラは再びこの姿に堕ちた。

絶頂に次ぐ絶頂、もはや意識は朦朧とし目は虚ろに、股間はぐっしょりと濡れそぼり溢れ出る愛液の熱さに湯気が立つほど…。

戦うどころかまともに思考すら出来なくなったフィオラは、このあとどうなってしまうのか…

徹底的に姫を弄ぶブラン星人の責めは、まだまだ終わらない…!!



ヒメノヒカル
【単独変身】

体内に残ったフィオラの力が
光の渴望に呼応し、発現したことで
彼女はこの姿へと変身した。

もう一点、これは皮肉にも、だが…
ゲロル星人と同化した男に
押し倒され、異星人の体液をその身に
受けたことも変身出来た要因である。

果たして、この姿になったヒカルが
どこまで戦えるのか。
下腹部のクリスタルが赤く光って
いるのが気がりだが……

【姫野 光レイプ未遂事件】

光が高校2年生になってまもなく...

部活からの下校途中、6人組の男達に突如襲われ、強姦されそうになった過去がある。

主犯はひとつ年上の同じ学校に通う男子生徒。光に交際を申し込み、2度目のデートでホテルに誘ったところきっぱり断られ、そのまま別れたことを根に持っていた。

そこで、彼女を力づくで押し倒そうと地元のガラの悪い友人達と待ち伏せし、犯行に及んだのだ...

幸い、通行人の通報によって計画は未遂に終わったが、光の心には大きなトラウマが残った...

【光の肉体について…】

胸や尻が大きく、非常に男受けの良い
体つきをしている光。

…その上、実は相当の『名器』の
持ち主でもある…。

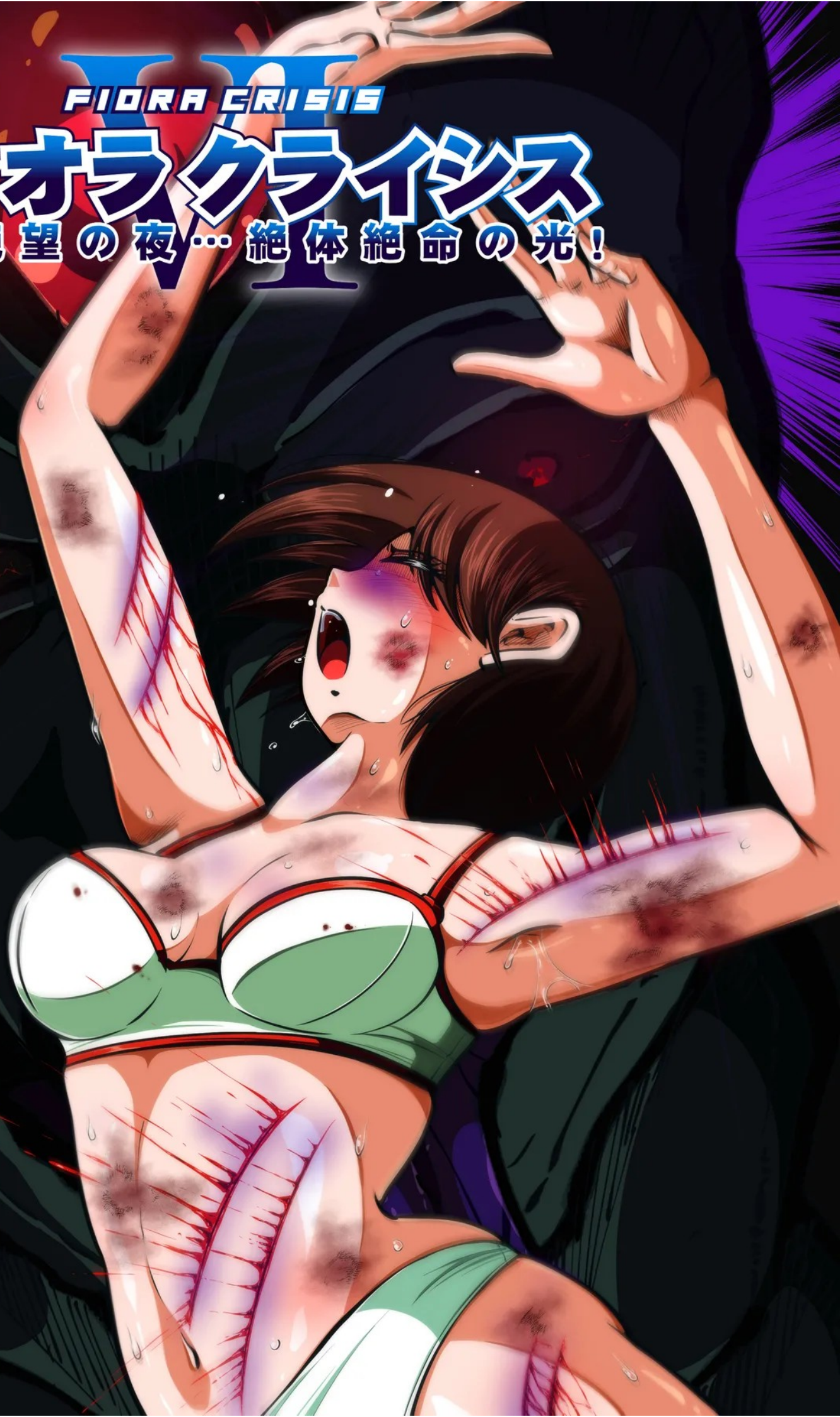
膣内はかなり狭く、吸い付くような
きめ細かいヒダが肉棒を締めつける。
奥にいくほどに膣圧が強く、男はより深く
深くペニスを突き入れたくなるのだ。

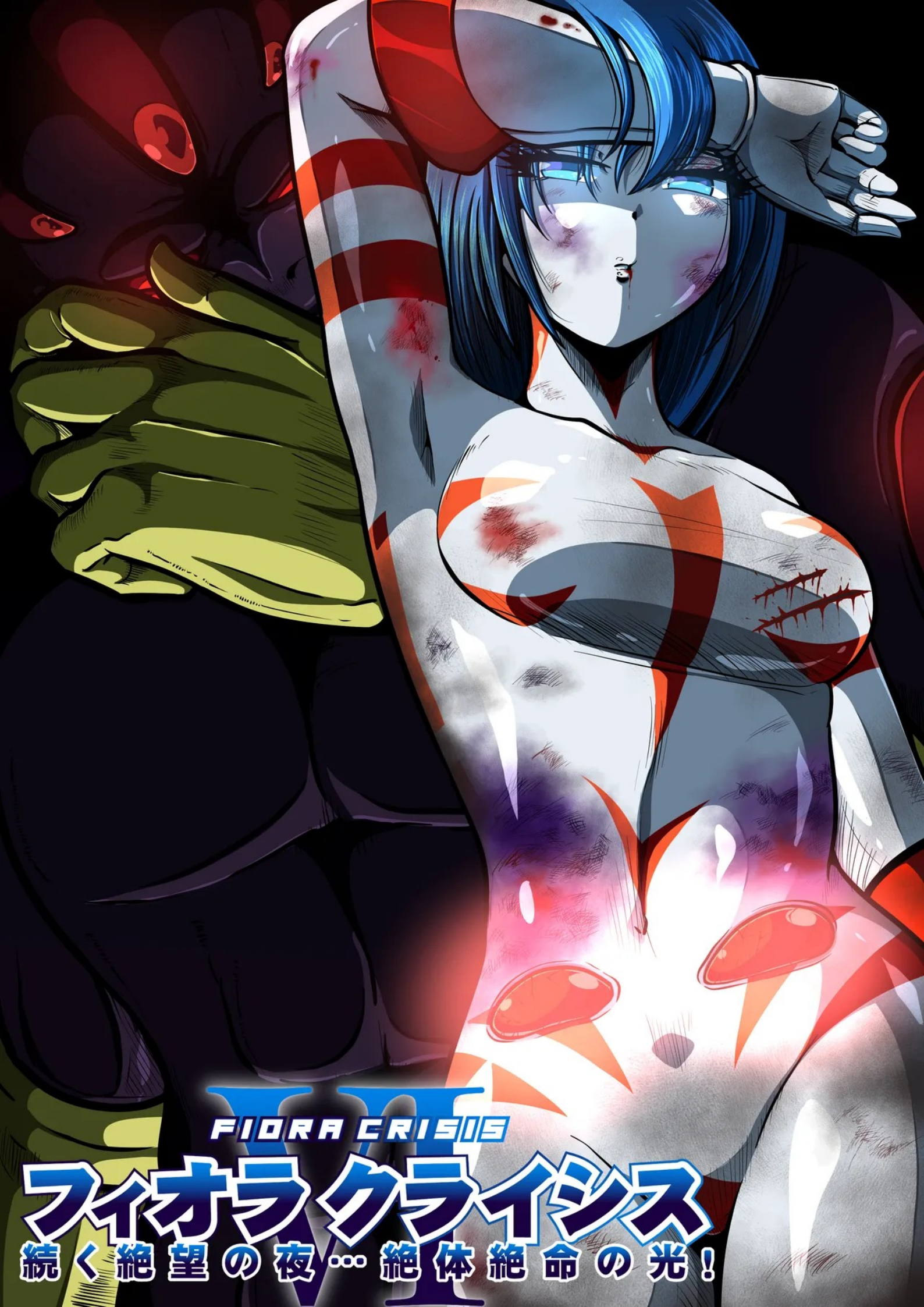
さらにとろけるような
甘い声も合わさり、
まさに極上の女体といえるだろう…

FIORA CRISIS

フィオラクライシス

続く絶望の夜... 絶体絶命の光!





II
FIORA CRISIS

フィオラクライシス

続く絶望の夜... 絶体絶命の光!

前回までのあらすじ

◆ブラン星人の放ったヤリに
太腿を貫かれてしまうフィオラ。
この攻撃により、機動力がさらに
激減してしまう…。

◆凄まじい激痛が全身を襲う。
焼かれるような感覚に、姫は
たまらず絶叫し、苦しんだ…!!!



脚の傷が深すぎる姫は、避けることも
出来ず一方的に… !!!

女性の顔に容赦ない殴打…

柔らかな腹部へめり込むブランの巨大な拳…!



◆このときすでに、
ファイオラの残りエネルギーは
わずか11%ほどしかなかった…



◆ゲロル星人の両腕がフィオラを襲う。
爪による攻撃で姫は猛毒に犯され、もはや
敗北は決定的なものに…！！

ピンクモードのフィオラの肌は
通常より遥かに柔く、ツメによる斬撃に
とても耐えられない…！！

◆毒で苦しむ姫にさらなる追い討ち…！
両腕による締め上げに、全身の骨が軋む！！
抵抗できないフィオラ、絶体絶命…!!!



◆剥き出しになった女性器を無遠慮に
舐めくじられ、はしたない嬌声をあげる姫…

ただでさえ疼きを堪えていたフィオラに、
この責めの効果は絶大だった…
愛液はとめどなく溢れ、乳首は痛いほどに
固く尖って…！

◆毒による筋弛緩効果も全身に回り、
もはやゲロルのされるがまま…

そして、フィオラはこの直後、最弱の
“ディーブピンクモード”に変化して
しまうのだった…



◆ゲロルに延々と辱められ、ついに最弱の『ディープピンクモード』に変化した姫。

ただその肉体を無防備に晒すだけの
フィオラに、下劣な星人はよりいっそう興奮し
たつぷりと彼女を視姦する…!!

◆このとき、フィオラの残りエネルギーは
3%しかなかった。まさに死の寸前である。

意識もほとんどなく、もはや
自力で動くことすらも
出来なくなっていた…



◆ディープピンクモードのフィオラは
ゲロル、そして再び欲情したブランにまで
たつぷりと犯され、とうとう息絶えてしまう…

この姿の姫はまさに無防備そのものの…
触るだけで壊れてしまいそうな脆さなのだ。
そんな状態でさらに辱めを受けてしまっては…

必死に激痛や、狂ってしまいそうな快楽に
耐えていたフィオラだが…
糸が切れたようにぐったりとし、もう動かない…

◆姫の無惨な姿を見せしめにするため、
星人達は彼女を磔刑にしようと企む。

抱き抱えられたフィオラは、当然だが
なんの反応も示さなかった…

◆悪逆な宇宙人達に最期までいたぶられ、
なぶりものにされ、そして、いいように犯され――

ついにクリスタルの輝きが失われた姫…。
ボロボロにされたカラダを、宇宙人たちは
逆さ磔に拘束し、晒し者として空中に固定した。

このままブラン星人は『依頼主』へ
フィオラを献上する……のだろうか？

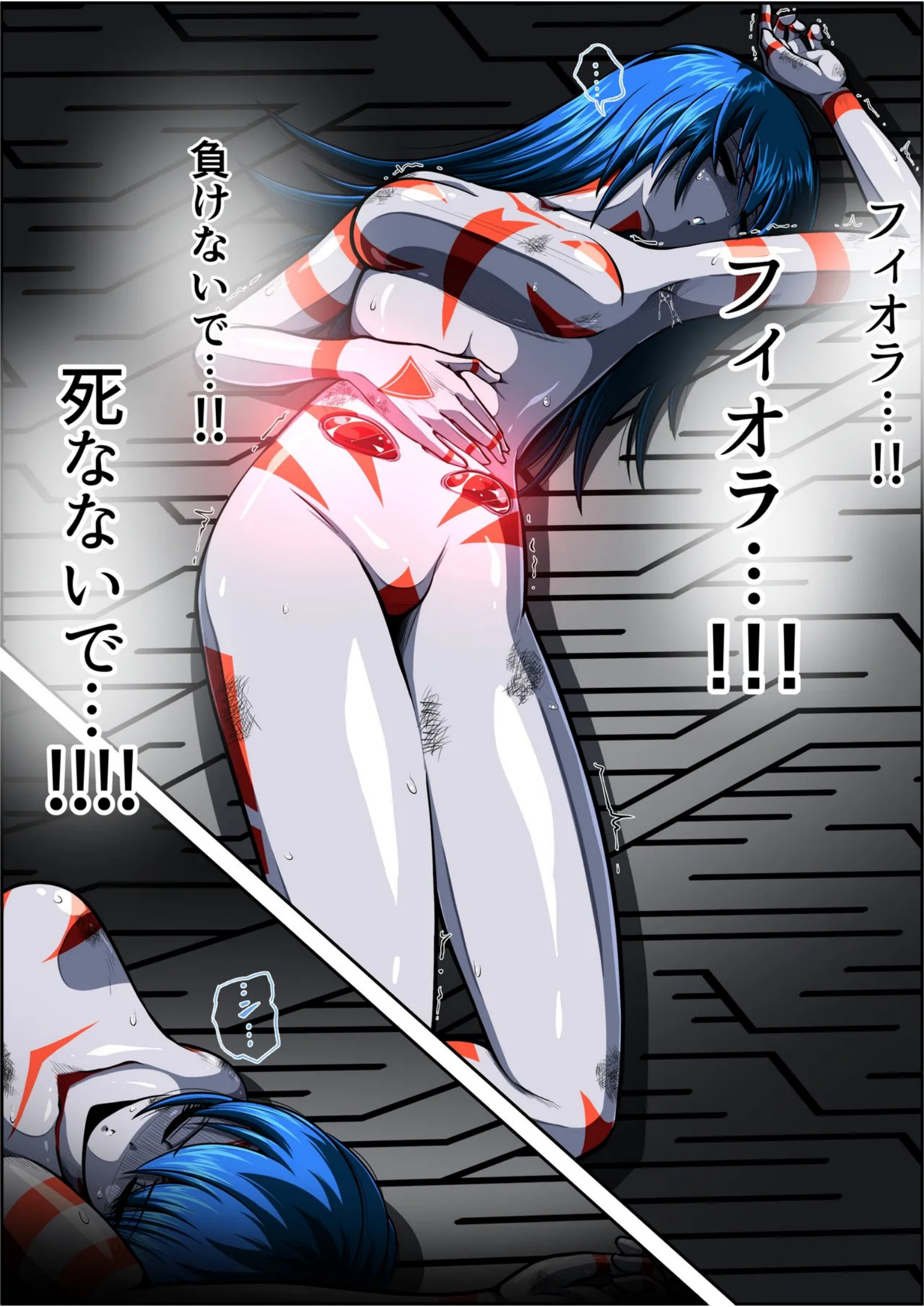
……それとも――……？

ファイオラ…!!

ファイオラ…!!!

負けないで…!!

死なないで…!!!!

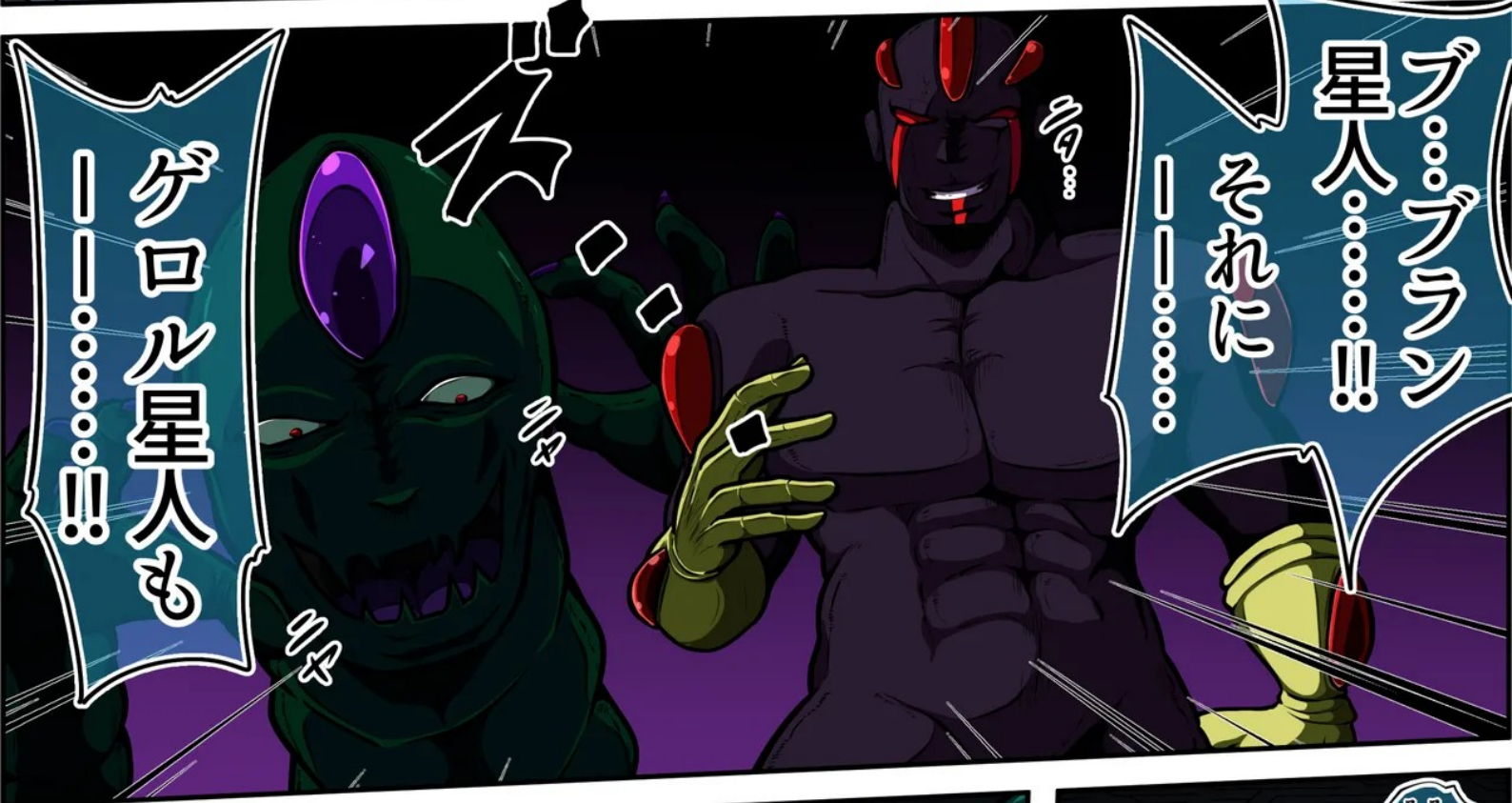






グフフ…
お目覚め
かな…?

姫よ



ゲロル星人も
——…!!!

ブ…ブラン
星人…!!!
それに
——…!!!



……ッ!?

……あ
……あ
……!!!

ズ…ズ…



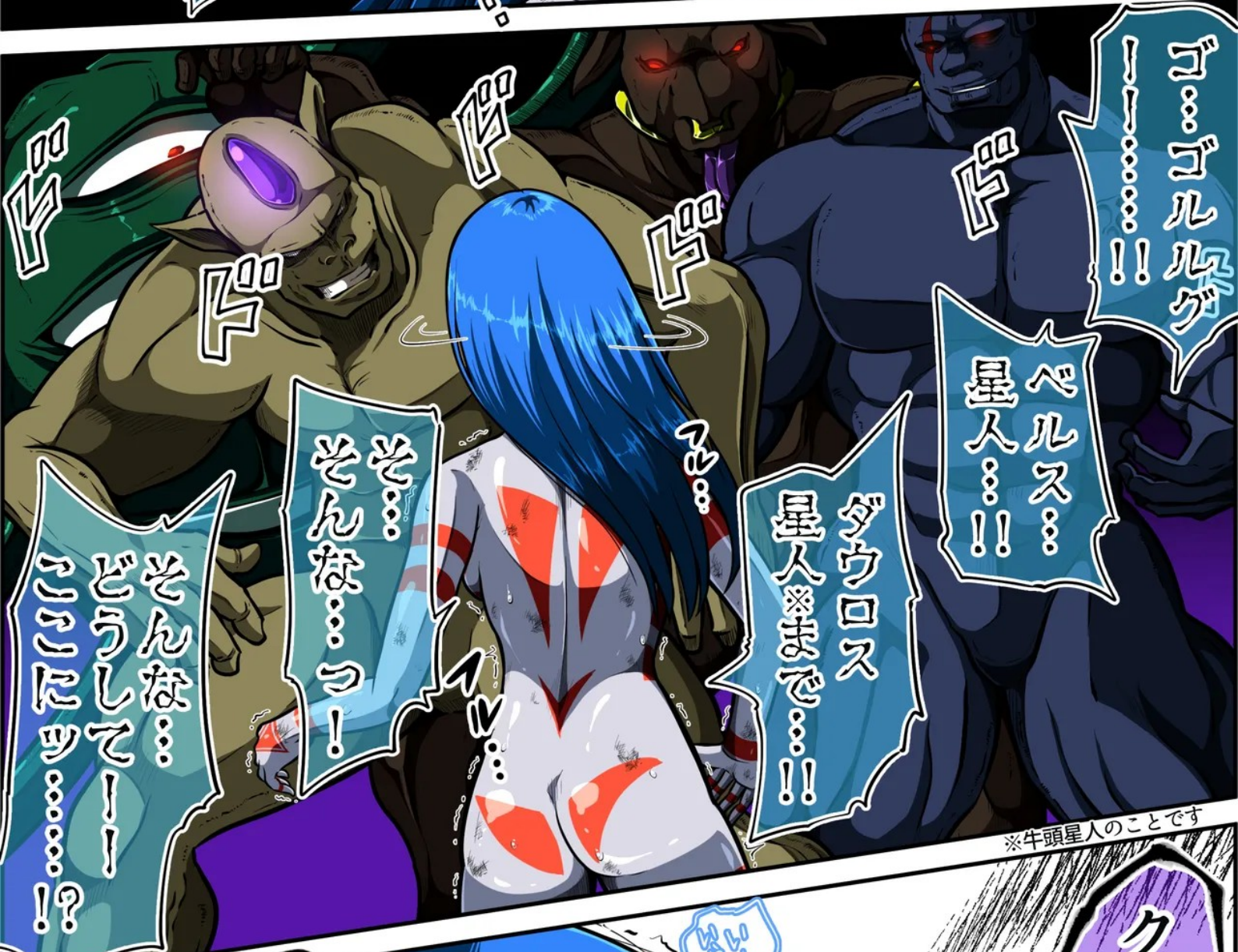
そ…
そんな…ッ!!

クレヒツ!!
オレ達だけじゃ
ねエぜ…?



あ……あ……

あああ……
……!!



ゴ……ゴルグ
……!!

ベルス……
星人……!!

ダウロス
星人……!!

そ……
んな……!!

そ……
んな……
どうして……
ここに……!!

※牛頭星人のことです



ククク……

では再開
しようか……

ファイオラ姫
殺戮シヨールを
……な……!!



ズ

あ……
あ……
……

ズ

ズ

ズ

ズ

ズ

ズ

い……いや……!!

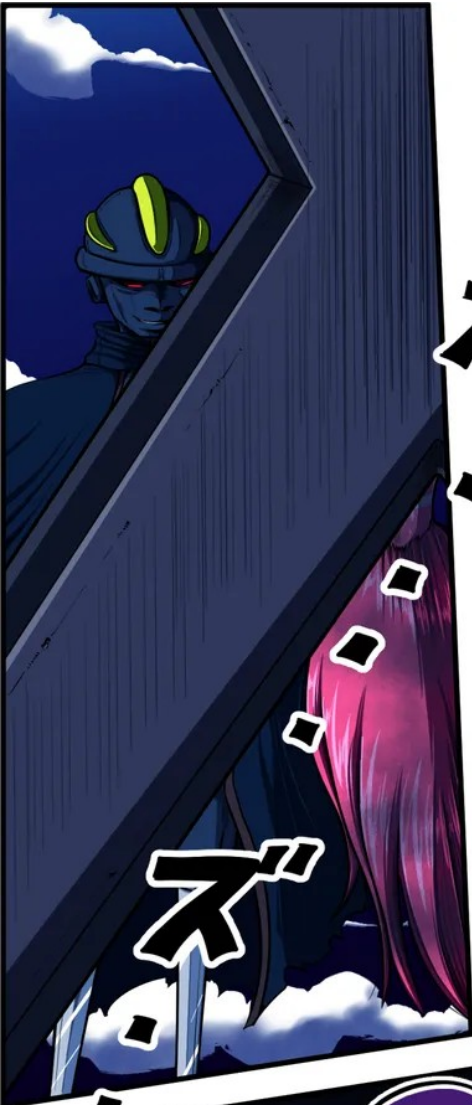
やめて……!!

ズ

いやああああ
——ツツ!!!

ガッ

ああああああッ!!!



絵になるな
……!!!

—————
クク

実に……!!!

姫よ……

お前は……
美しい……!!!

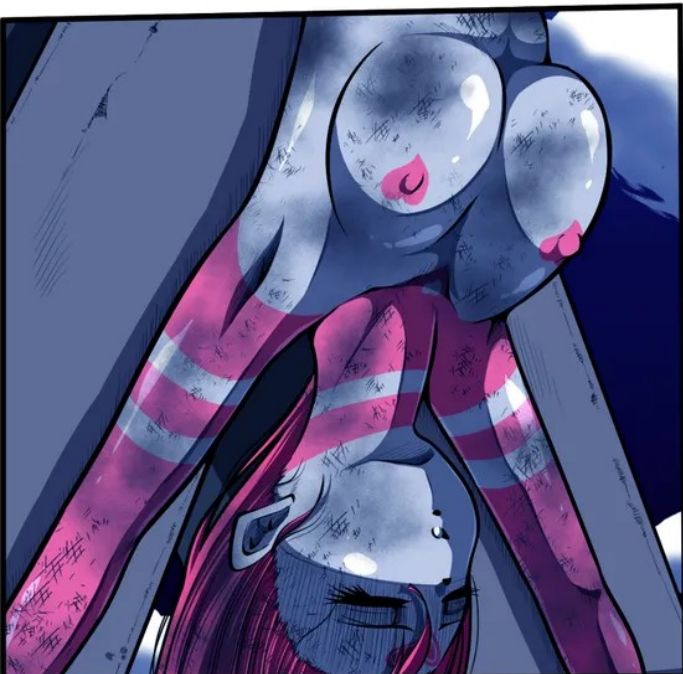


こうして
見ると
—————

改めて
感じるぞ……

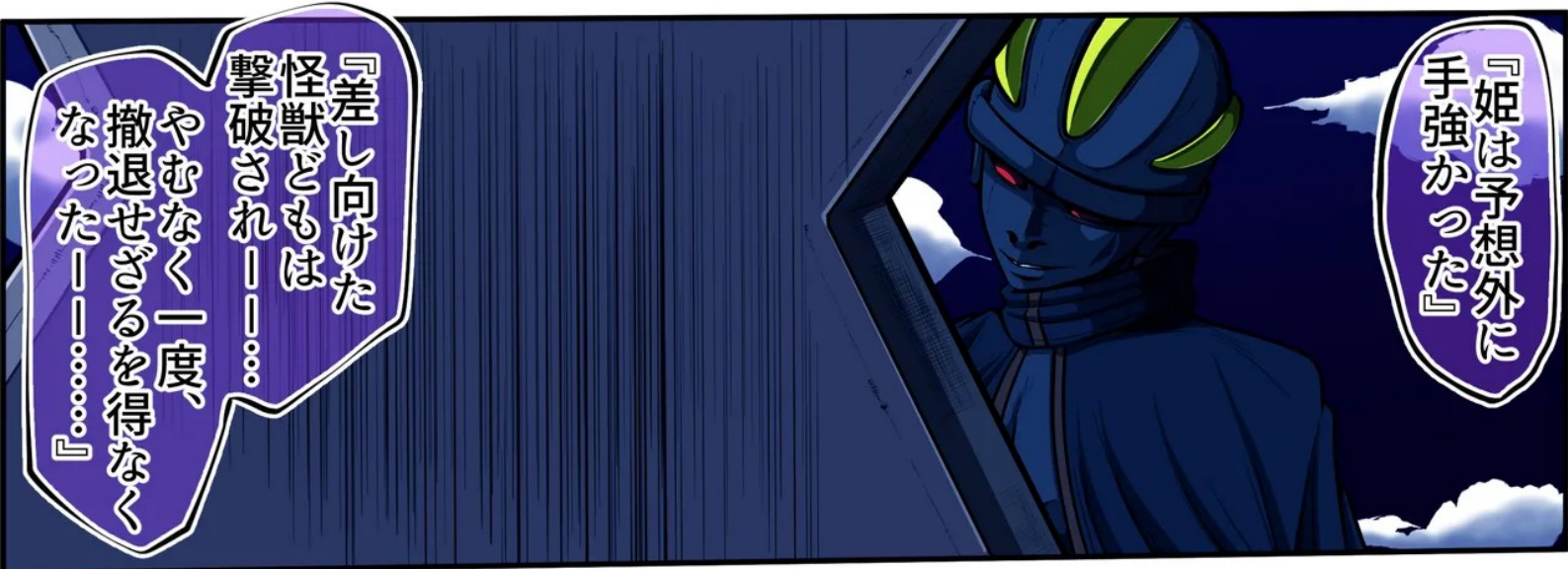


…このまま
殺すのは
あまりに
惜しい……!!!



私の目的は
お前の抹殺
だが
……

依頼主からの
期限にはまだの
時間があつたな



「姫は予想外に
手強かった」

「差し向けた
怪獣どもは
撃破され……
やむなく一度、
撤退せざるを得な
くなった……」



ククク……!!!
さきほど、そう
報告を入れたよ……

これでもう
しばらく時間が
できたワケだ
ククク……ツ!!
喜べ……まだ
生かしておいて
やる……!!!

あのゲスには
地球人の女で
遊ばせてやる

女なら誰でも
良さそうだからな

つくづく下品な
ヤツだよ、クク...

さあ...

我々は場所を
移そう...

邪魔の
入らない
——:.....

ズ
ズ
ズ
ズ

お前の相棒も
連れ込んだ
異空間へ.....

ククク.....!!

:.....
:.....



ゲロル
その女は
くれてやる
好きにしる……

オレは姫様を
お連れしてくる
丁重に、な
ククク……!!

く……っ!
う……!!

ファイ……
ファイオラを
どうするのッ!?

わかった
よ……

……ああ……

……クククツ……
言うまでも
なかるう

この死体を
引き渡す
それでオレの
仕事は完了だ
滞りなく、な……

なに、お前には
悲しんでいる
ヒメはないと
思うぞ……？

目の前のゲスに
たっぷりと
蹴られるんだ
からな……!!

クククク……!!

……ッ……!!
う……う……!!

ゆ……
許さない……!

許さない……!!
よくも……!!
!!!

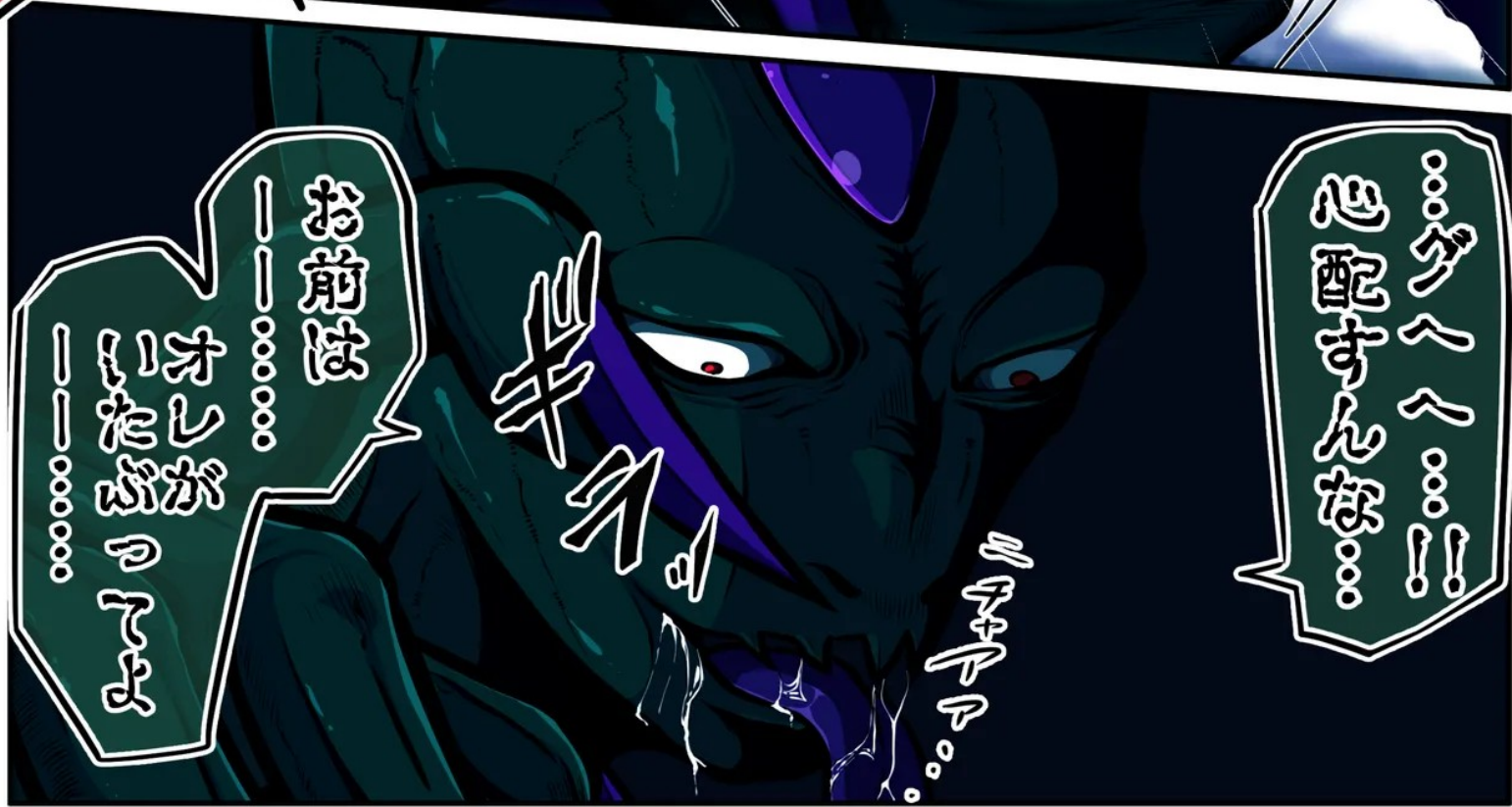
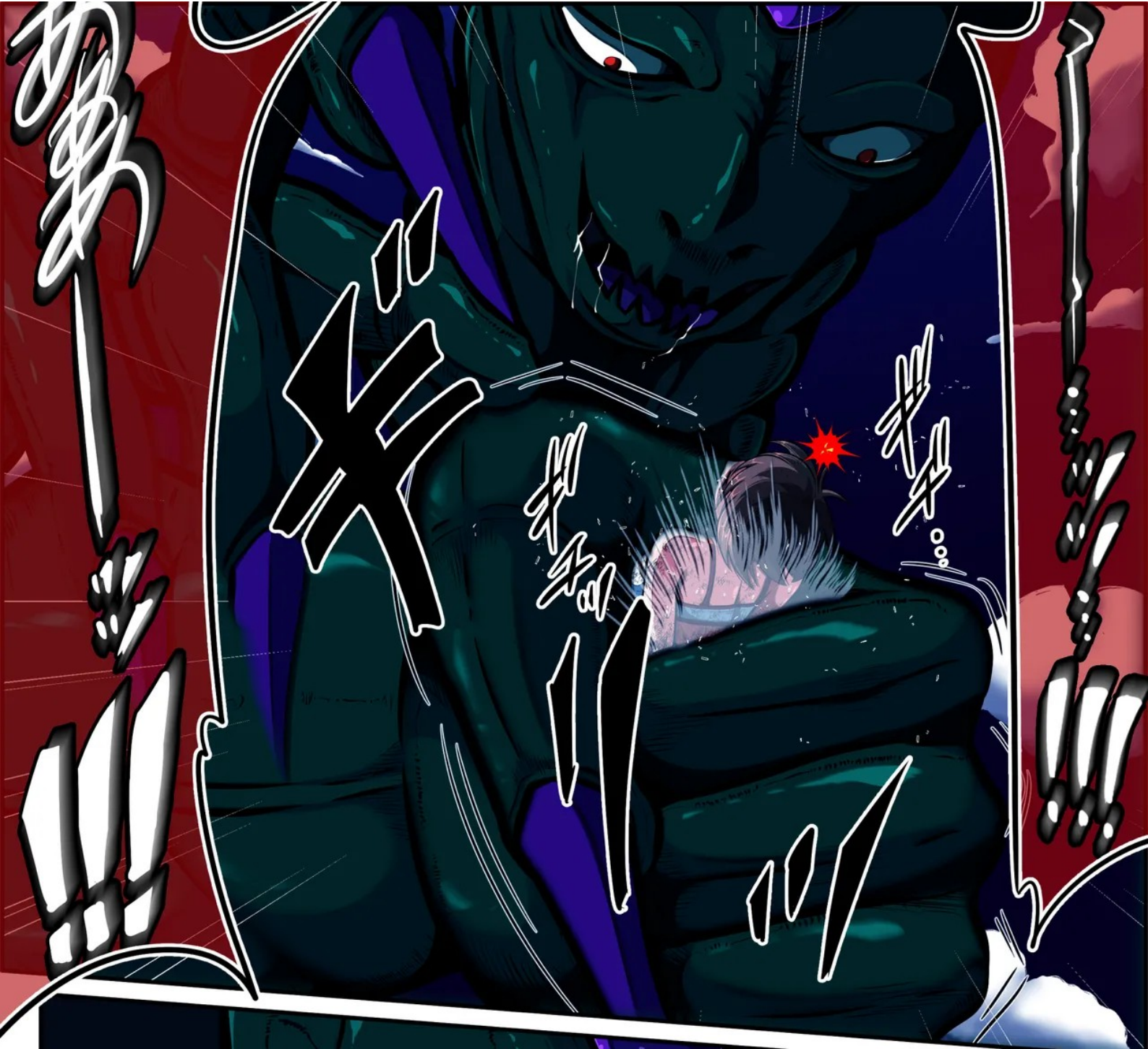
この状況で
その意気は
大したもんだ

さすが
ファイオラが
選んだだけの
ことはあるな……

だが……

お別れだよ
ヒメノヒカル





…グへへ…!!
心配すんな…

お前は
——…
オレが
いたぶってよ
——…



また
すぐに……

ぐ……
ああッ……!

うううッ!

あああああ
……ッッ!!

ファイオラと同じ
ところに行かせて
やるよ……!!



ククク…
本気で
同情するぜ

……

ゆ……ゆる……さ
ない……!!
絶対……

ギ
チ

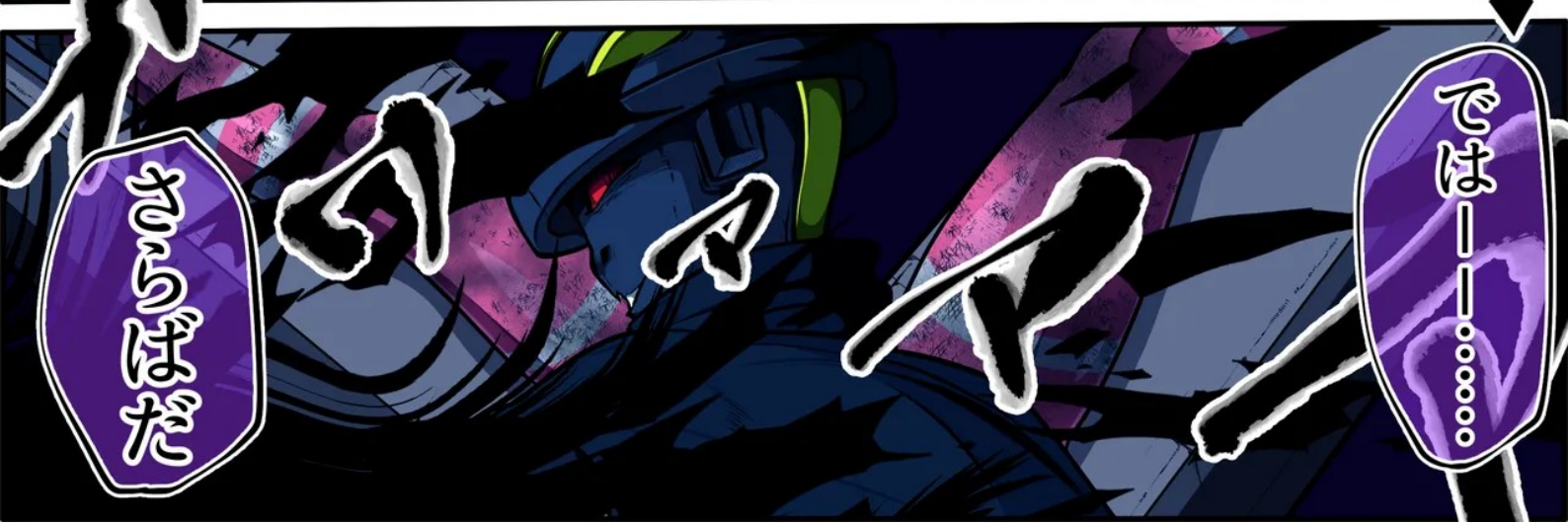
ギ
チ

ゆ……るさ……ない……!!
ファイオラを……
ファイオラ……を……
かえ……せ……ッ……!!

……
フン

……せいぜい
苦しめ……
……小娘が

よりによつて
ソイツに殺られる
のは、な……





あああッ!!

フイオラ
ーッツツ!!!



ま...待てよ
チクシヨオッ!!!

話が違エじや
ねえかよおおッ!!

てめエエッ!!!



最後まで
うるさい
奴らだな...

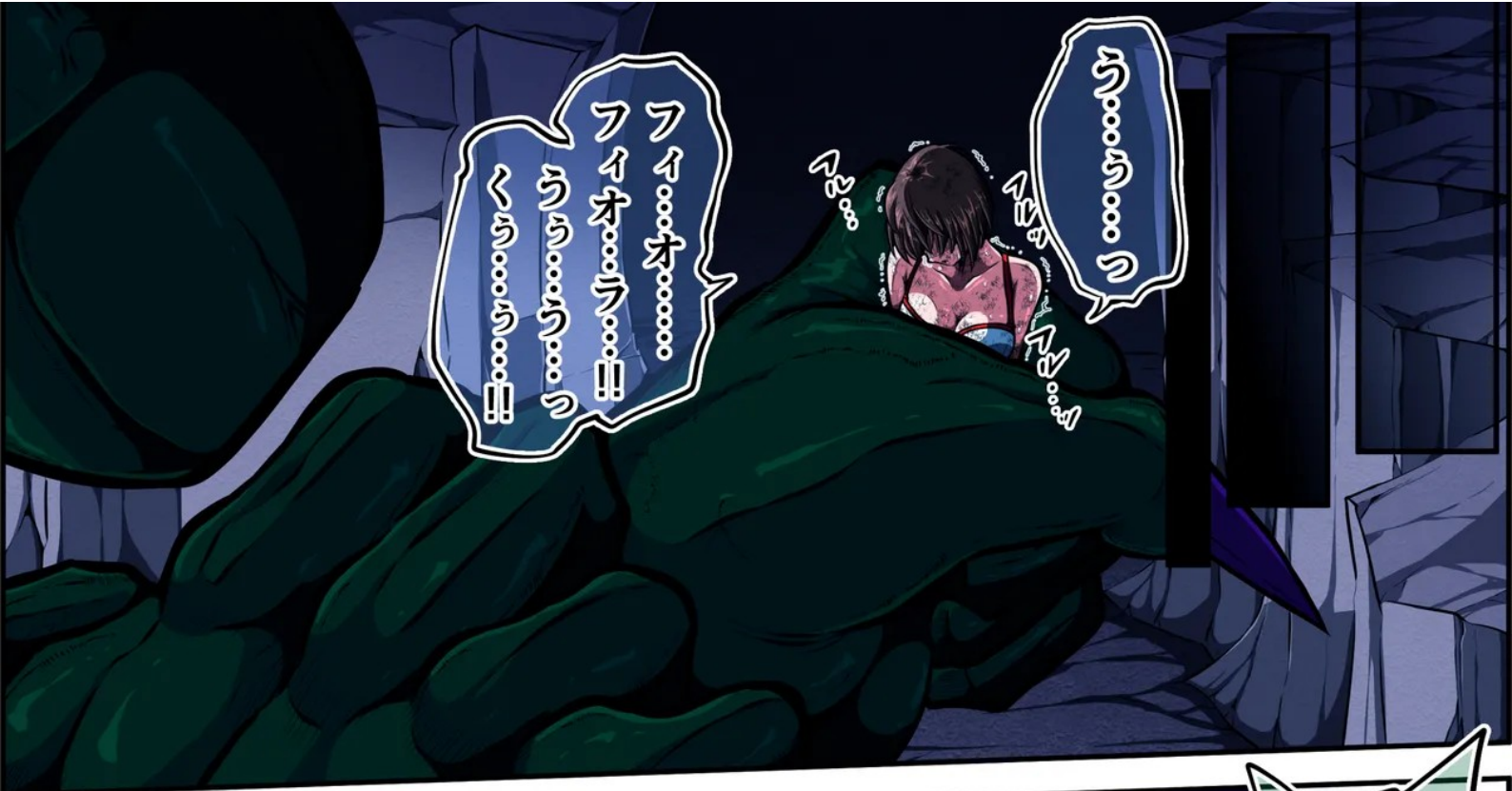
せいぜい
仲良くやれ
ククク...

もう会うことも
あるまい.....



クククッ

失礼



ファイオ……
ファイオ……ラ……!!
う……う……う……!!
く……く……く……!!

う……う……う……!!



く……く……そオツ
あのキザ野郎オ……
……!!

ふざけや
がつて……

ファイオラも結局
てめエで
お持ち帰りかよ
クソが……ツ!!



私は……お前も
絶対許さない……!!

とつとと殺しな
さいよ……!!!



……!!

……あア?



……ファイオラは……
なぜアンタたちに
狙われるの……?

……う……う……う……!!
……!!



このー
……

卑怯者
……ッ
!!!

……
……

……小娘エ……
口に気イ
つける……?

オレは今
ムカついてん
だからよ……!!!

握すり
潰……
ぞ……!!!

私を脅しても
ムダだってのよ
このクズ……!!!

ゲアンタは一生……
ガスな使いっばで
終わりよ!!!



!!!

う…ああッ
あぐううッ
!!!
!?

ー
ー
ー
ー
ー
ツ
ツ
!!!

バ
カ
に
し
て
ん
!!!

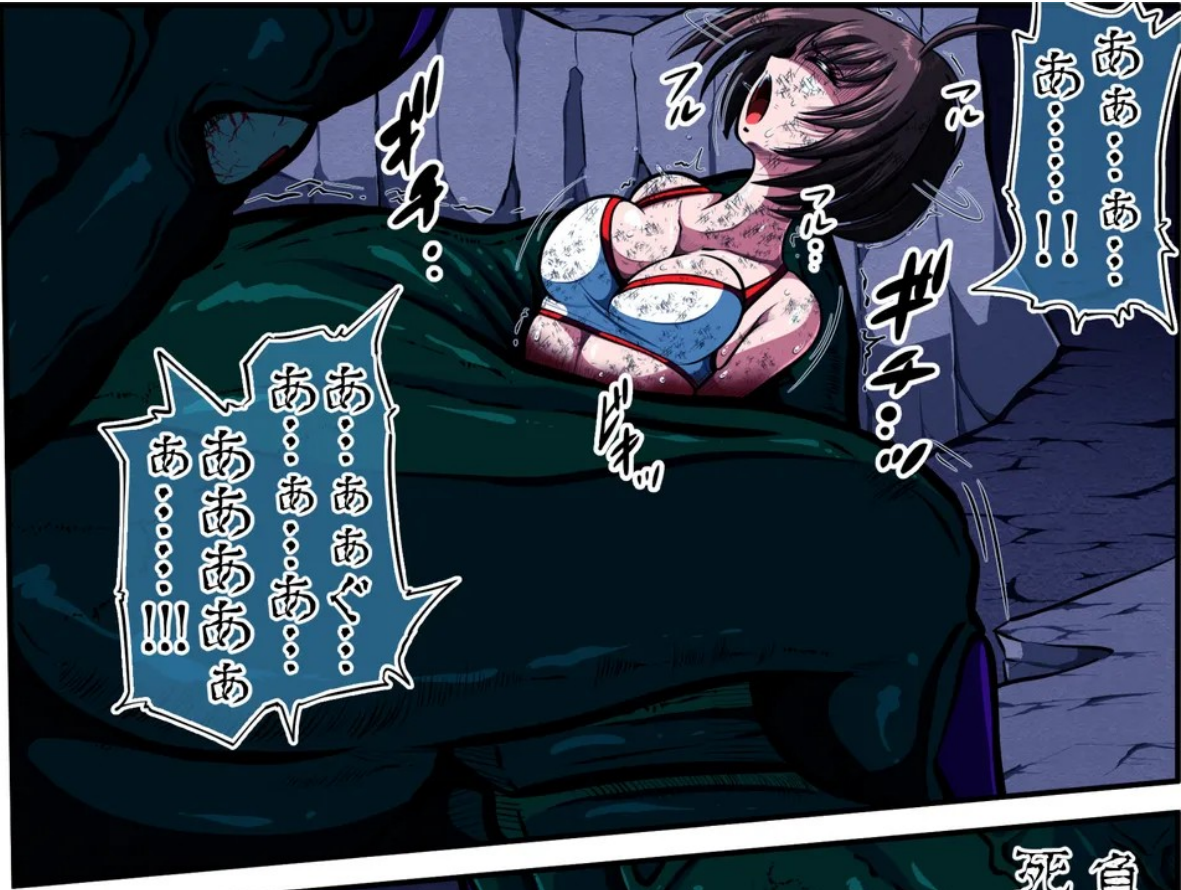
ビ
ヤ
ね
エ
エ
エ
ん

オラ…!!

鳴けツ…!!!

苦しめ…!!!

「簡単には殺さねエからな…!!!」



グヘヘヘ…
少しは
大人しくな
った
じゃねエか…

ヒヒツ…骨は
折れてねえは
ず
だが……

ヒヒツ…骨は
入ってるか
も
な……!!

あ……あ……
うあ……あ……

ああ……
ああ……

これで
思い知ったか?

オンナの分際で
生意気なこと
ぬかしやがって……

てめエはよ、
ファイオラが
いなきや……

何にも出来ねえ
んだよ……!!
グヘヘヘツ!!

あ……あ……
あ……あ……

そらいっ...

またいい声で
鳴けよ...?

今度は骨まで
いつちまう
かもな...!

う...あ...っ...
ああ...あ...!!

ああッ!!

ああああッ!!
うああああッ!!!

ああああ...ツ...!!
うああああああ
ああああ...!!!

フイ...オ...

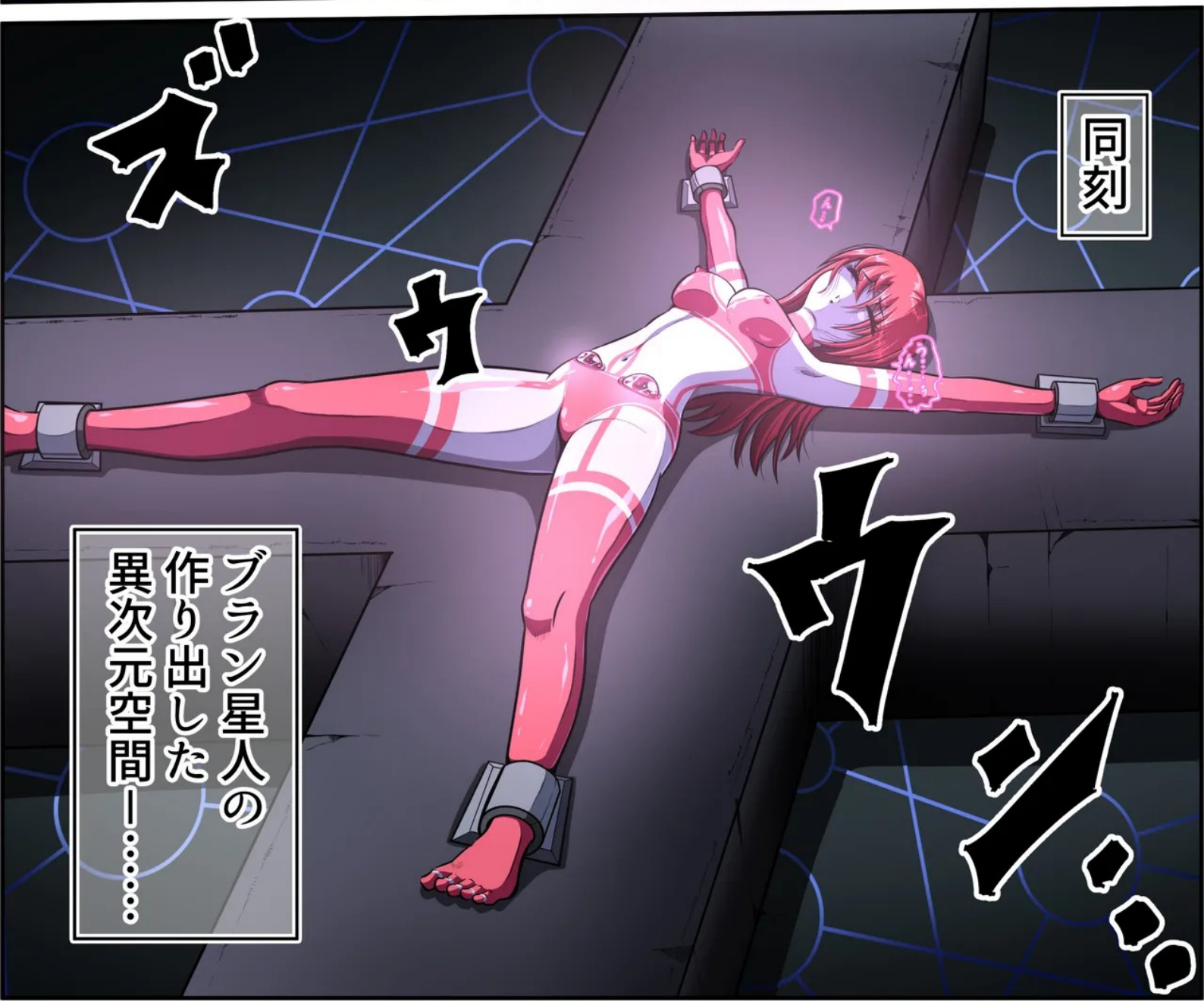
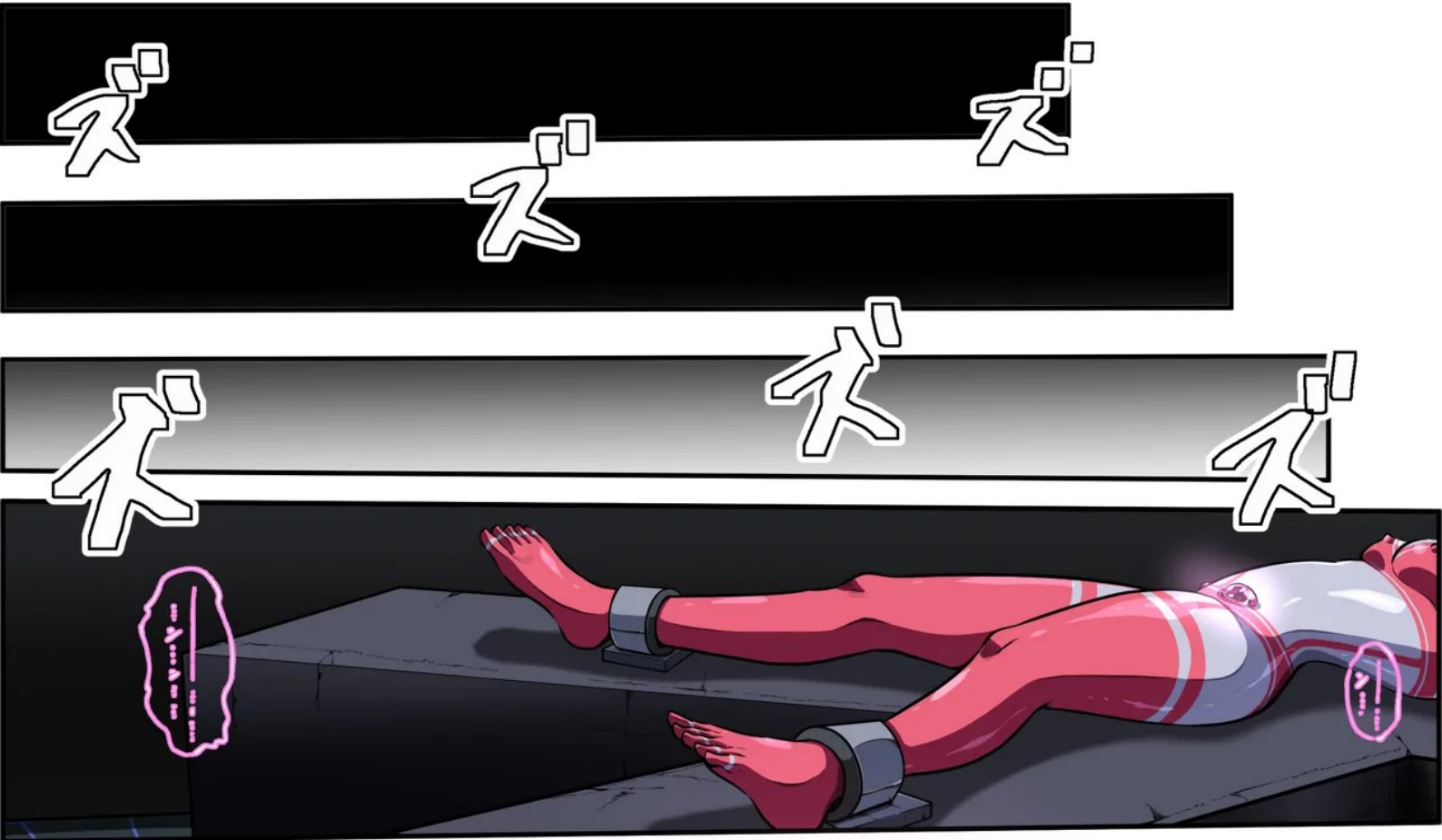
わた...し...

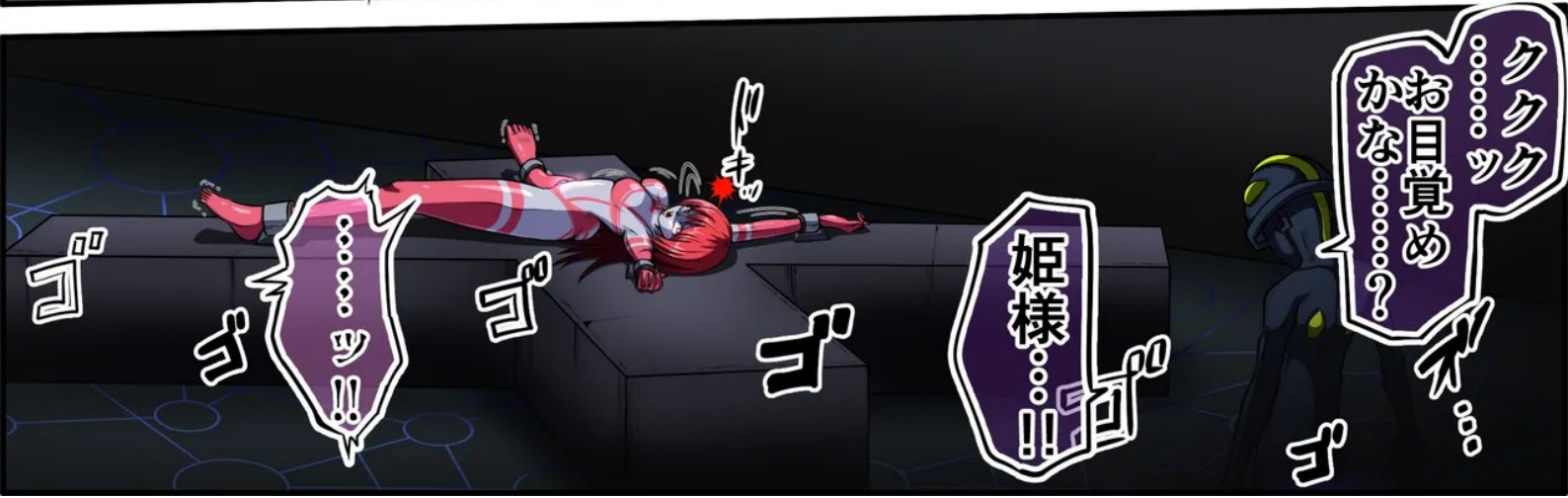
ググググ...!!
ググググ...!!
ググググ...!!

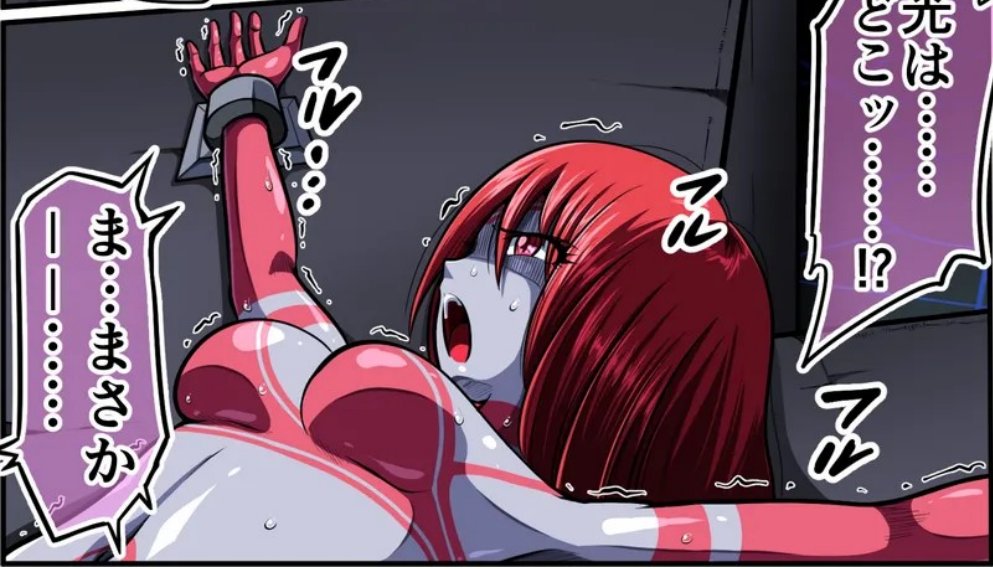
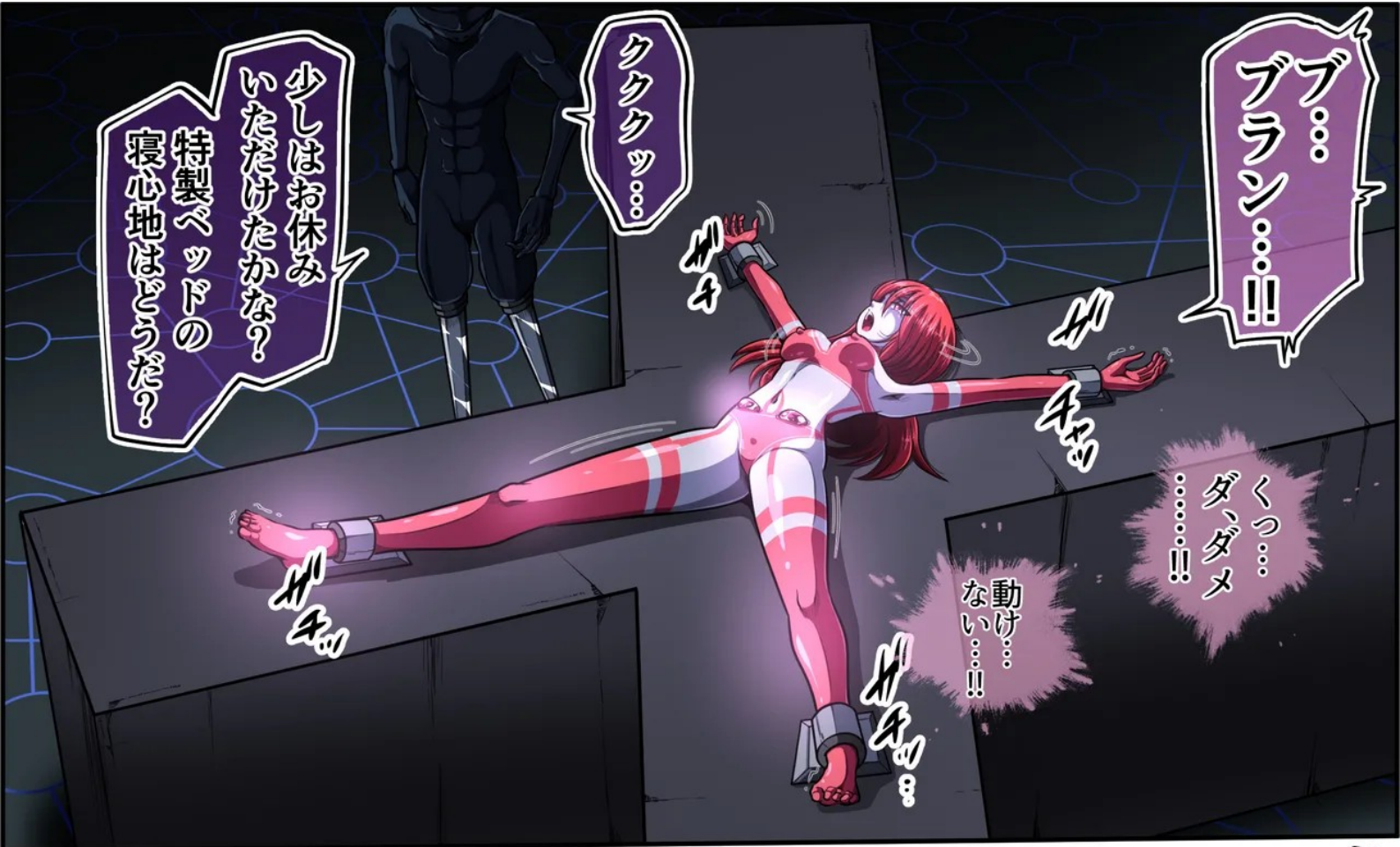
ググググ...!!
ググググ...!!
ググググ...!!

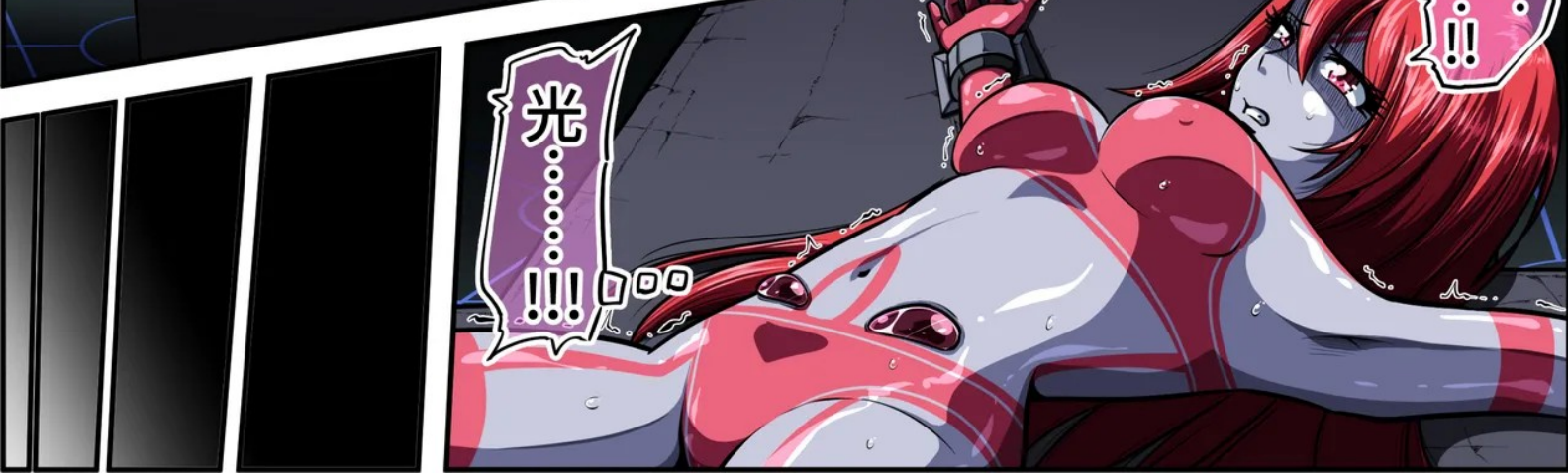
ググググ...!!
ググググ...!!
ググググ...!!

ググググ...!!
ググググ...!!
ググググ...!!





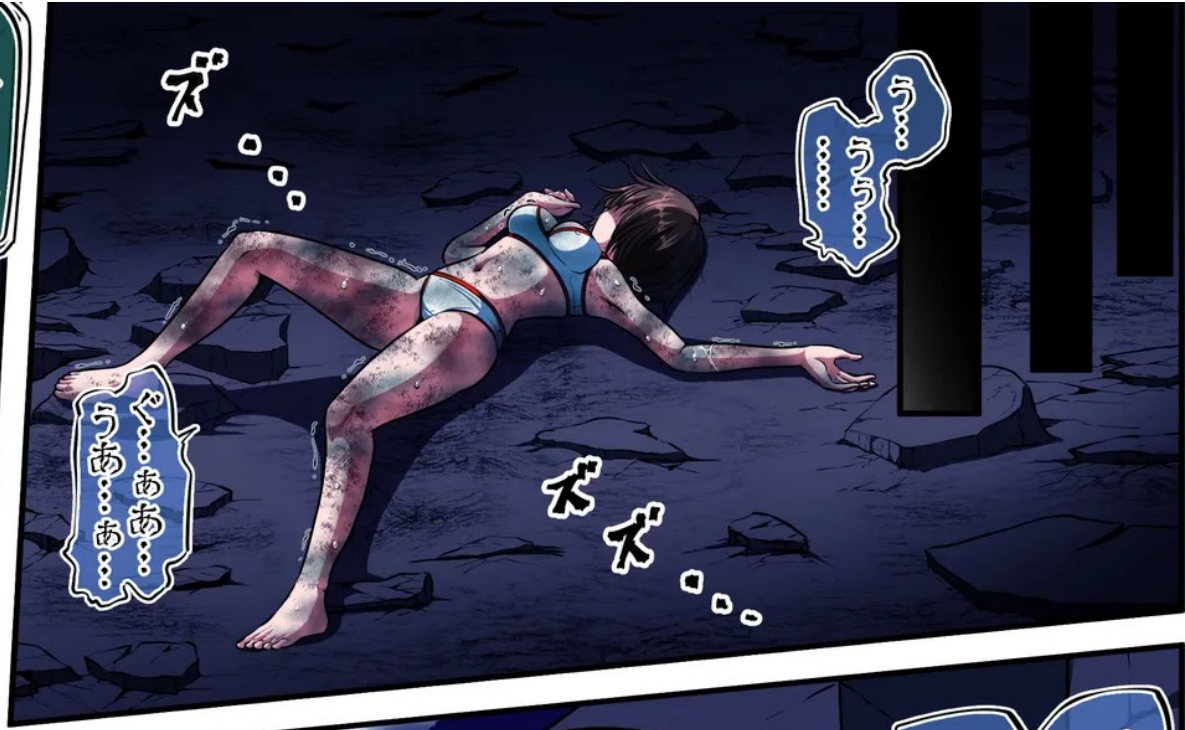






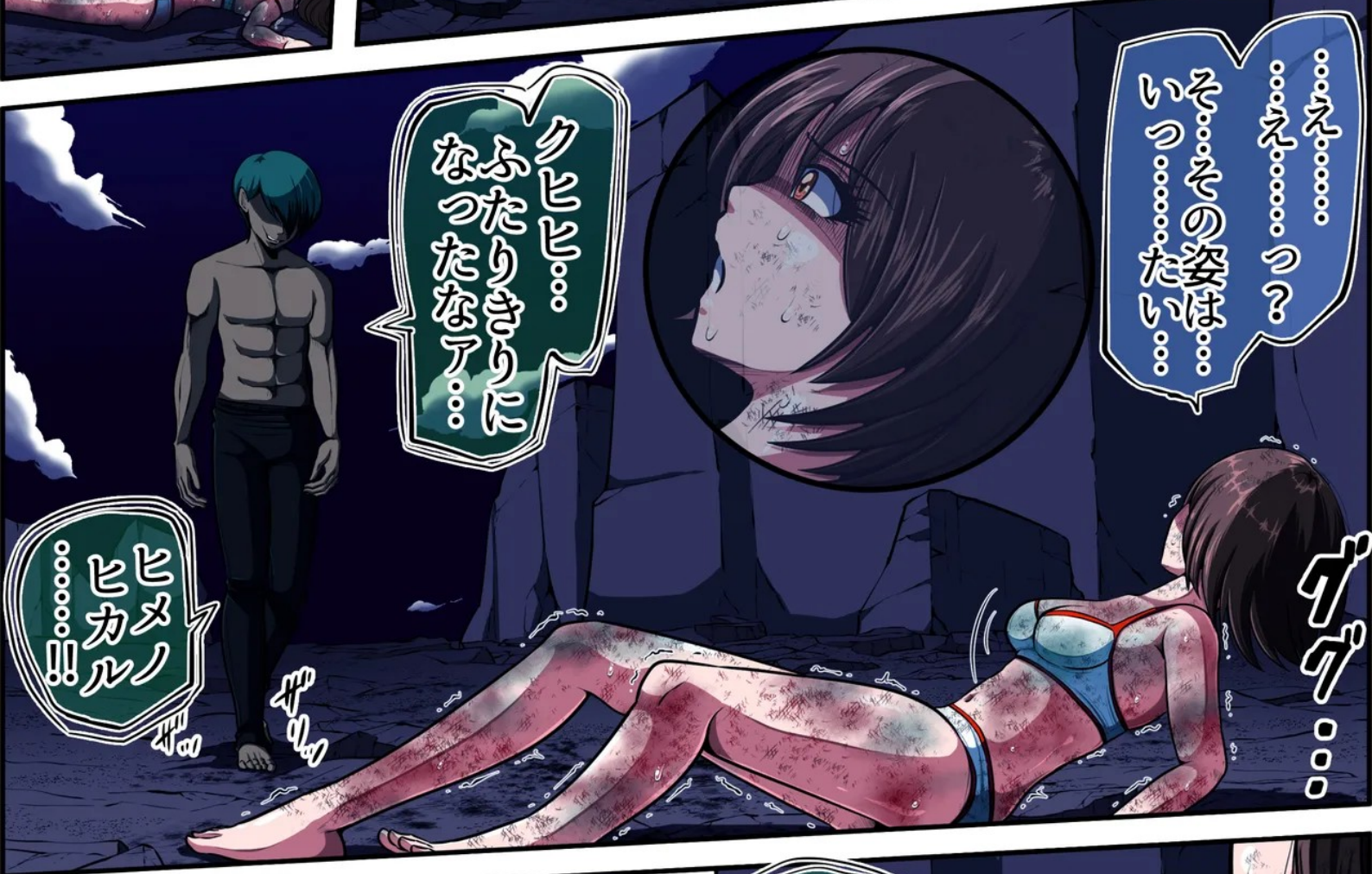
！…グヒヒッ
起きたかア？
まだまだ
！…

遊ばせて
もらうぜエ…



ぐ…ああ…
うあ…あ…

う…
う…
う…



クヒヒ…
ふたりきりに
なつたなア…

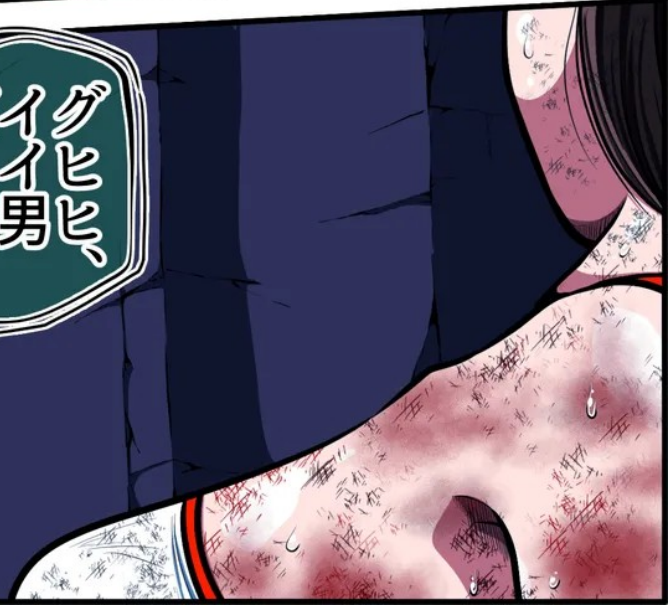
…え…
…え…
…っ？
そ…その姿は…
いつ…たい…

ヒメノ
ヒカルノ
…!!



オレも
お前らと
同じ…
地球人と同化
してみたんだよ
ヒヒヒヒ…!!

グヒヒ、
グヒヒ、
だるオ男？



なあ…
ヒメノ
さんよオ…
オレと
同化した
この男
ー…

誰だか
わかるかア?



……?
し…知らない
わよ…
アン…タ…
なんか…!!

ど…どうして
そんな…ことを
っー…!!



そうか…
グヒヒツ!!
オイ…

知らねエってよ
やつぱり…
ヒヒヒヒヒ…ツ!!



……
そうか…
やつぱ…な…

ちぎしよー!
宇宙人の言う
通りなんてよ…

ムカつくぜ…
少しは印象
残ってると思
ってたんだ
けどな…

な…なんなの…
だ、誰なの!?

こ…声が
変わった…!?

アンタ…自分が
何をしてるのか
……
分かってるの!?



4年前の
夏……

お前の
元カレと
楽しく……
フフフ……

……これで
わかるかあ？

ヒカル
ちゃんよ

……ッ……!!

え……?
え……?

あ……!!
あ……!!
あ……!!

コイツかよ!
マジ可愛いじゃん
へへへッ!!

抑えろ抑えろッ!
逃すなッ!

やベツ!
コイツの
胸マヅ
デケエッ!!

暴れんなって!!
あきらめろや!

まかせろ!
オラッ!!

6人がかりじゃ
もう逃げらんねえよ!!

ハハハハッ!!!

コラ!! 静かにしろッ!!
てめエ、殴んどけ!!

ウへへッ!!
肌、スベスベ
だぜえ……!!



思い出した
みたいだな...

クズな
元カレの
連れだよ...

久しぶり
だなア...

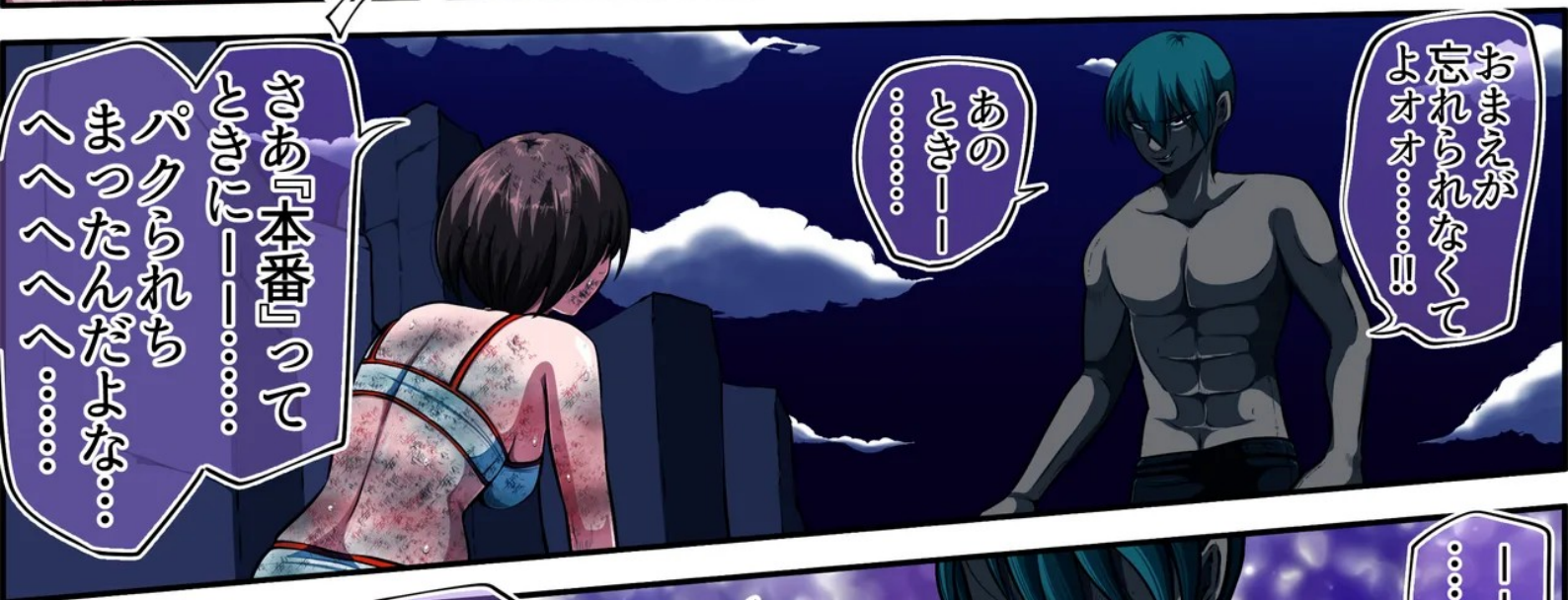
なん...
で...

なん...
で...

この...男...
が...!!

ドッ

フッ



おまえが
忘れられなくて
よオオ...

あの
とき...

さあ『本番』って
ときに...

パクられち
まったんだよな...

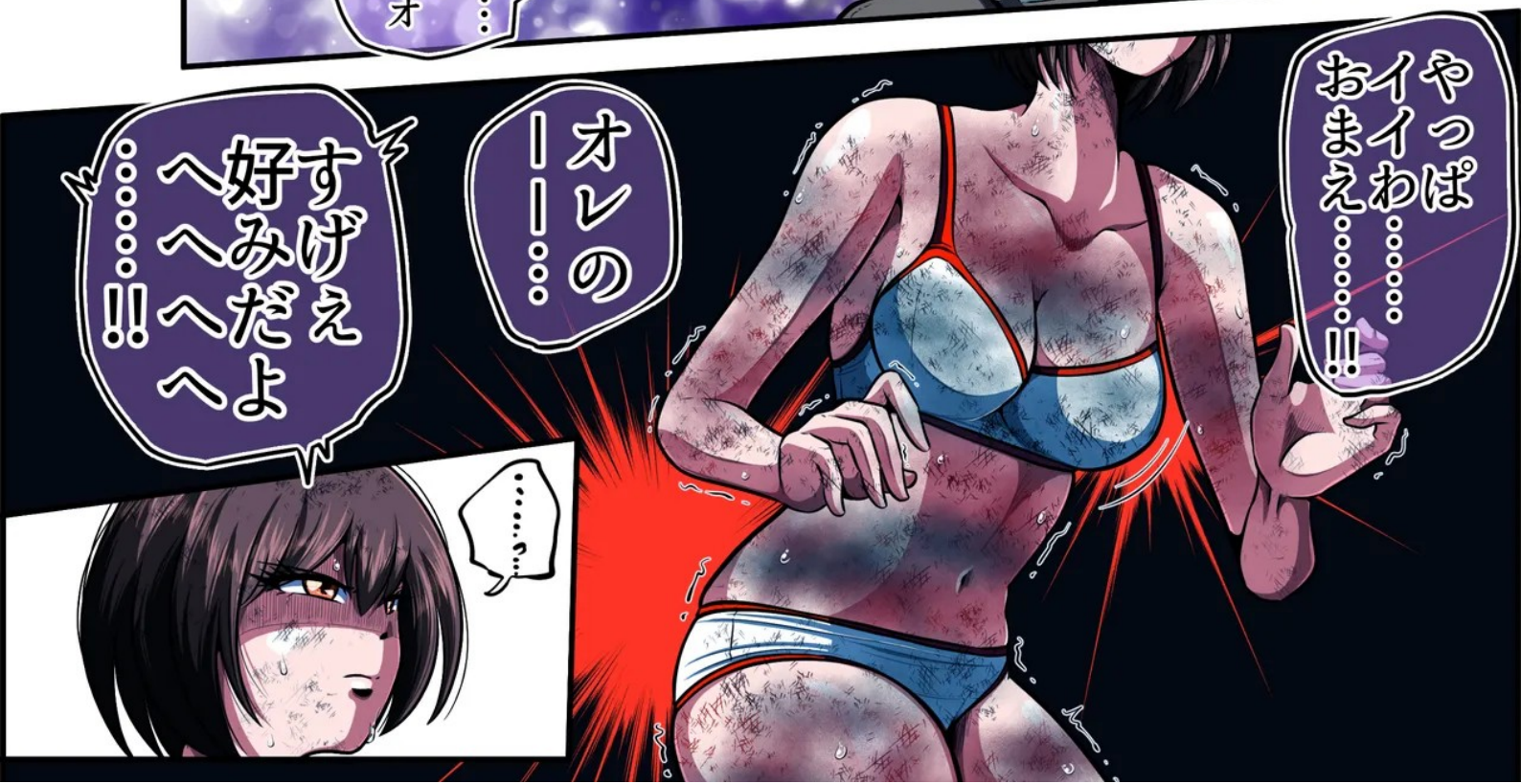
へへへへへ...



シィ イ...

てか...
よオオ

...

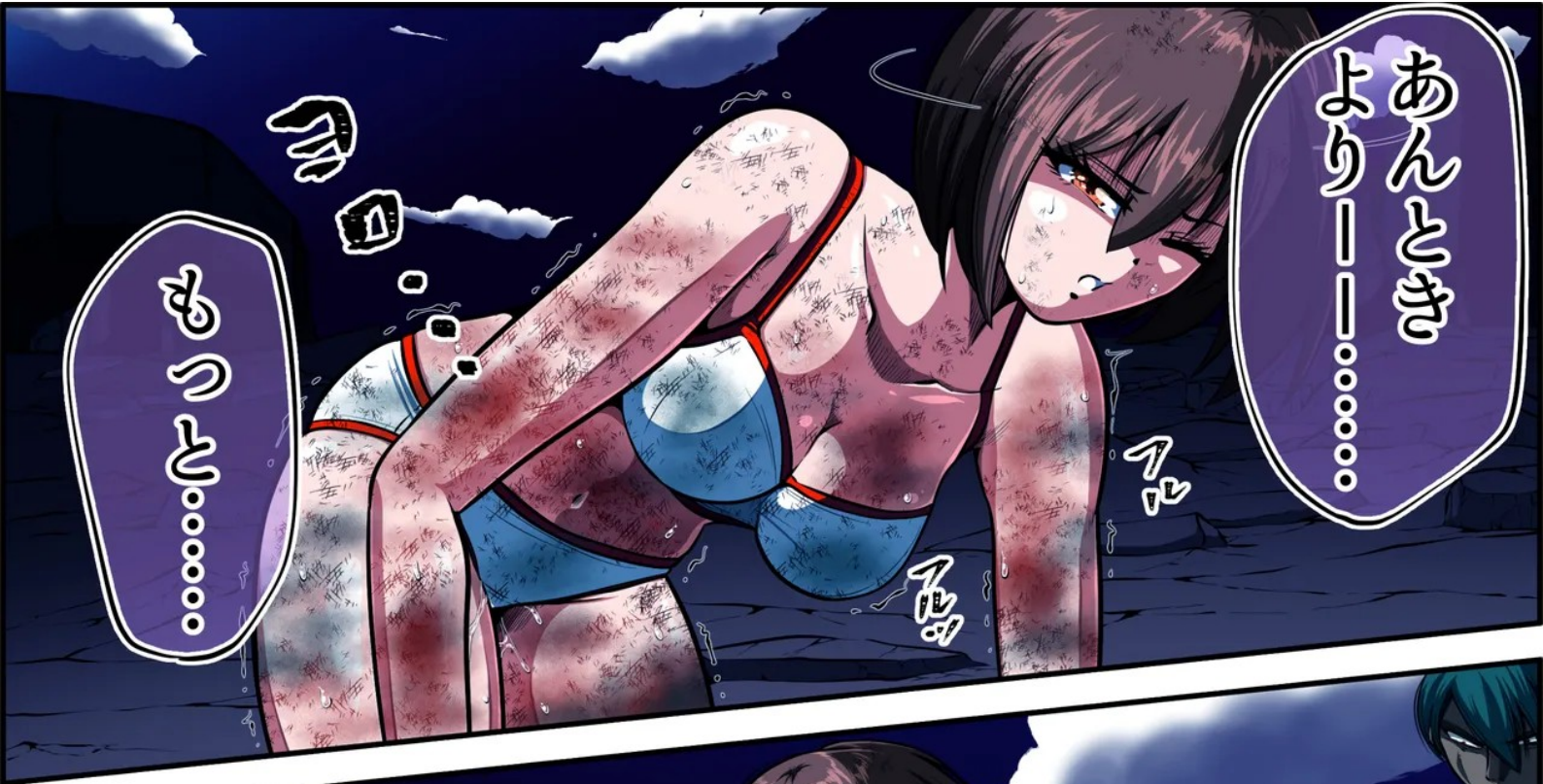


やっぱ
イイわ...
おまえ...!!!

オレの
...

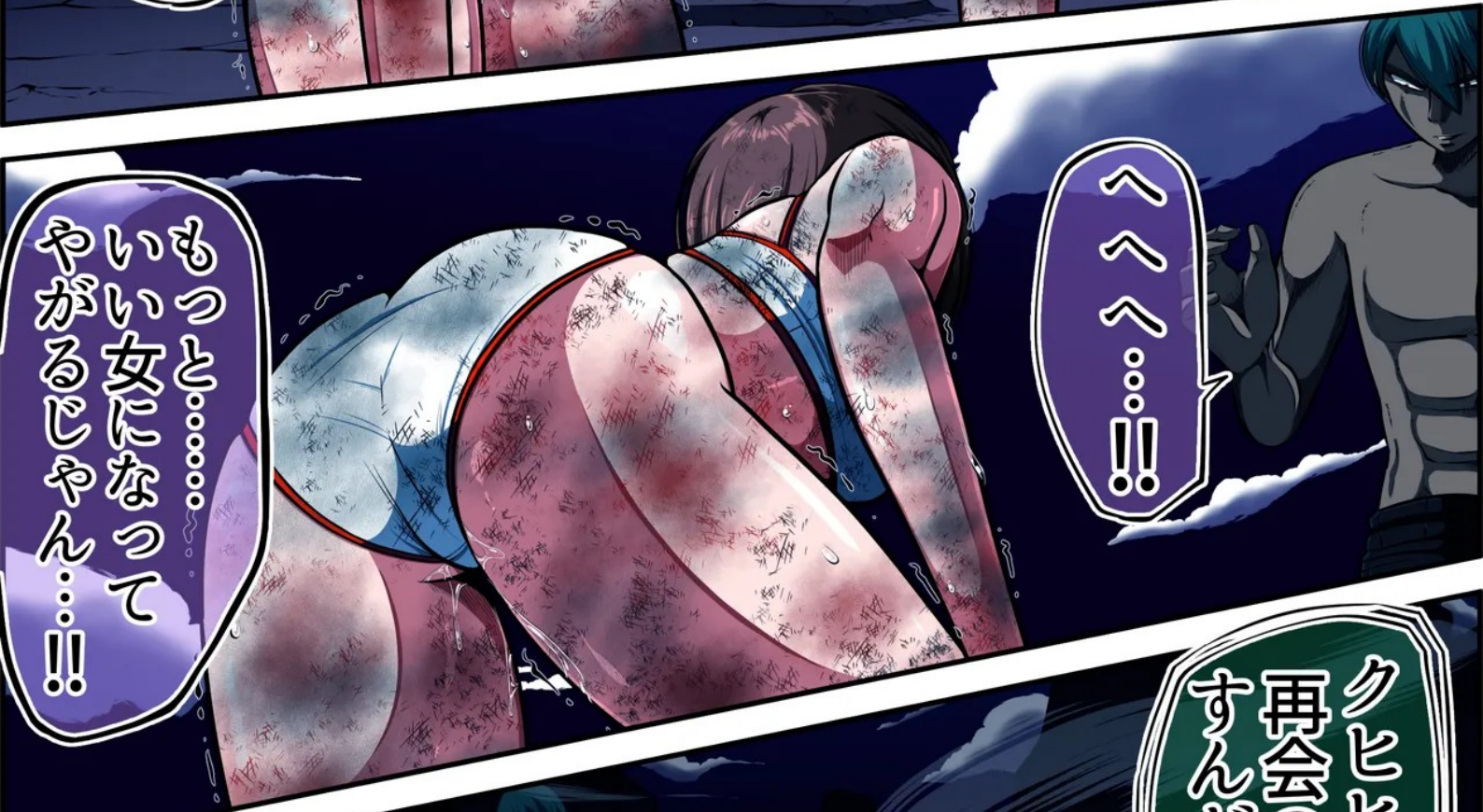
すげえ
好きだよ
へへへへ!!!

...



あんどき
よりー……

もつと……



^^^……!!

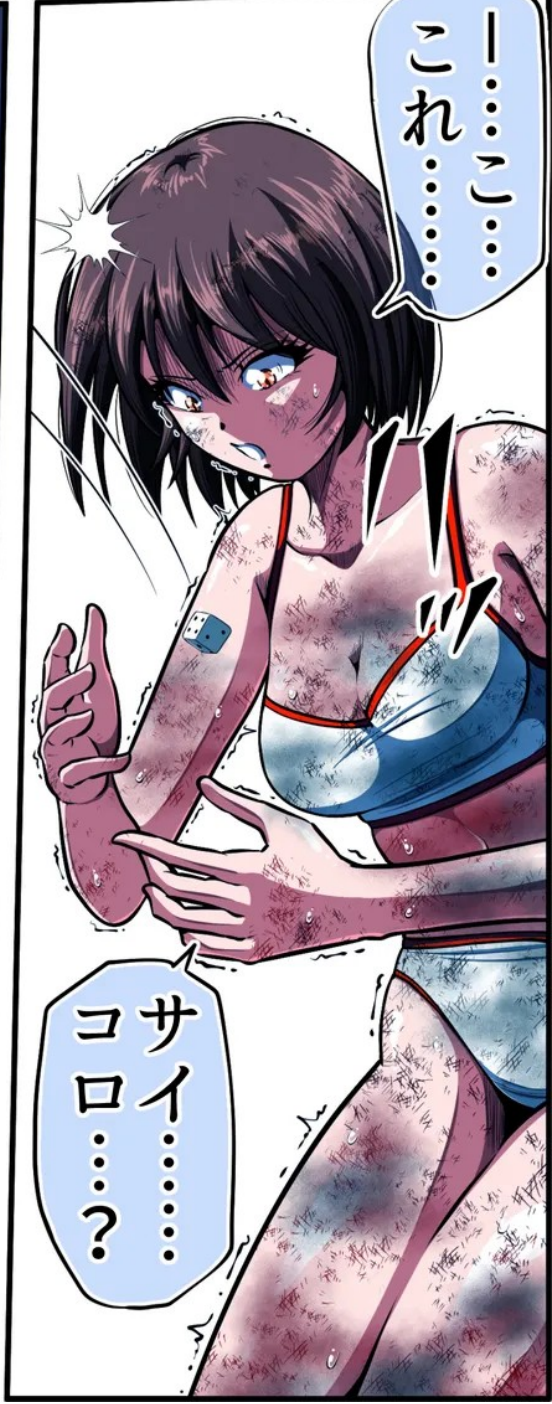
もつと……
いい女になって
やがるじゃん……!!

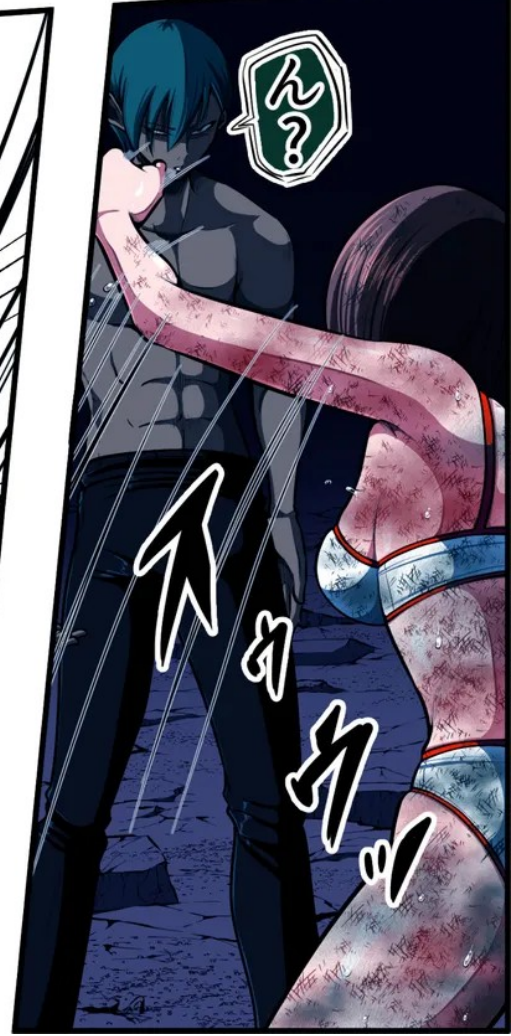
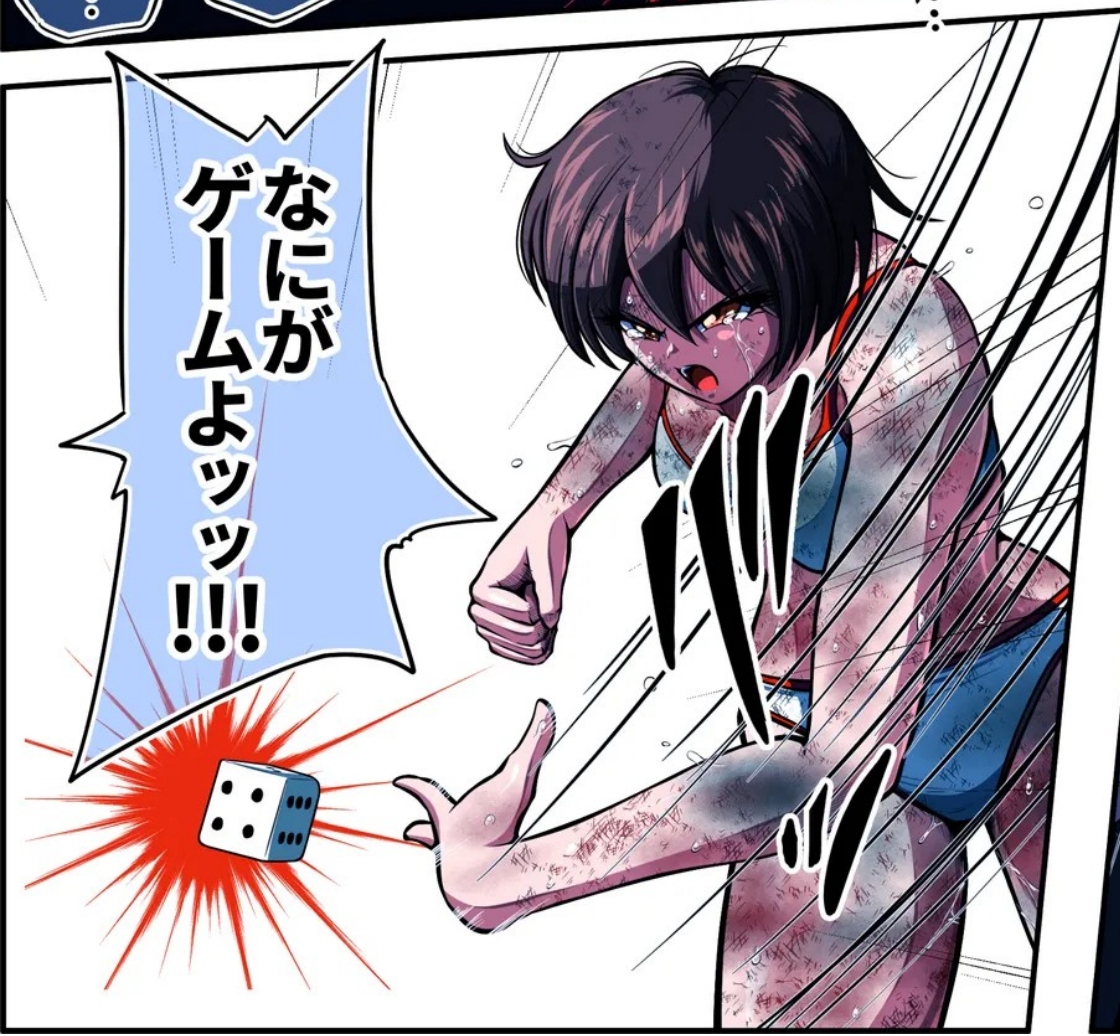
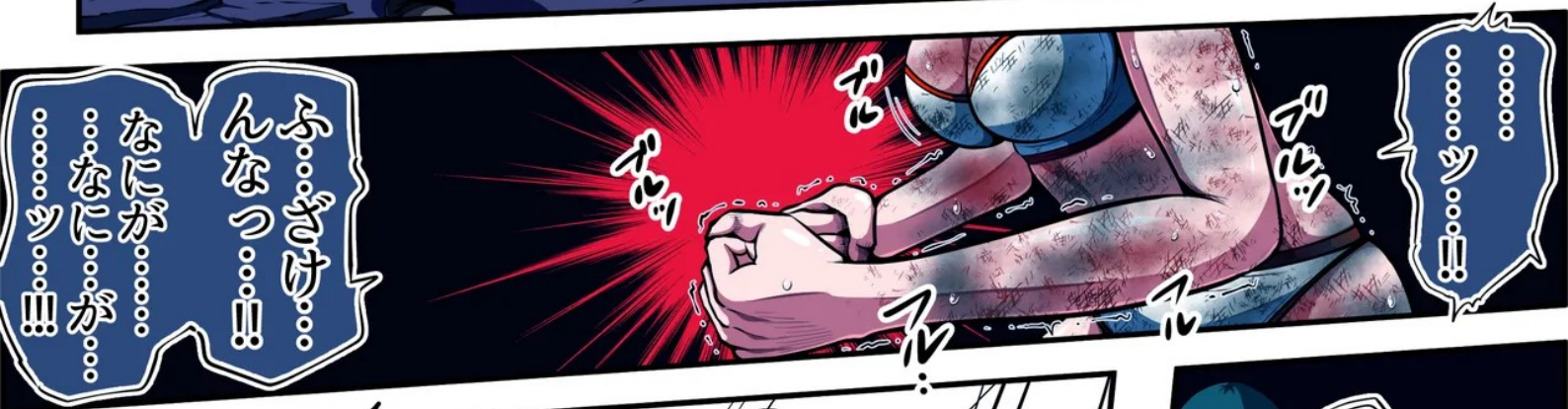


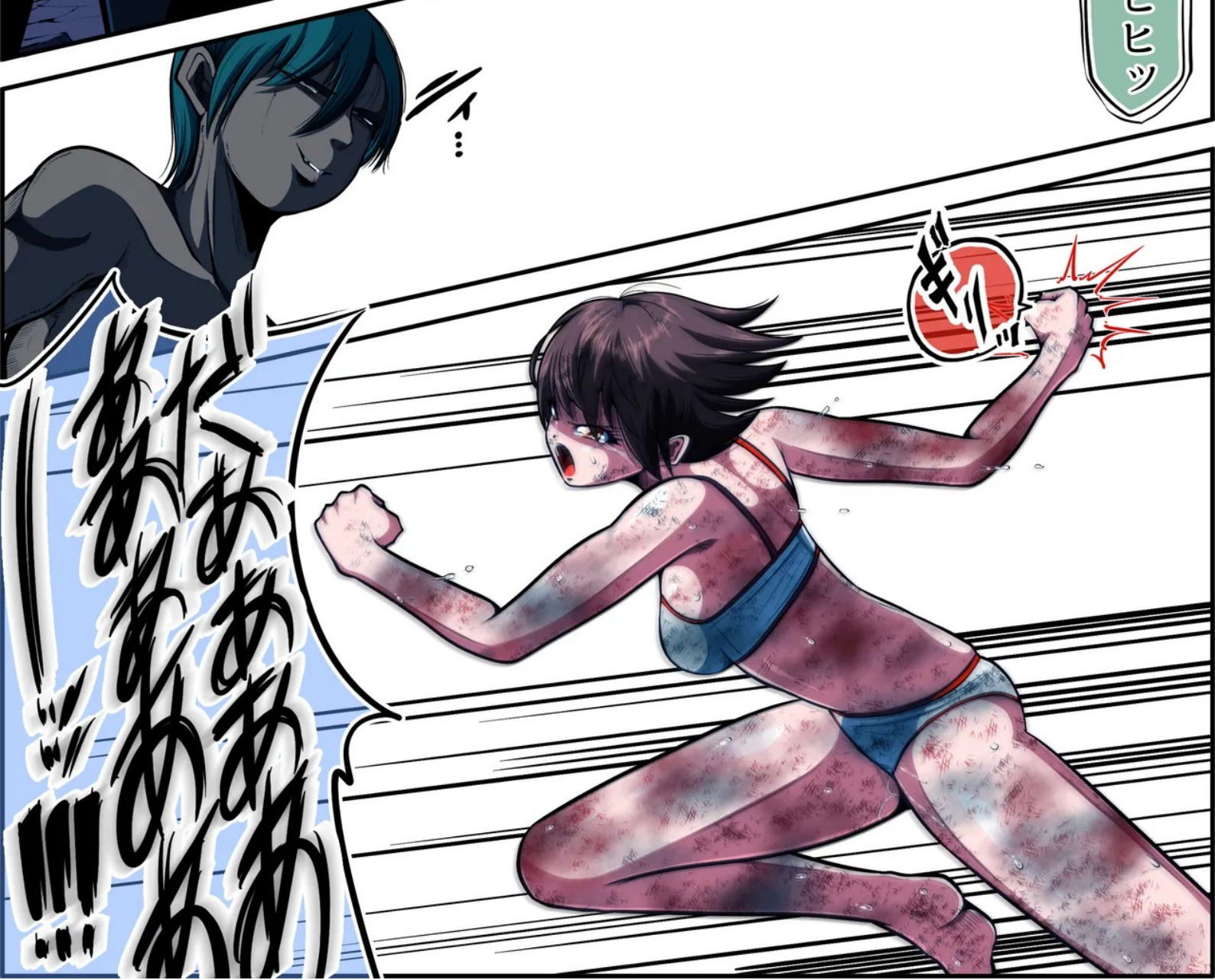
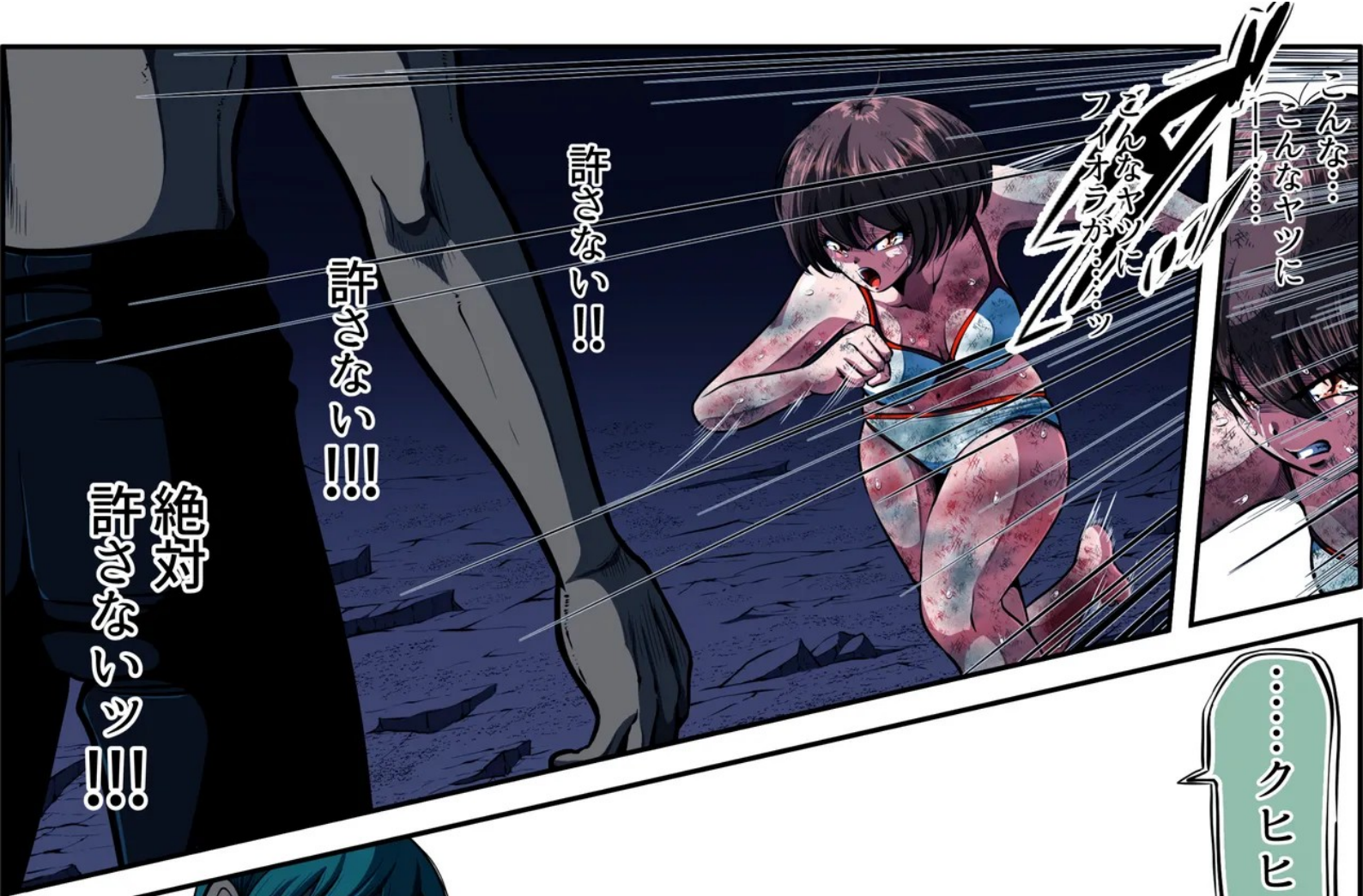
クヒヒツ!!
再会の挨拶は
すんだか?

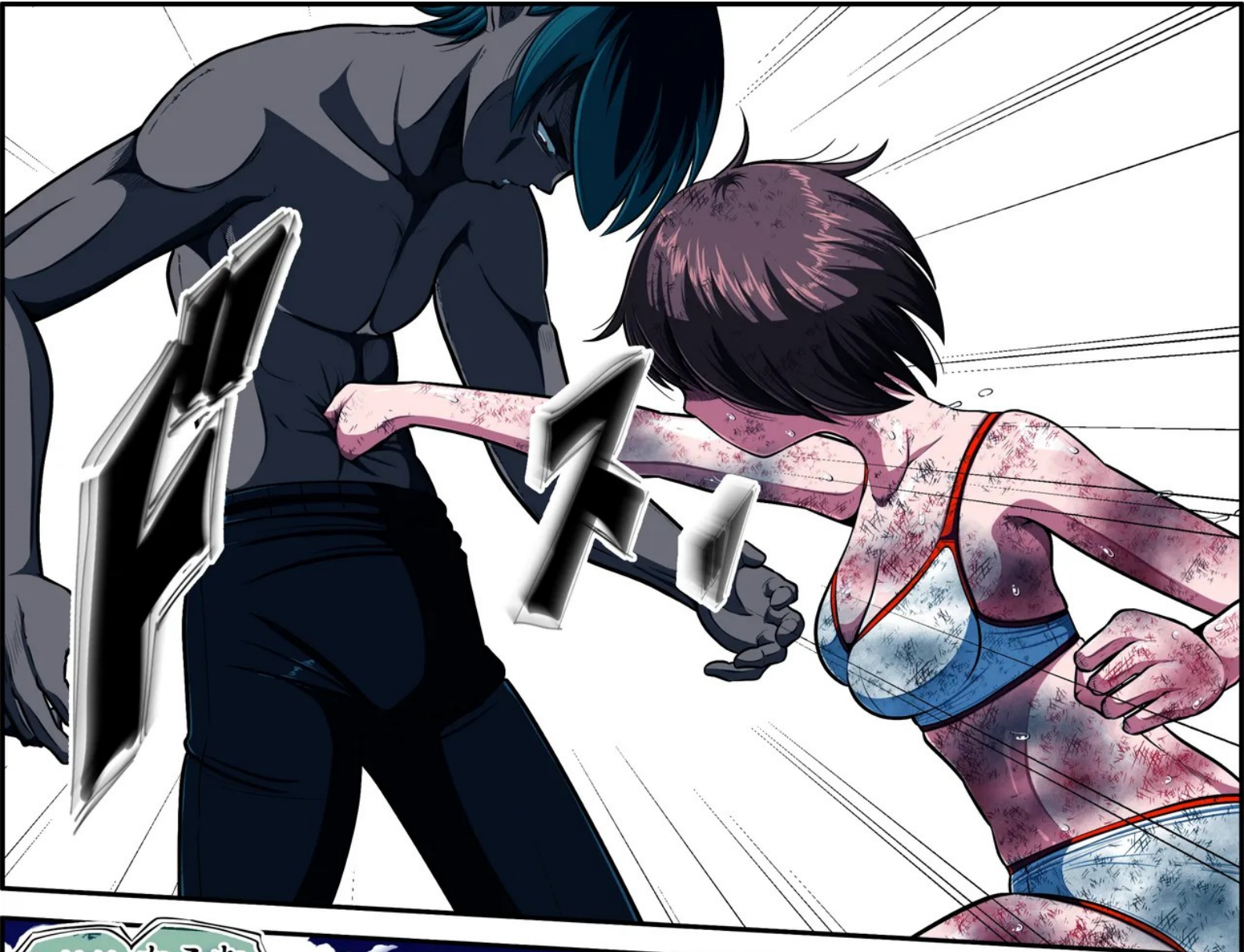
じゃあ早速
はじめようぜエ

楽しいゲームを
よオオ……!!









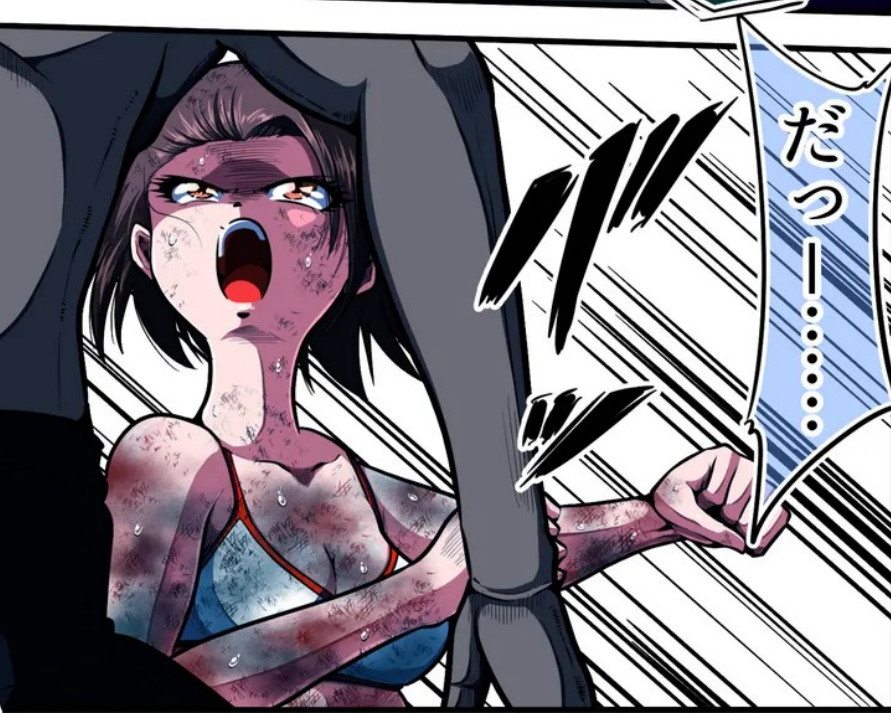
おまえ、
これ殴ったの
かア……？
笑えるほど
効かねえぜ
クヒヒツ!!



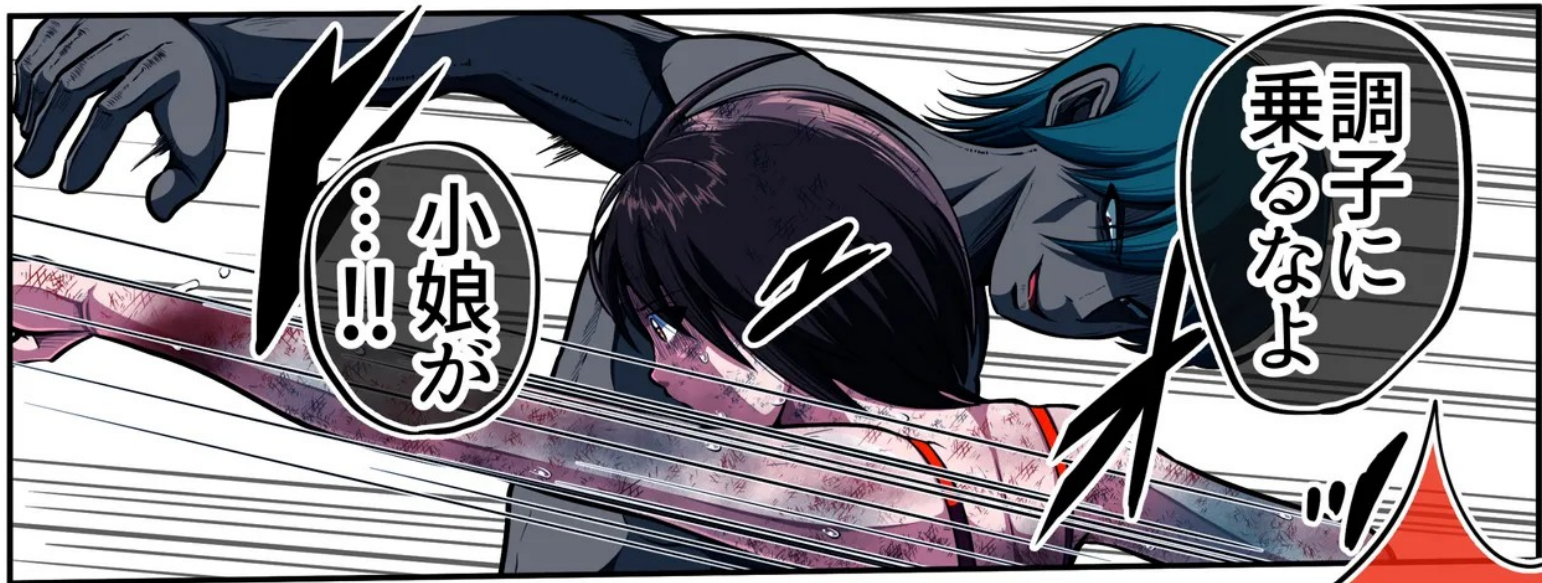
ンン？
おいおい
ー……



たまやええええ



だっー……



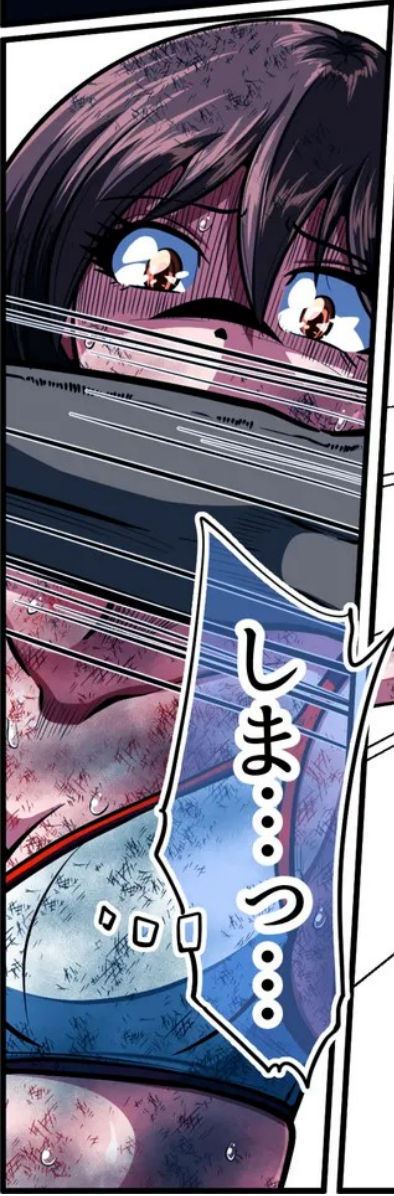
小娘が
……!!

調子に
乗るなよ



え……っ？

!!!



しま……っ……



はは……
はやー……

な……!!



ああッ!!

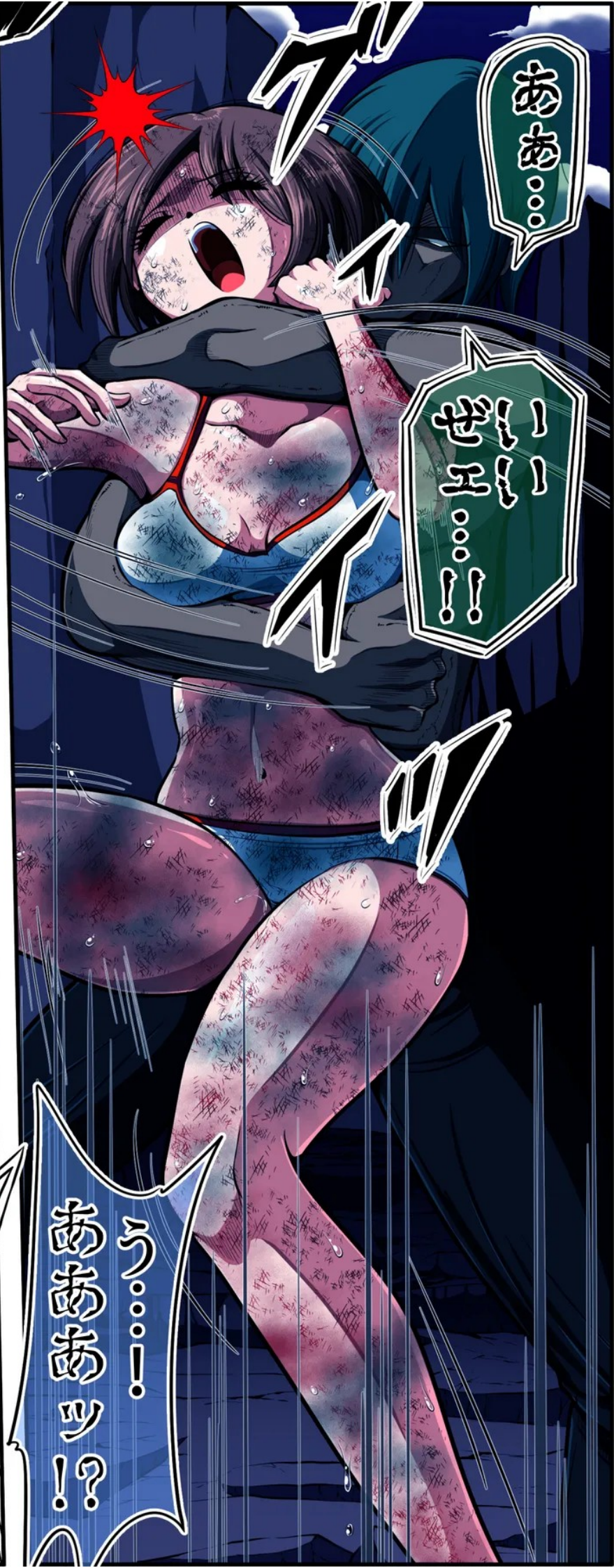
きやああああッ!!!

お望みどおり
ー.....



ああああーッッ!!!

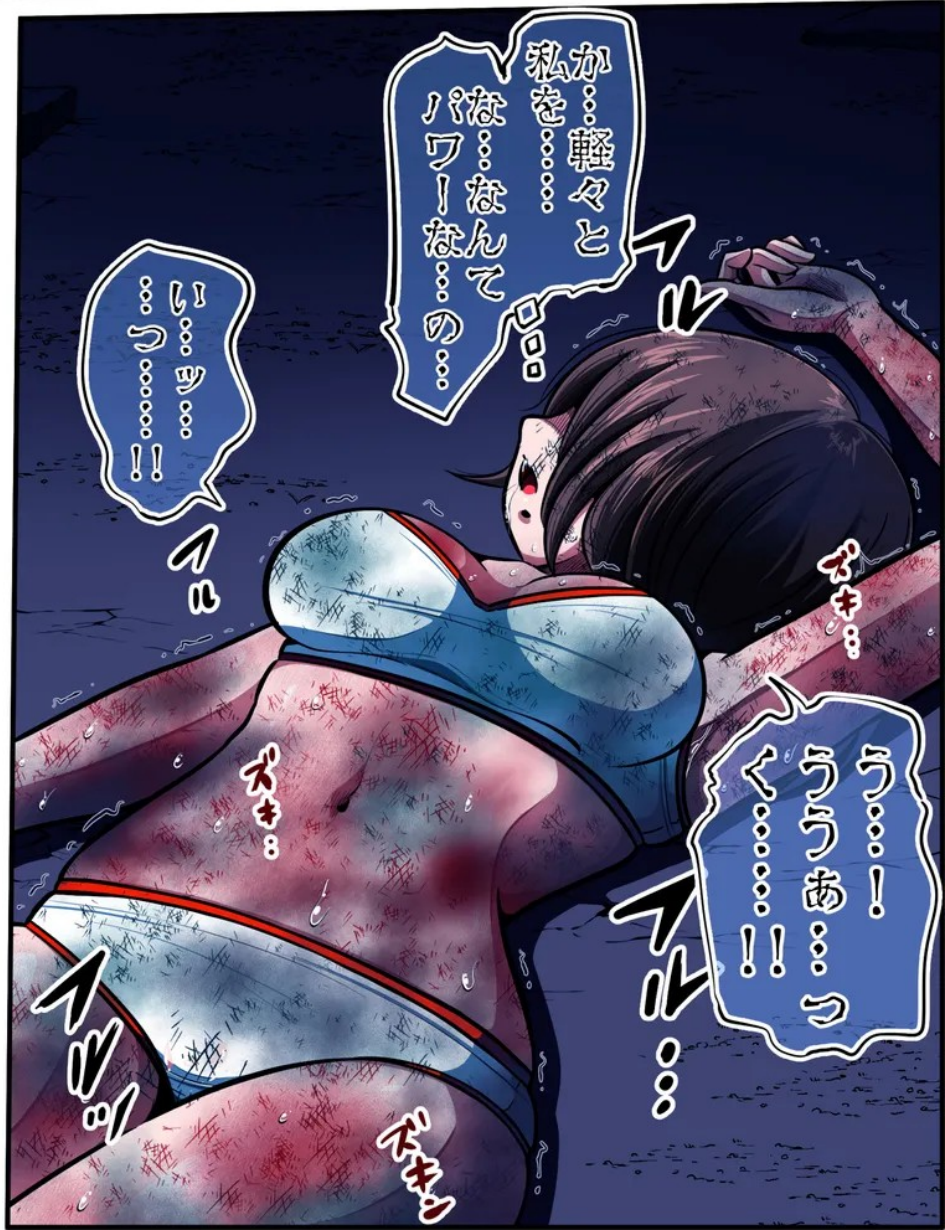
はなして
やるよオッ!!!

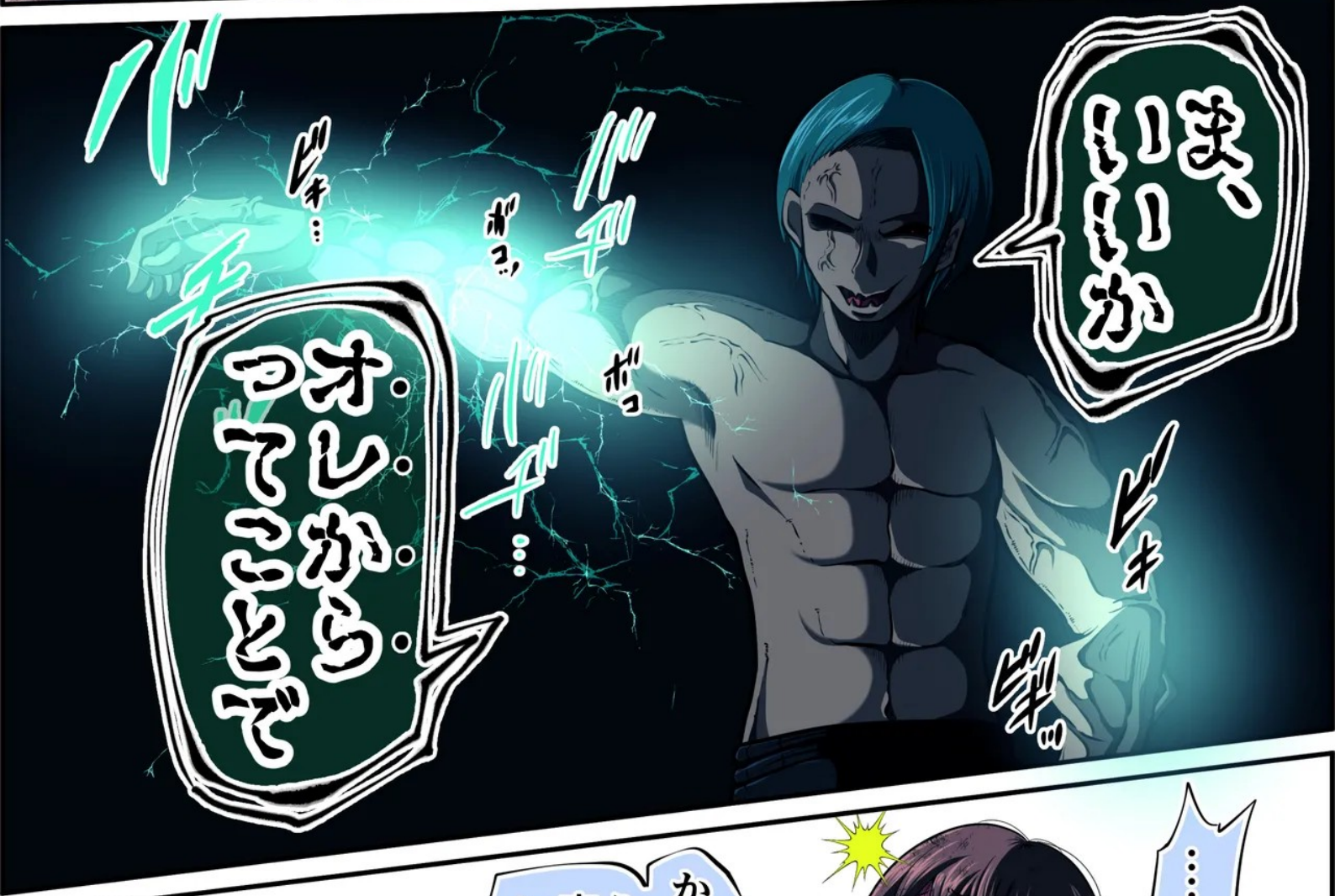


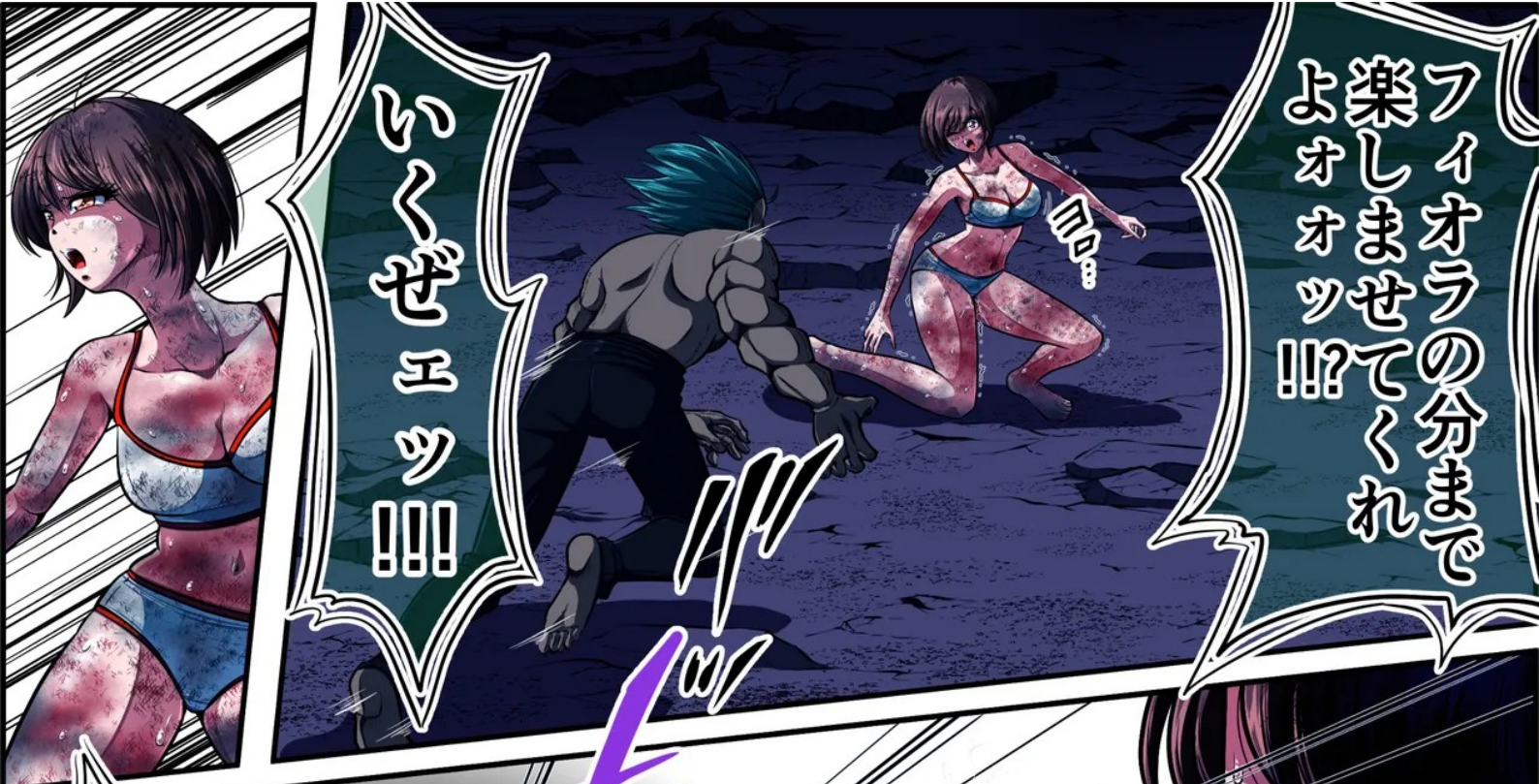
ああ...

ぜい
ぜい
...!!

う...!!
あああッ!?







いくぜエツ
!!!!

ファイオラの分まで
楽しませてくれ
よオオツ!!!?



カアアツ!!!

!!

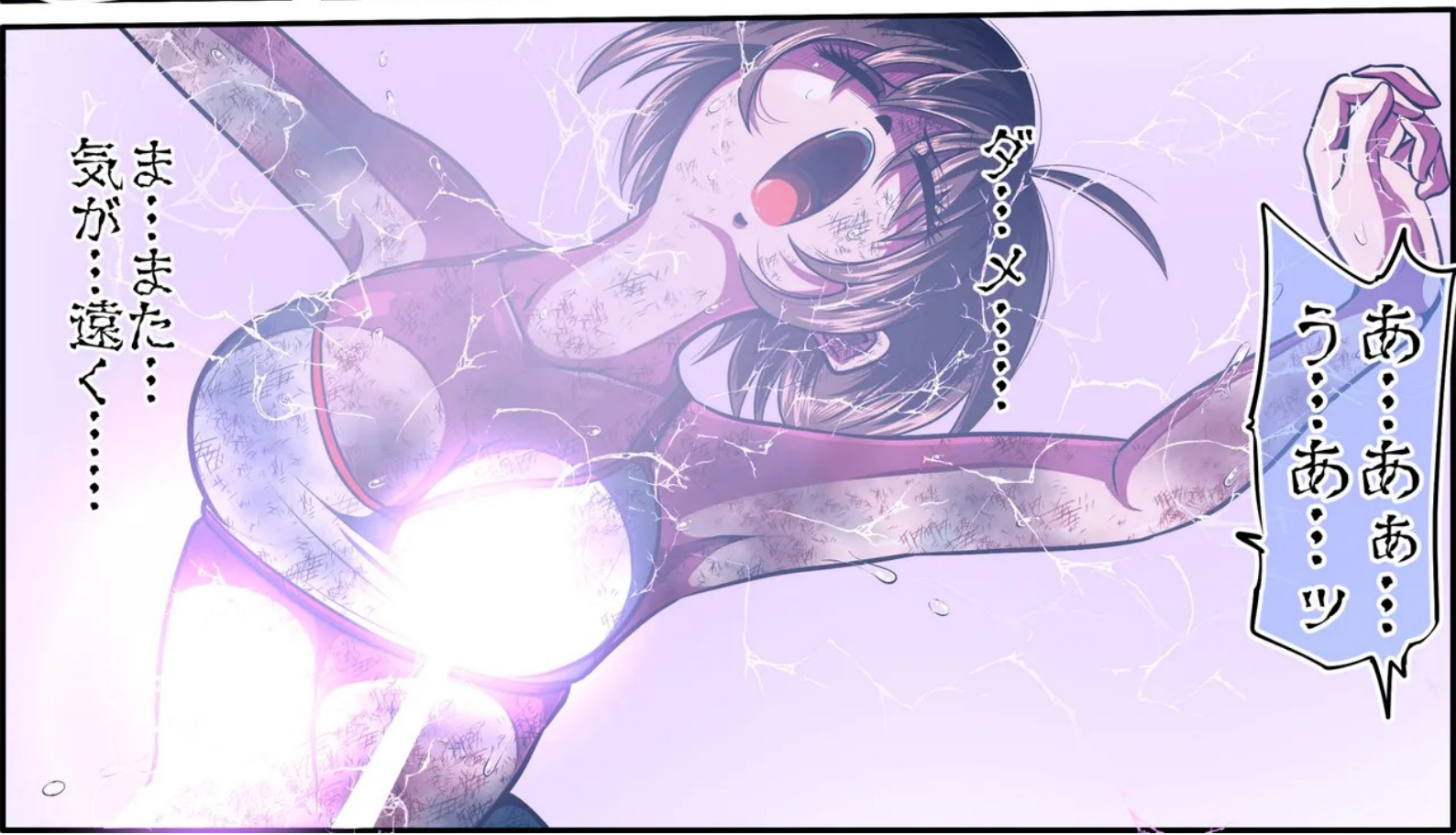


……イイ悲鳴だ……!!!
……ダ……!!……



うあああああああ
……ツツ!!!

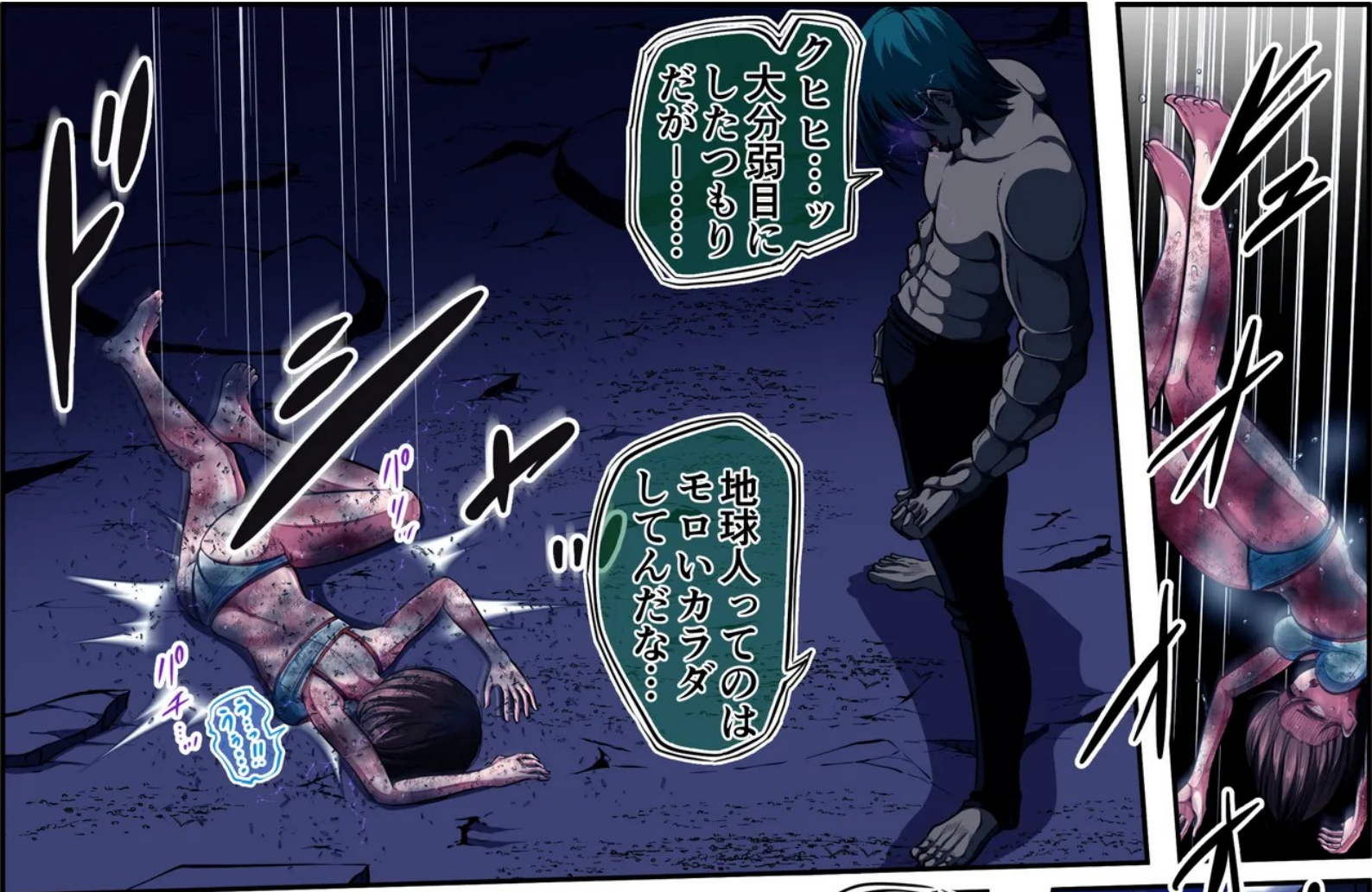
あああああ
ああツ!!



ま……また……
気が……遠く……

あ……ああ……
う……あ……ツ

ダ……×……



クヒヒ...ッ
大分弱目に
したつもり
だが.....

地球人ってのは
モロいカラダ
してんだな...



そして
.....

所詮は
「小娘」
だってことを
な.....!!!



これから
たっぷり
思いしらせて
やるよ.....!!!

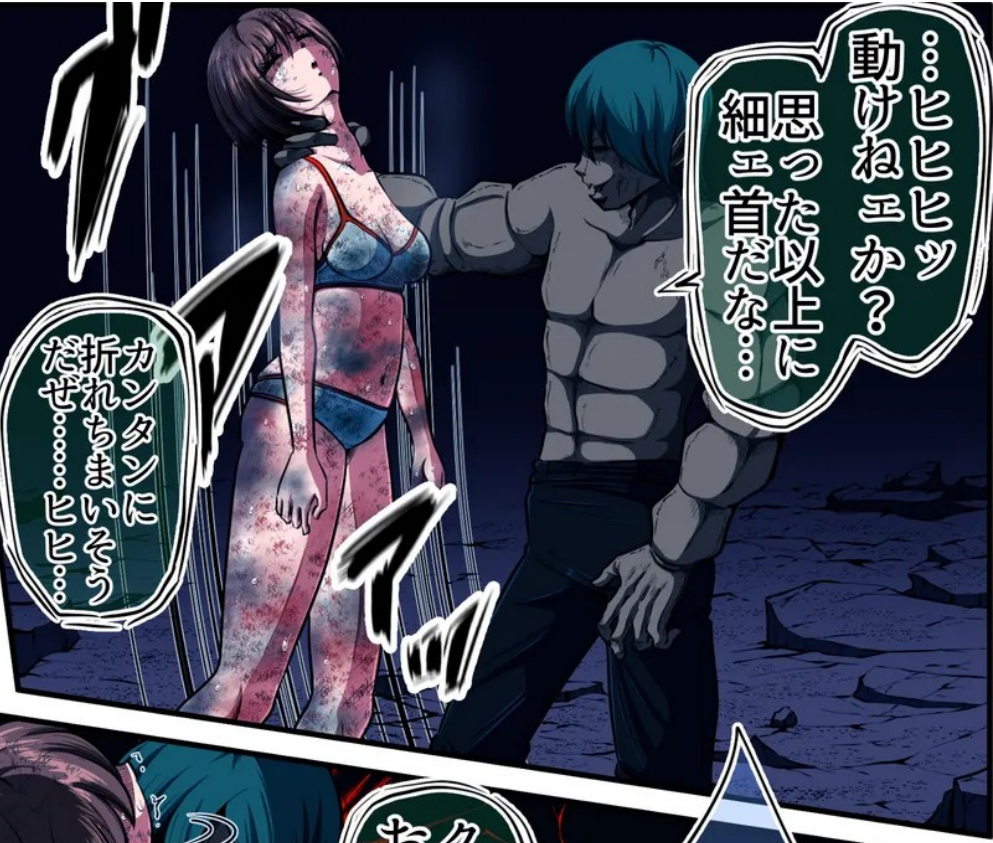
ヒメノ
ヒカル
.....

お前がいか
無謀で.....
無力で.....



うー……

そうら……



……ヒビヒツ
動けねエか？
思った以上に
細エ首だな……

カンタンに
折れちまいます
だぜ……ヒビ……



柔らかけエ
カラダ
してん
なア……!!

クヒヒツ!!
お前……

あ……ぐう……ツ!!
ぐ……ああツ……!!!

あ……ツ……!?



…………ツツ!!!



グヘヘツ!!
今度は……

ダブルで
楽しんでくれや
……!!

うあああああああ
あああああッッッ!!!

あああああああ
あああーッッ
!!!!

押しめ...!!!

苦しめッ...!!!

クヒヒッ!!
いいぞ.....

わ…たしに…

ち…からが

ヒヒヒッ!!!

ちよい
休憩な…

カ…が

も…と…

お？
まだ動けたか
…ヒヒッ

じゃあ
続けるか…!

ち…からが…
あ…れば…!!

フイ…オラ…
も…

の救え…
に…る
!!!

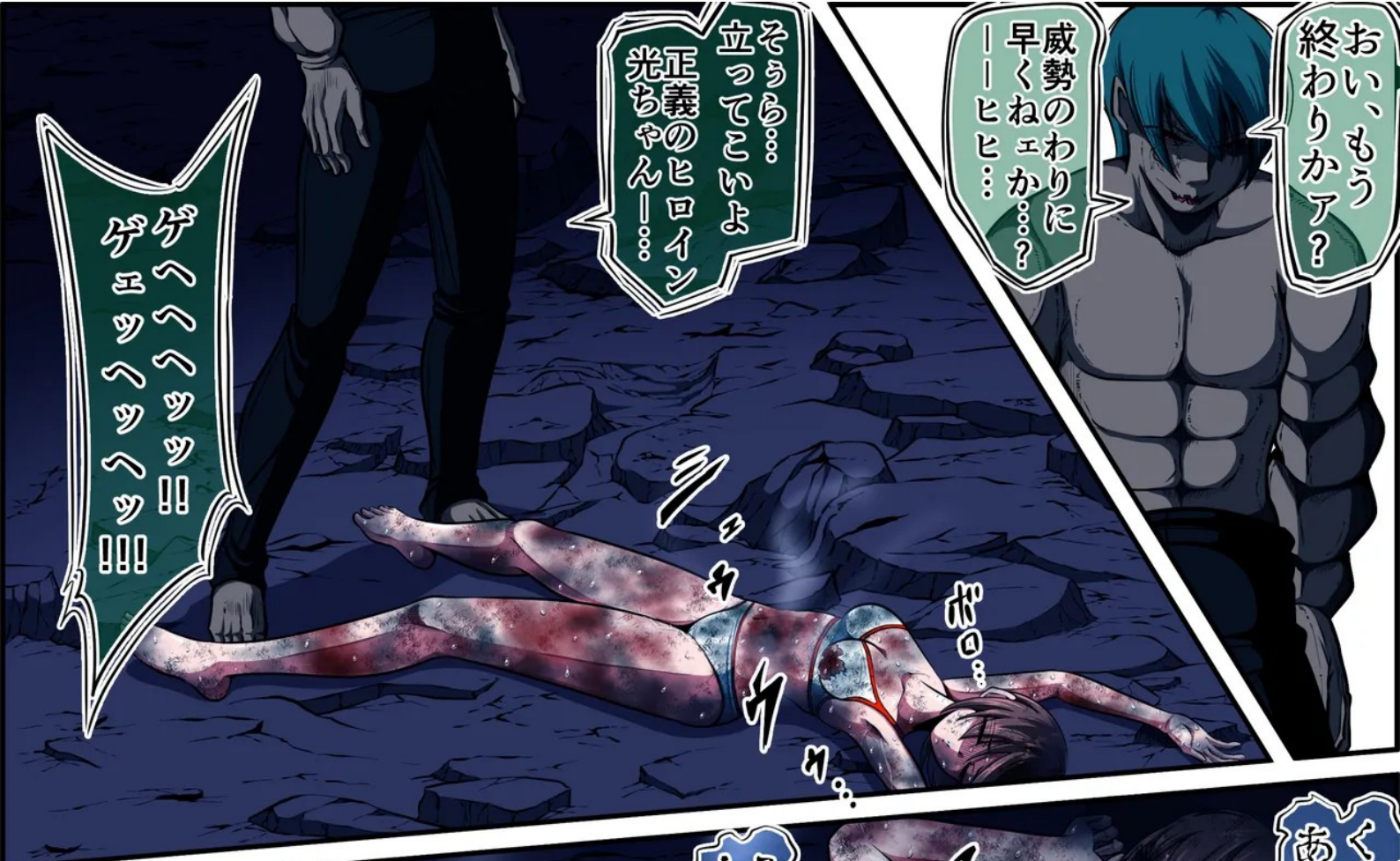


おい、もう
終わるかア?

威勢のわりに
早くねエか...?
ーヒヒ

そうら...
立ってこいよ
正義のヒロイン
光ちゃん!...

ゲヘヘッッ!!
ゲエッヘッヘッ!!!



く...
ああ...あ...

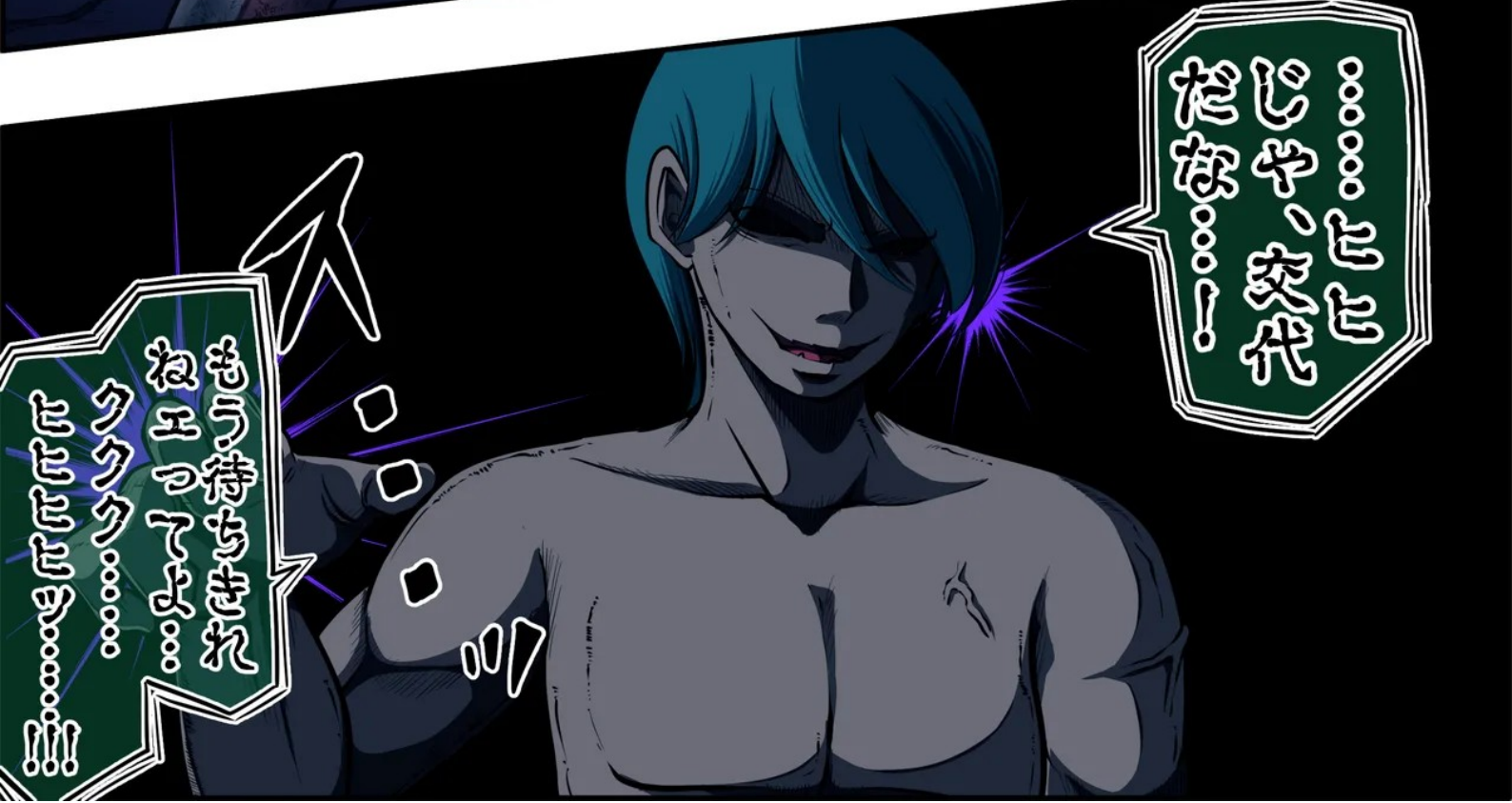
う...
う...
う...

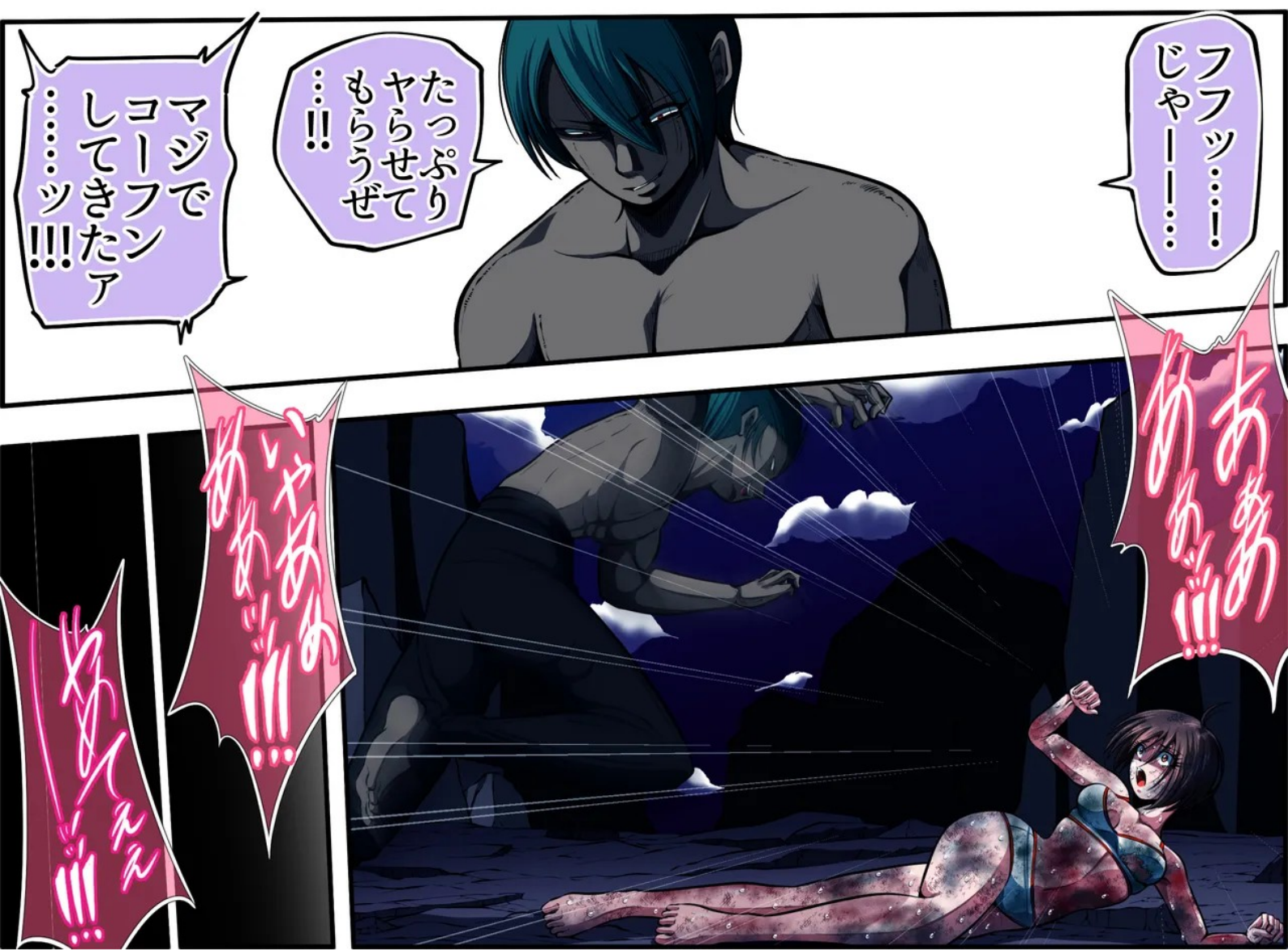
く...
う...
う...



...
じゃ、交代
だな...!

もう待ちきれ
ねエってよ...
ククク...
エエエエエ...!!!





ククク...

快感...か?
皇女よ...

ククク...
ククク...
ククク...!!

や...やめー!...
くああああッ!!

うッ...!
くうッ...!!
あああ...ッ!!!

こんなに固く
尖らせて...
相当に感じて
いるんじゃないか?

ダメ...
カラ...ダが...

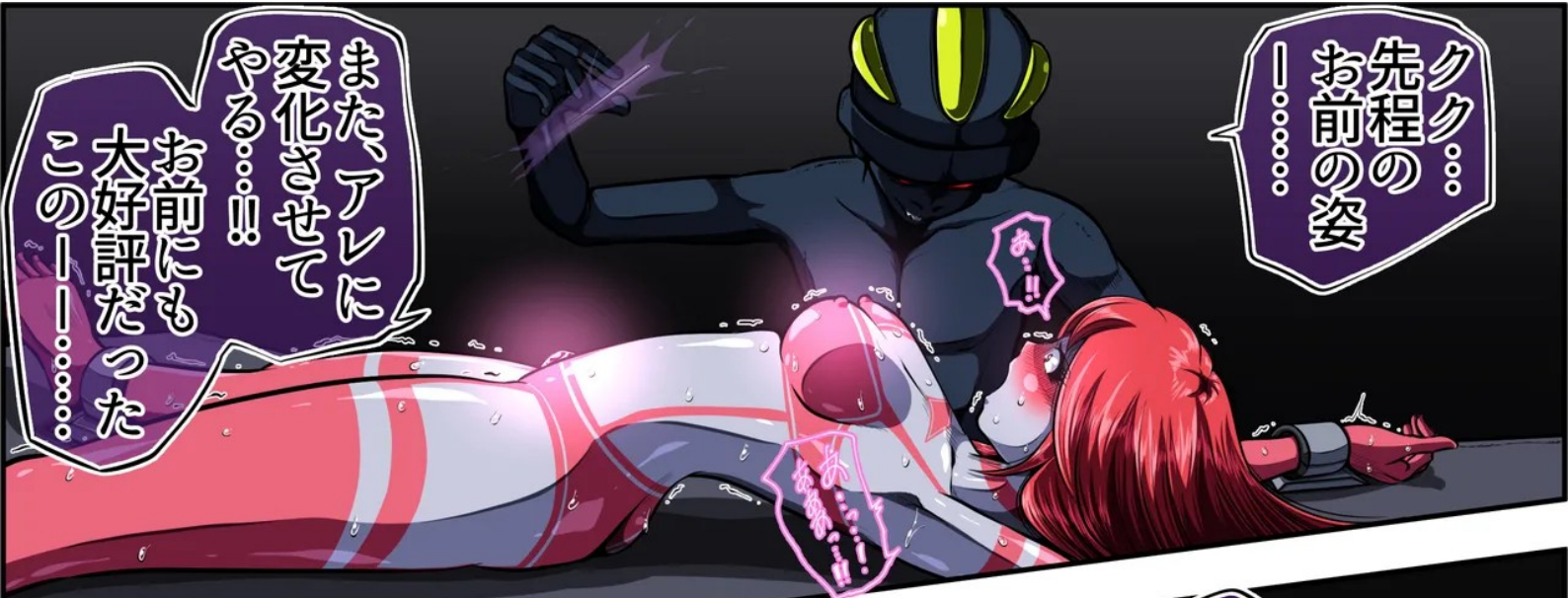
う...うッ...
く...くッ...!!

まったく
とんだ淫乱姫も
いたものだ...
クツクツ...!!

さわ...
...るな...ッ!!

くッ...
...ッ!!

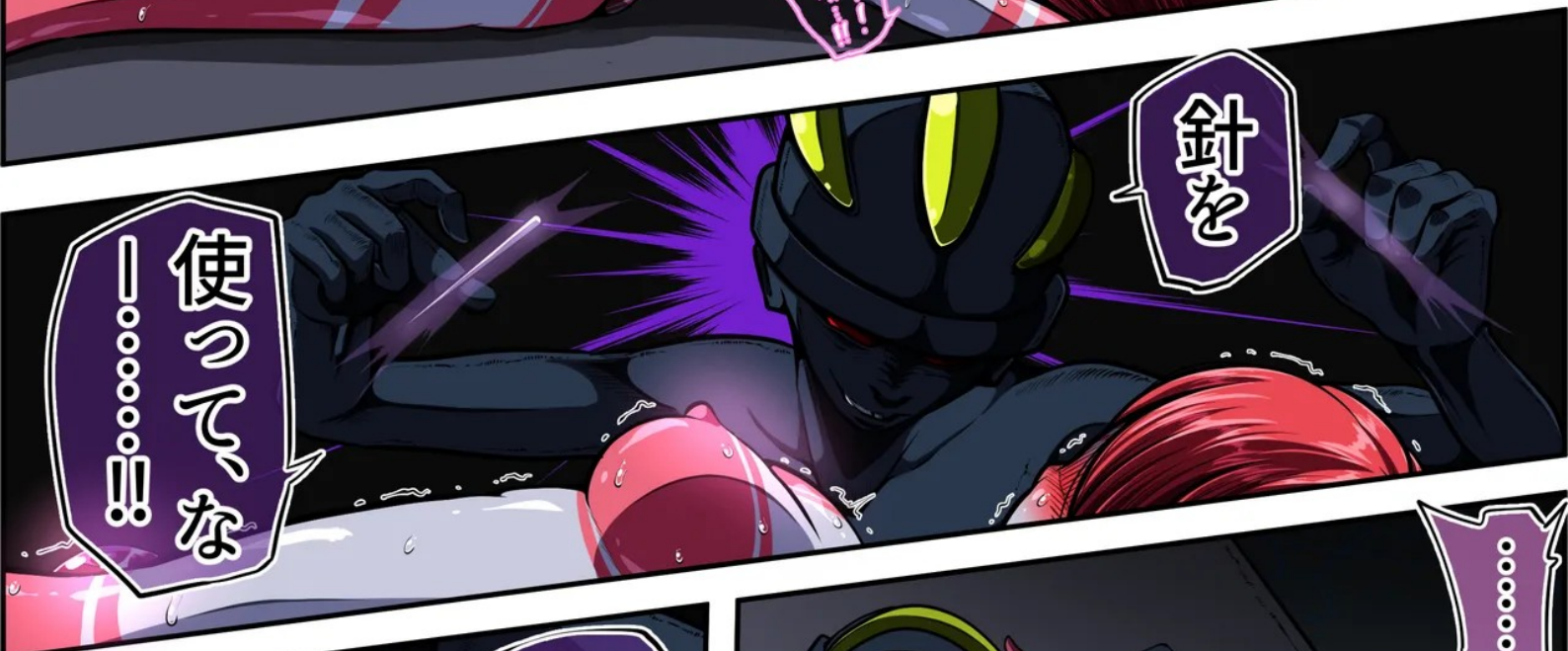
む...胸...
ばかり...!!
さつき...から...
執拗...な...!!!



クク…
先程の
お前の姿
！……

また、アレに
変化させて
やる…!!

お前にも
大好評だった
この……



針を

使ってな
！……!!



なに、ここは
オレの作った
異空間……

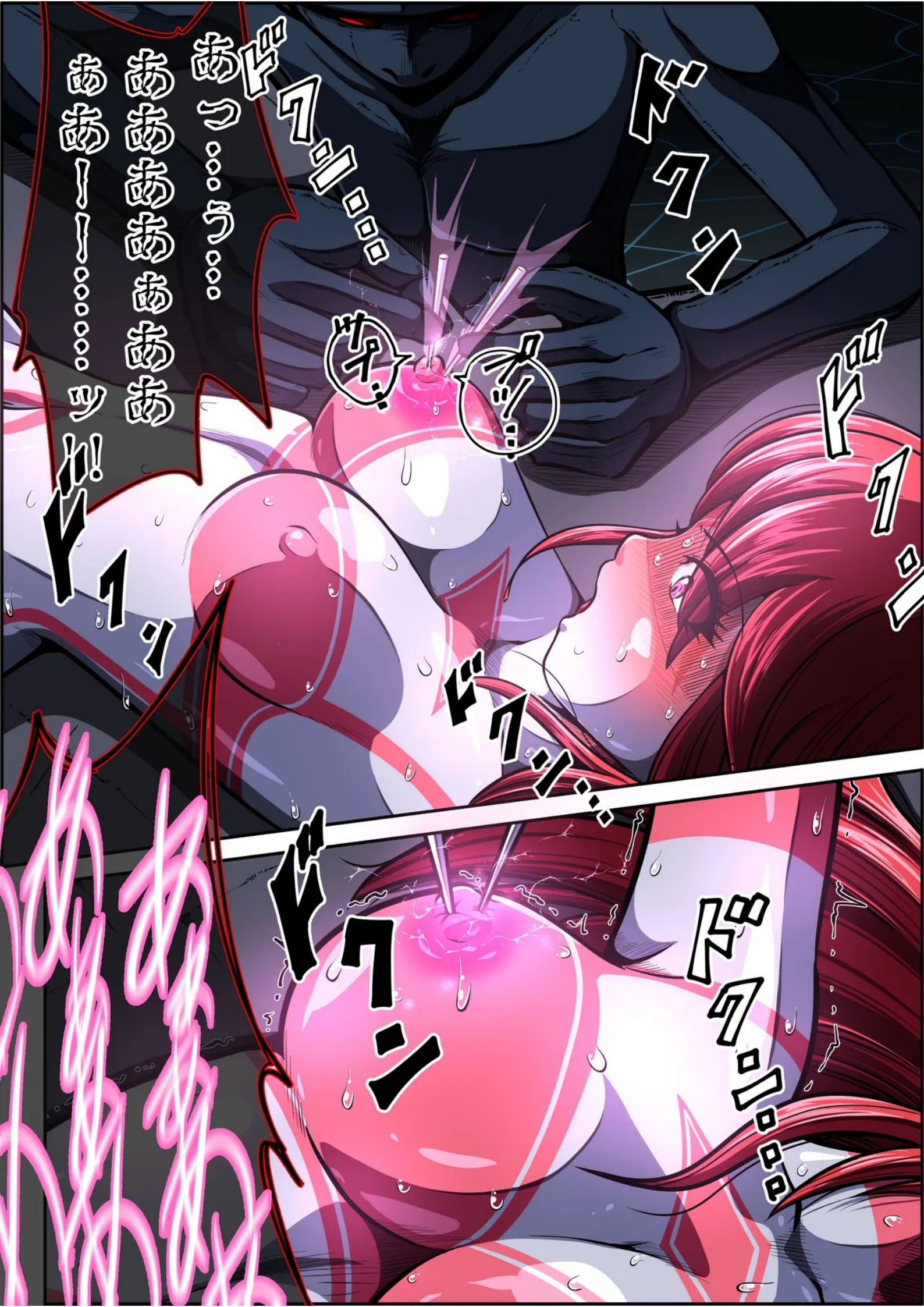
誰にも
気兼ねなく…
存分に喘いで
くれよ……!!

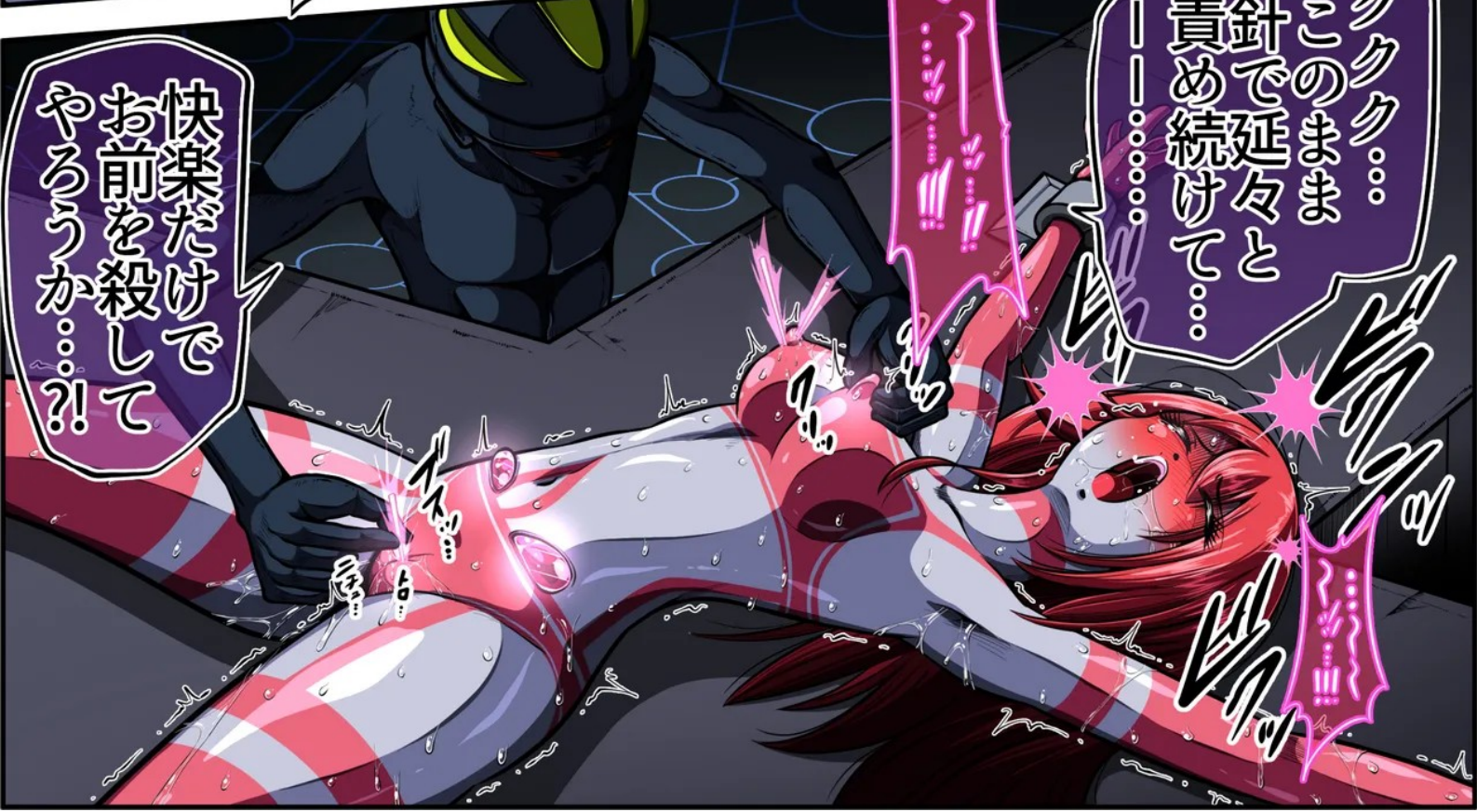
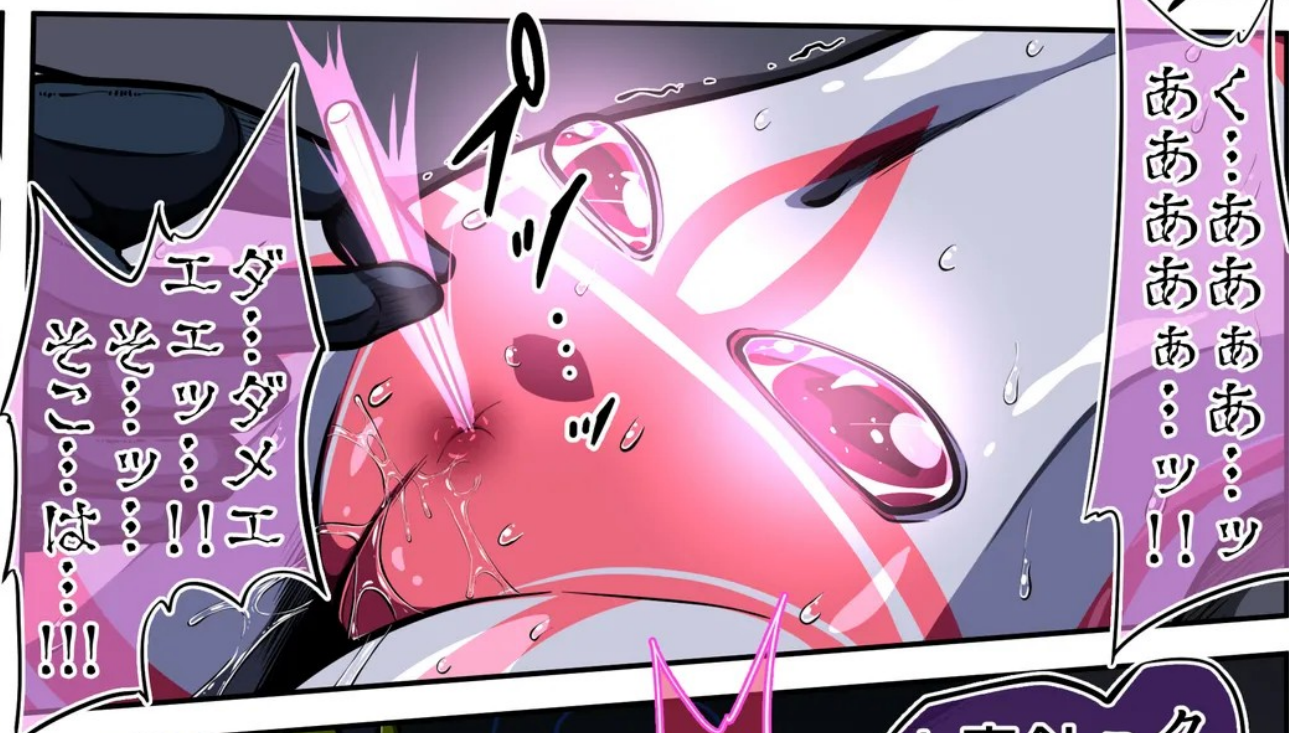


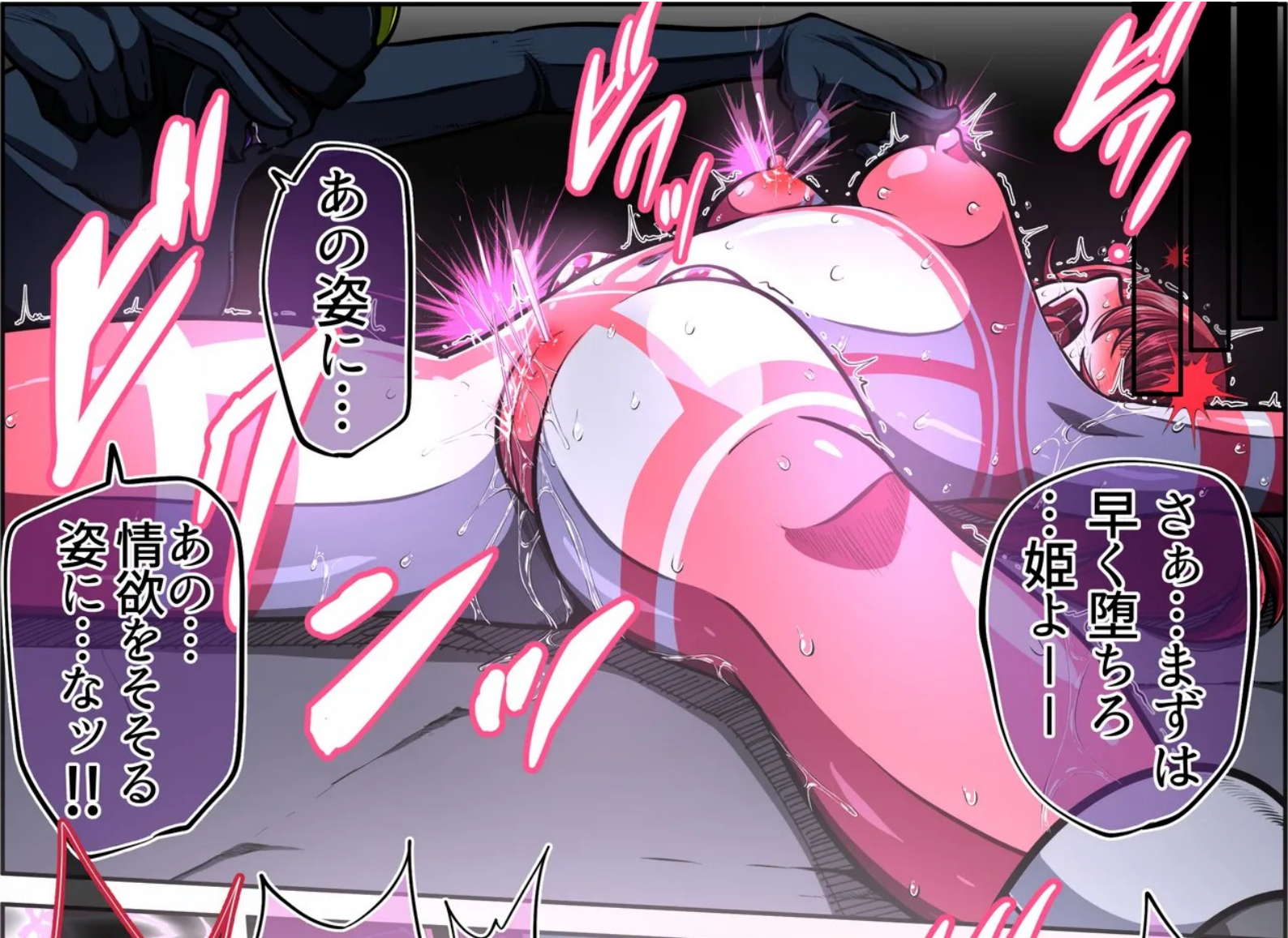
……ッ！

うう…ッ
そ…それは
……ッ!!

だ…ダメ…
この状態で
今また…
あ、『あの針』を
使われたら……!!







さあ...まずは早く堕ちろ...姫よー

あの姿に...

あの...情欲をそそる姿に...なッ!!



いやあああッ!!
いや...ツツ!!!

ダメッ!!

んんんッ!!

あはあッ!!
あんなんッ!!!!

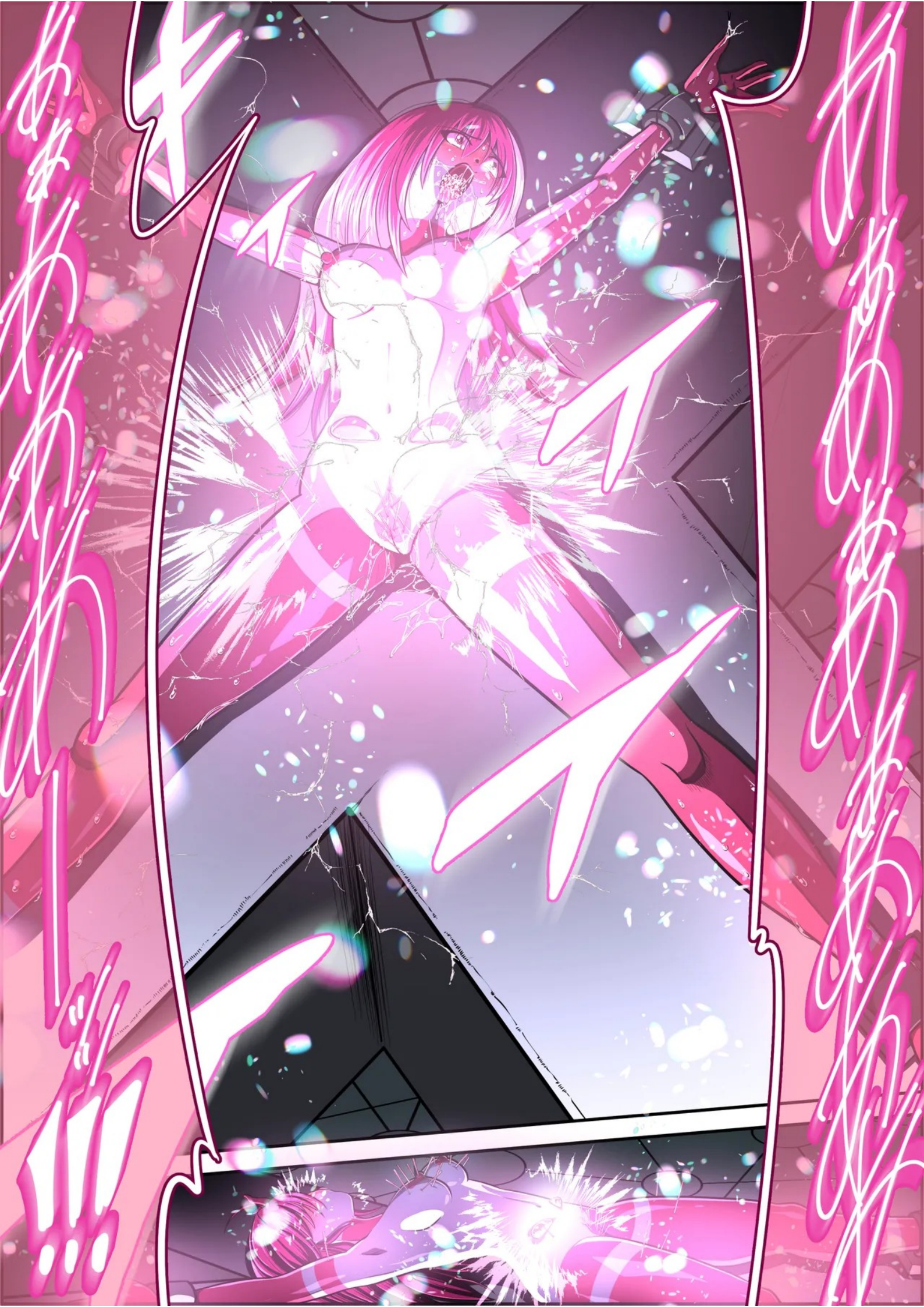
やめ...

やめて...ツ!!

ま...また...

く...る...!!

き...ちや...!!





うぐう!!!

グググ

や...っ

やめ...っ...
ぐう...ッ...!!

へへ...っ...
暴れん...
なよ...ッ!!!

はな...せ...
は...な...
してッ...!!

今夜は絶対逃がさ
ねエから...な...!!!
へへへッ!!

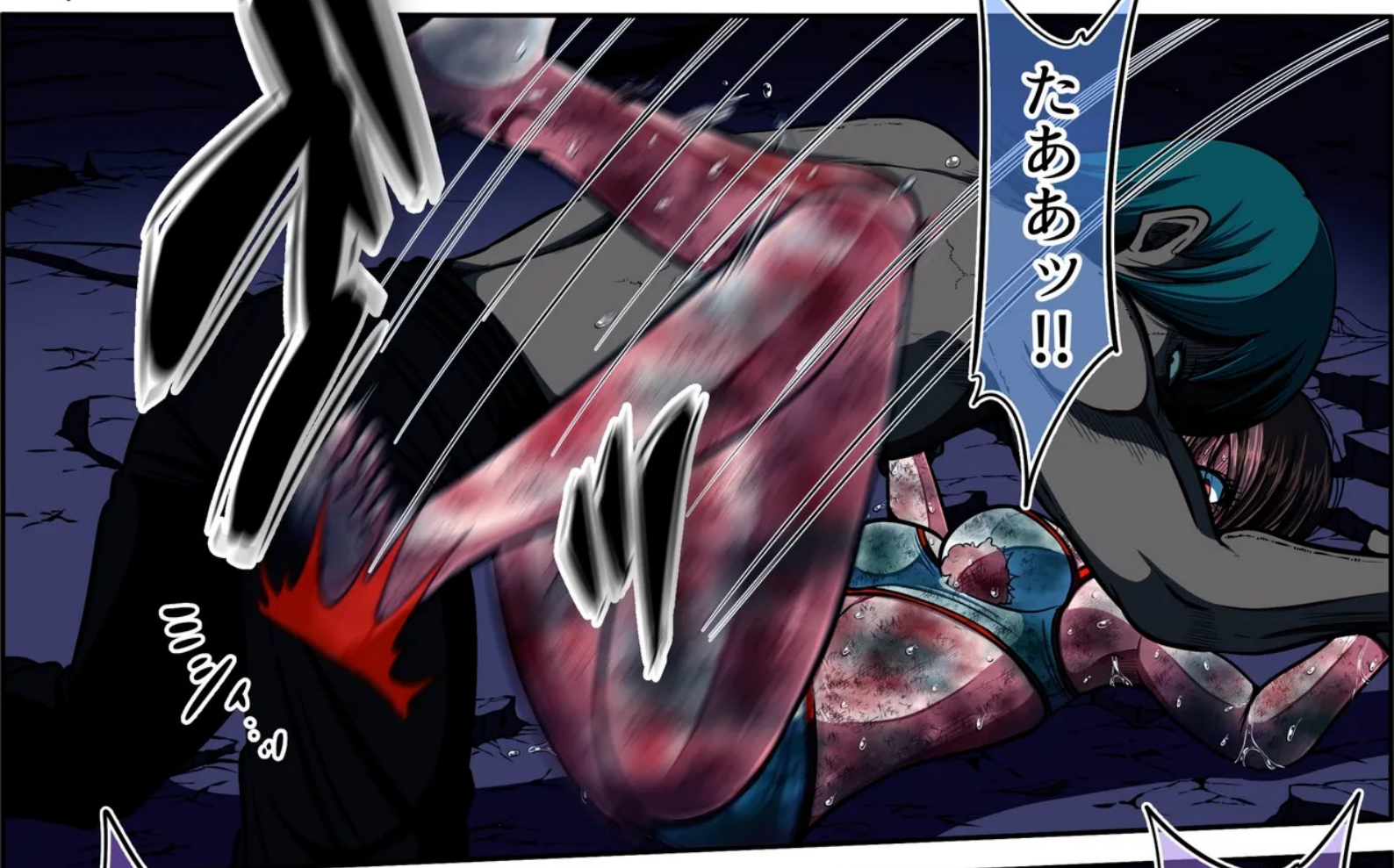
は...な...
せえッ!!

あん...た
なんか...!!

絶対...ッ!!
絶対...ッ!!

クソ...!!

この...女ア...
...ッ...!!



あのとき…と
同じかア…!!

ゲ
ゲ
ゲ

諦めの悪い女だ
ムカついて
きたぜ…!!

ひ…きょう
もの…ツ!!
アン…タ…

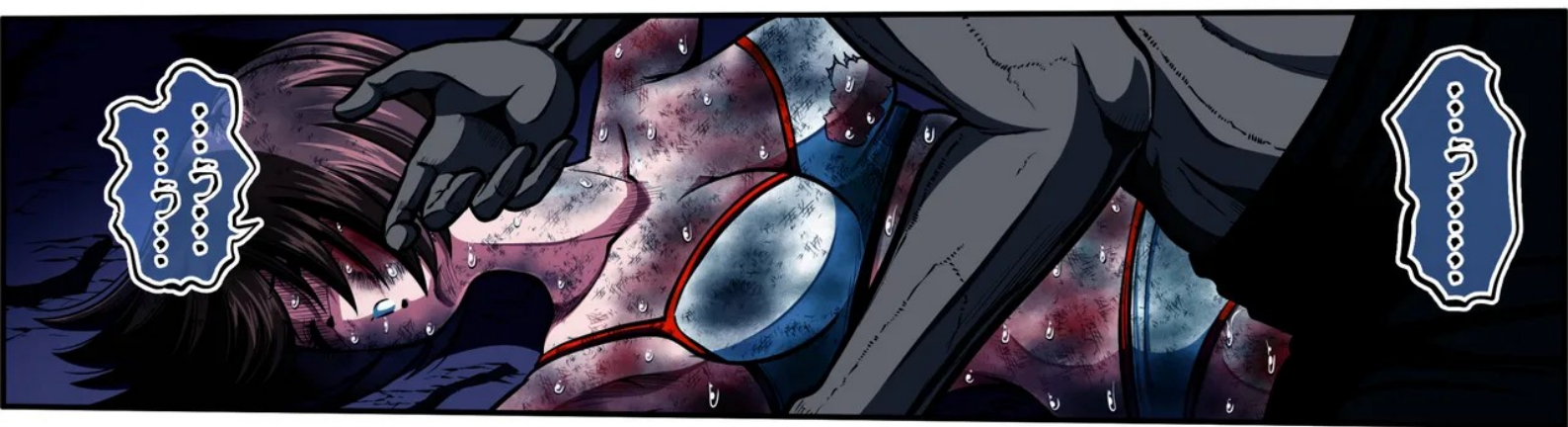
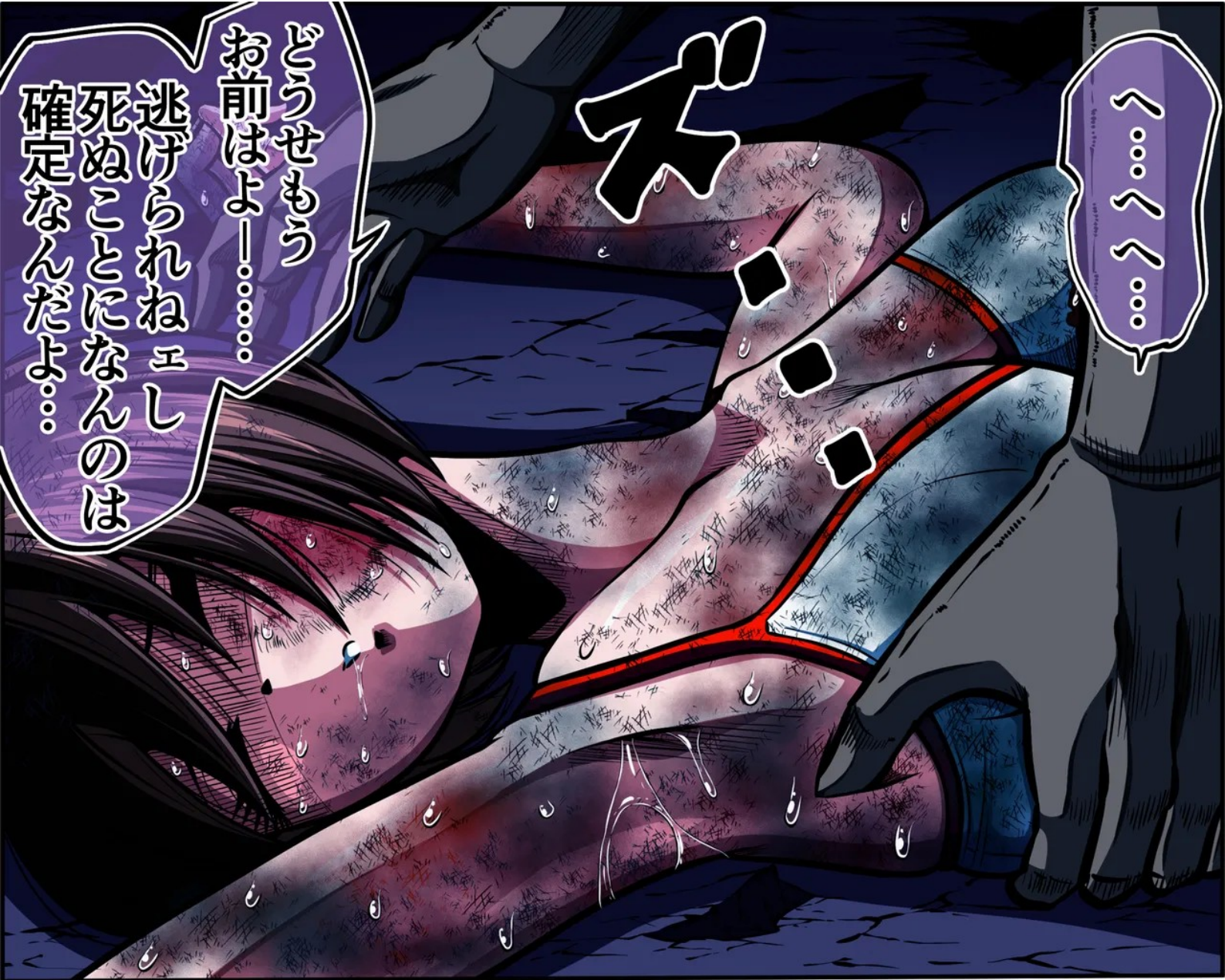
恥ずかしく
ない…の…!!
こん…な
こと…して…

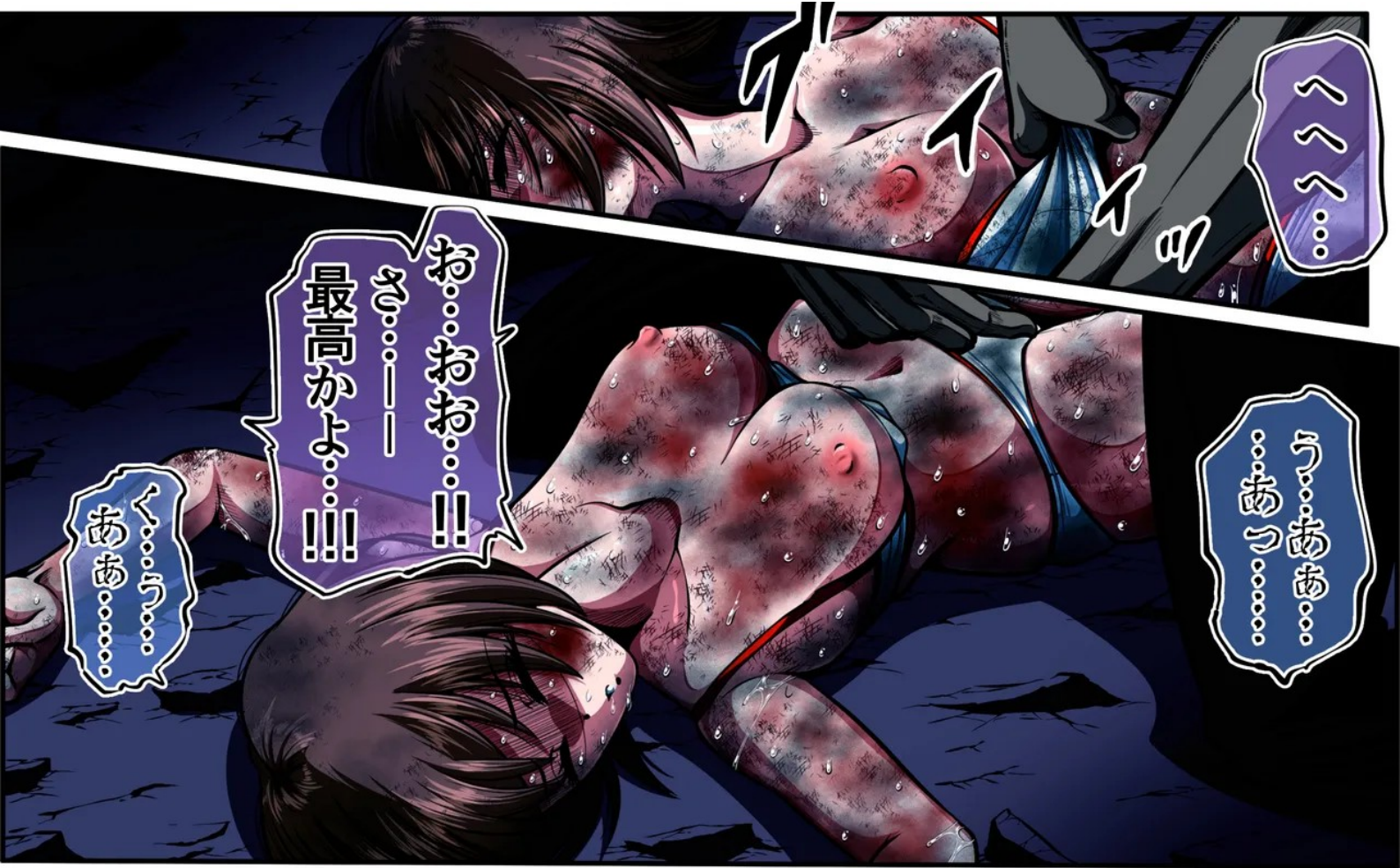
最…低な
男よ…ツ!!!

最…低…ツ!!!

う…

う…



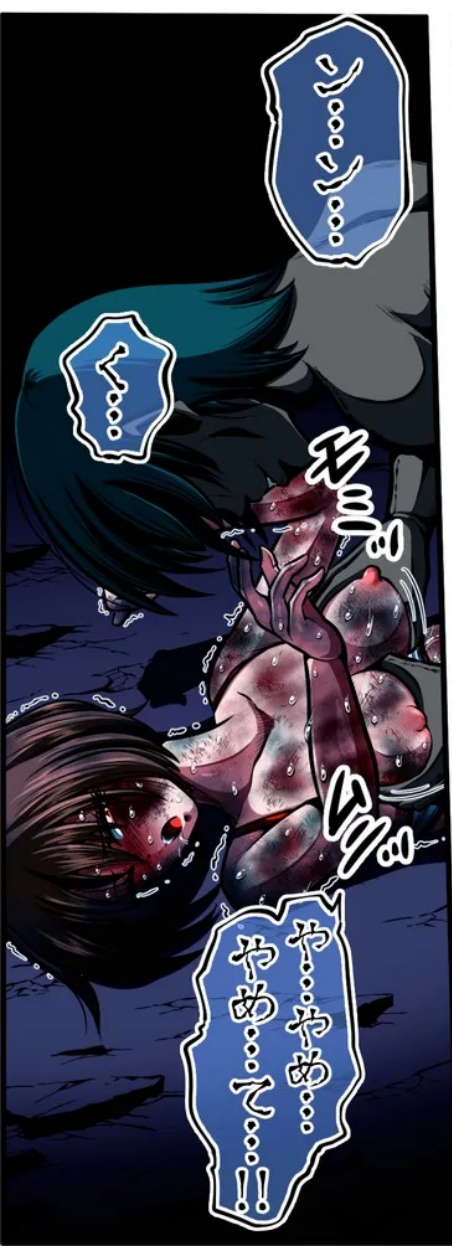


へへへ…

う…ああ…
ああ…

お…おお…!!
さ…最高かよ…!!!

く…う…
ああ…



ん…ん…

く…

や…やめ…
やめ…て…!!!



へへ…
でけエ…!!!

汚れてっ
けど…
ピンクの
乳首…!!

すげエ…
エツロオ…!!!

ん…

やらけえ
なア…
へへへ…!!

Eか?
いや、Fくらい
あんのか?

ああッ!!

いやあッ!!

乳首もめっちゃ
いい色だしよ…
ガチでエツロ…!!

じゃ…
味もー

試させて
もらうかな…
へへへ…!!

ゲ
ゲ
ゲ

…ッ!
…ッ!
…ッ!

…あ…!!

…あはッ…!
ああッ…!!

ン…
ン…
ン…!!

やめ…
て…!!

チュ
チュ
チュ

ううんッ!!
く…あッ…!!
!!!

濡すっ
ねれっ
エかてげ
!! かん
オじ
や

シシ……!
ツミが
……す
……げ
……エ

エヘ
ツヘ
ロヘ
ツ
オ……
……!!
……!!!

——……ッ!!
ち……ち
が……

ダ……だ
マンで
きね
エ!!!

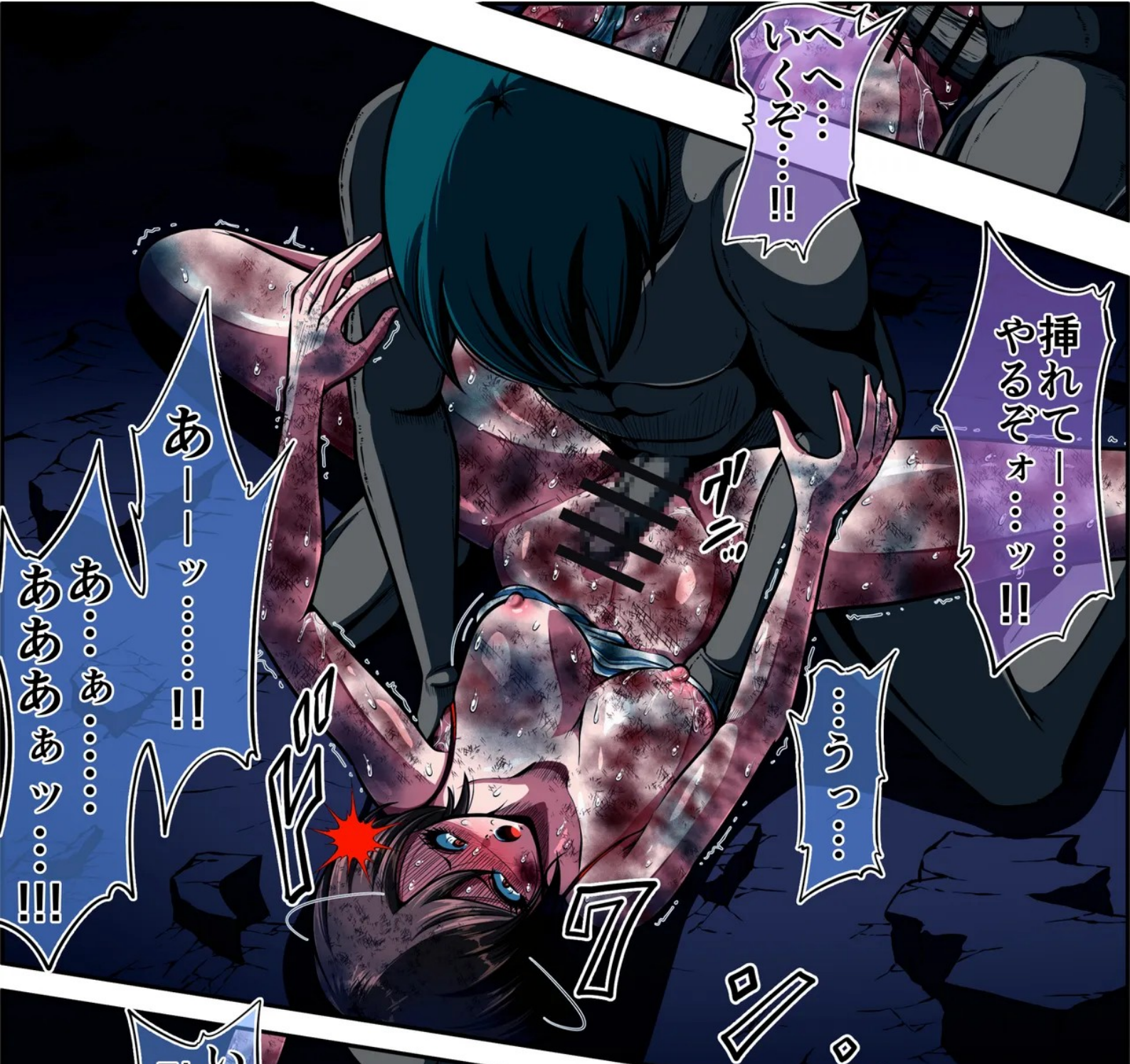
ダ……だ
も……
もう
体……

まとも
に……
動か
ない……

抵抗……
……でき
ない……

脱げ
オラッ!
こん
んな
もん
取っ
て
やる
よッ!!

あ
あッ……!
……!?
い
やあ
あッ……!
……!!!



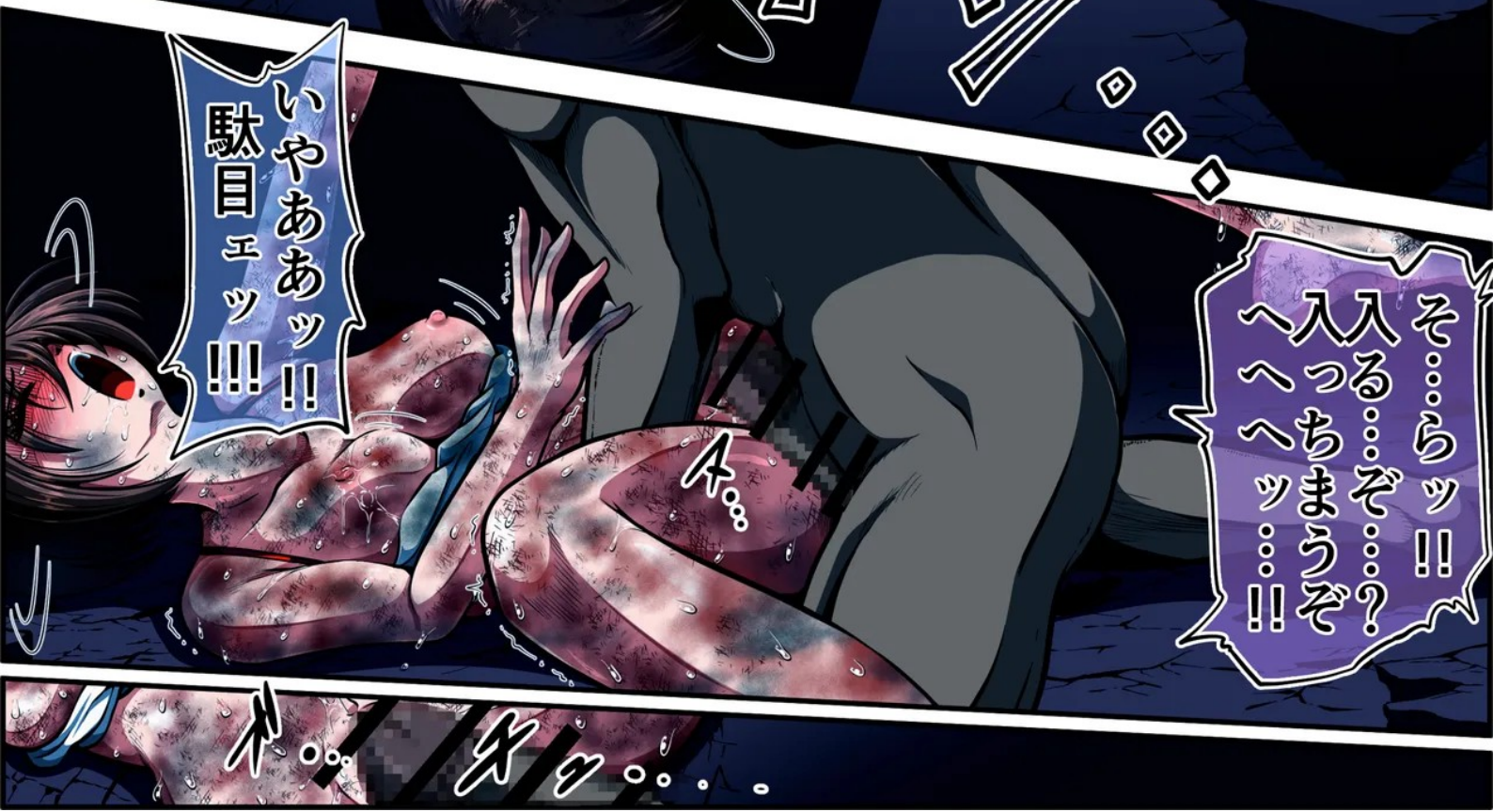
いへへ……
くぞ……!!

挿れて……
やるぞオ……ッ!!

……うっ……

あーッ……!!

あ……あ……
あああッ……!!!



いやああッ!!
駄目エッ!!!

そ……らッ!!
入る……ぞ……?
入っちまうぞ
へへッ……!!

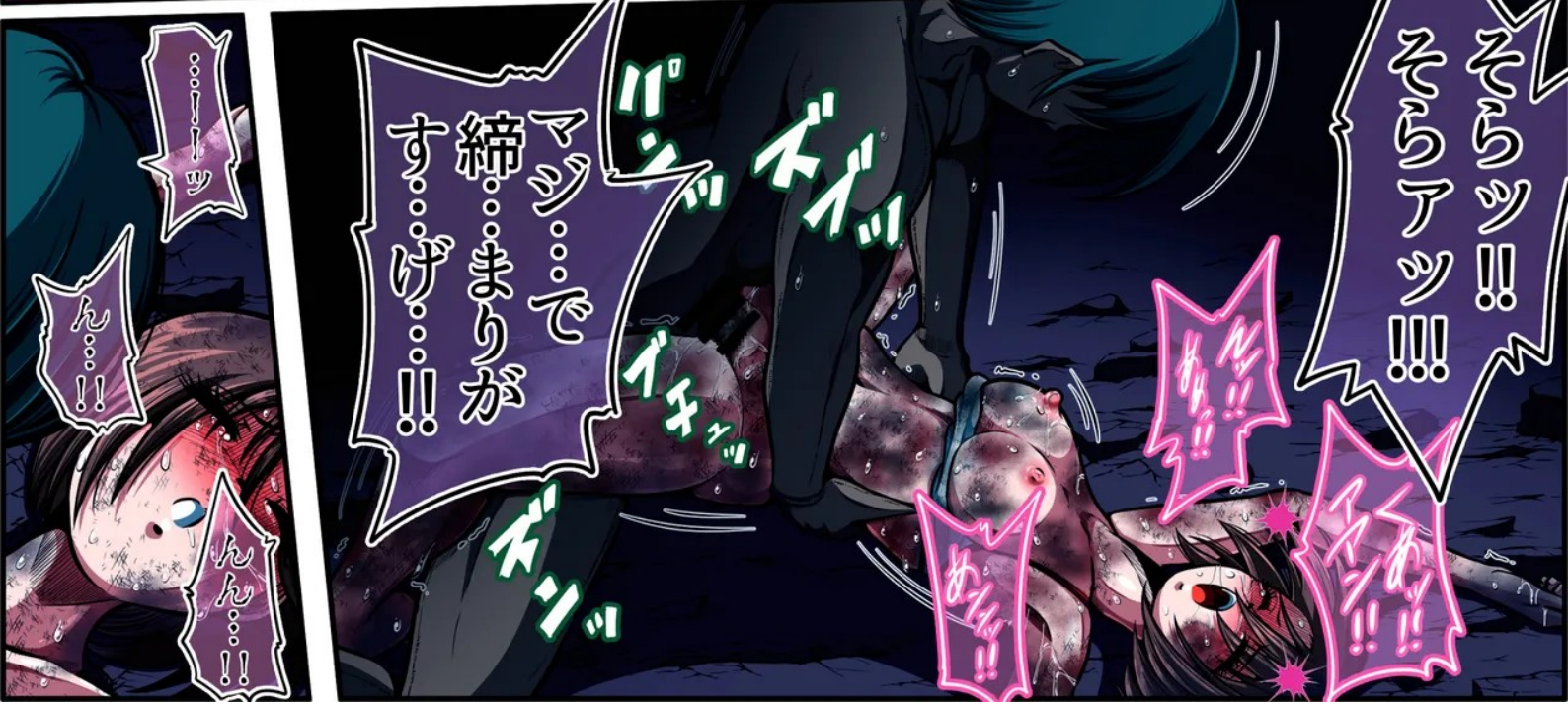
A……

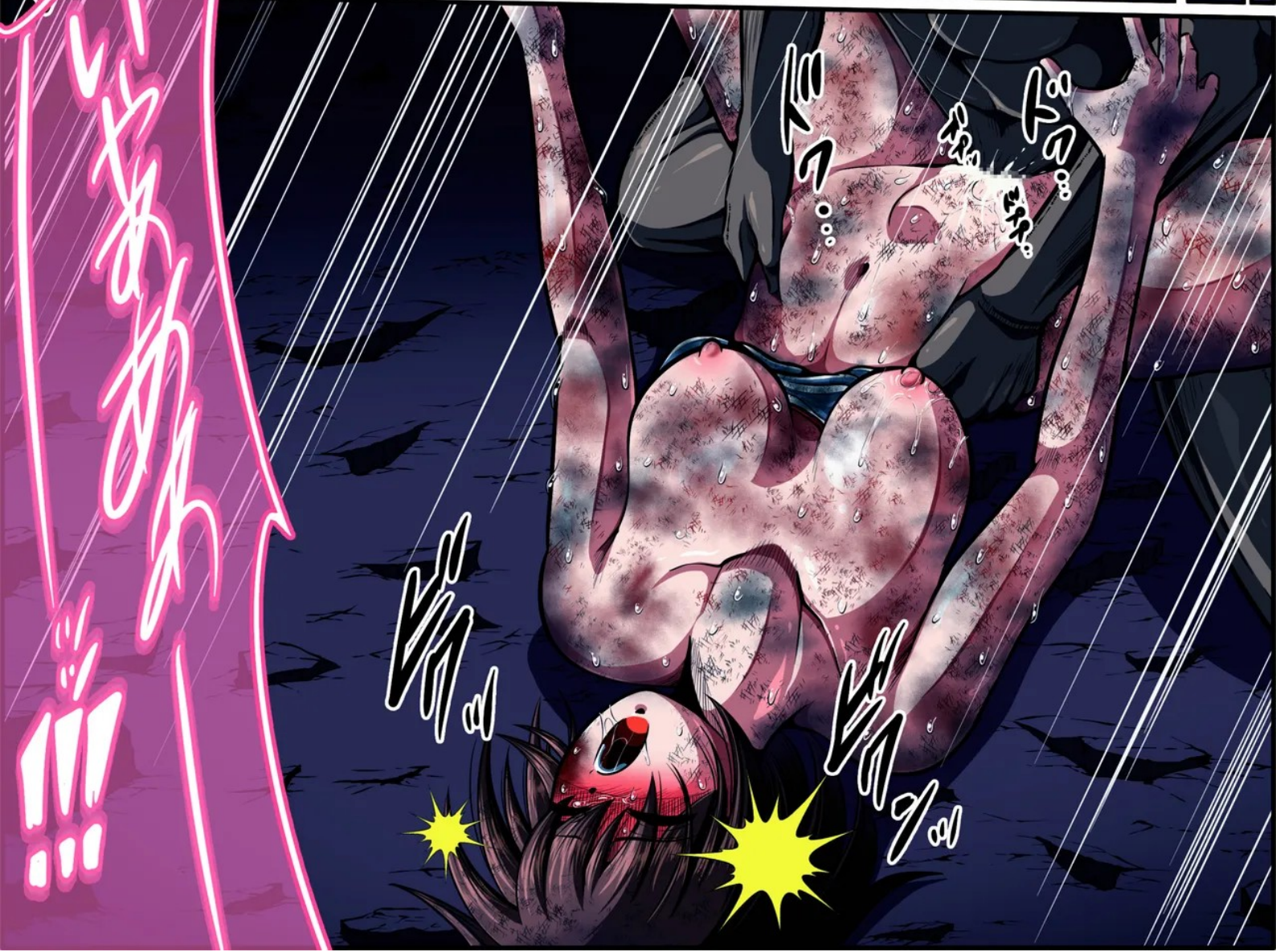
「こんなの……
いいモン
持ってる……」
「……たの
かよ……!!」

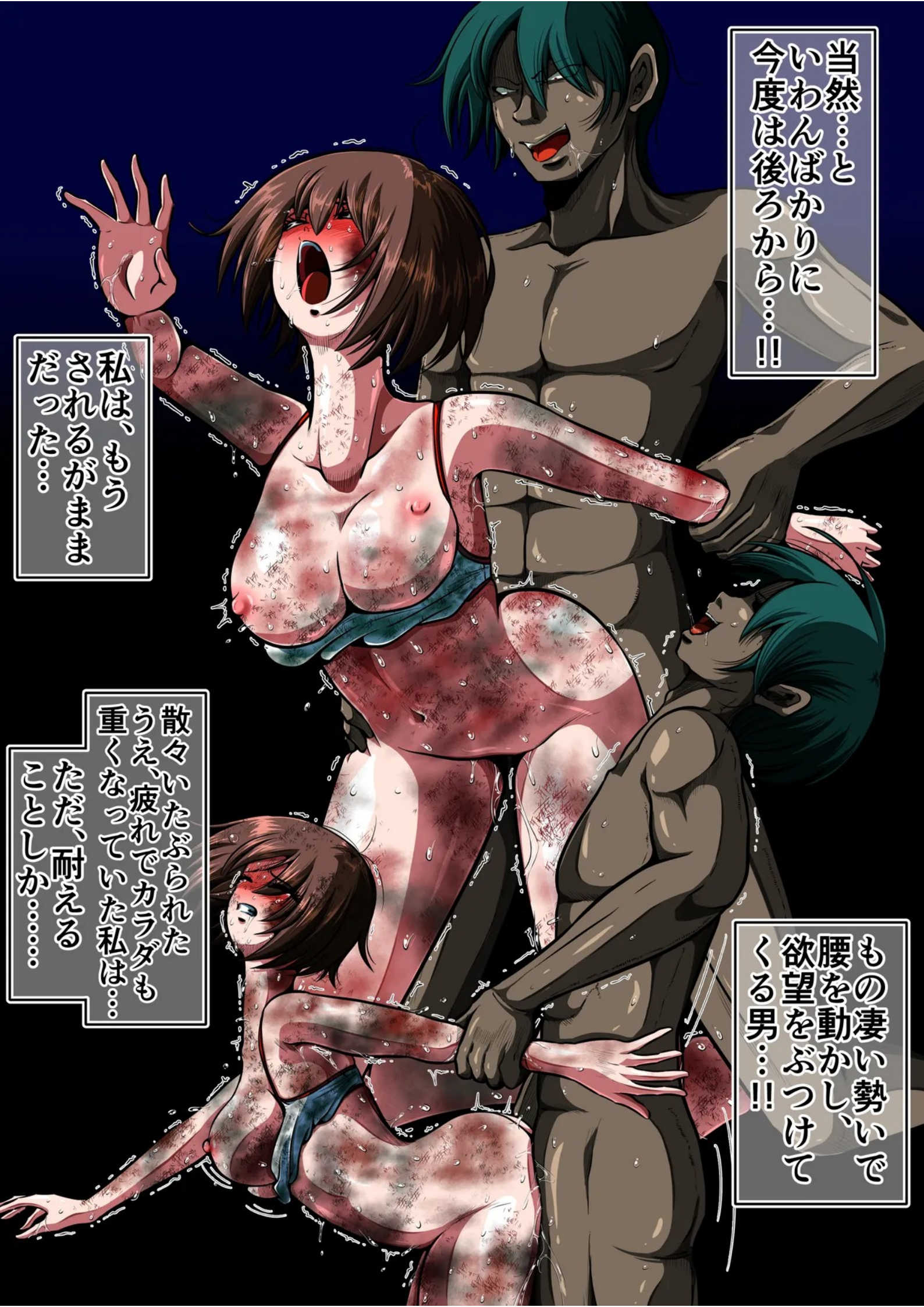
へっへん!!!



お、お、お、お……お……お……！！！！







当然…と
いわんばかりに
今度は後ろから…!!

私は、もう
されるがまま
だった…

散々いたぶられた
うえ、疲れてカラダも
重くなっていた私は…
ただ、耐える
ことしか……

もの凄い勢いで
腰を動かして
欲望をぶつけて
くる男…!!

いっ
たい……
何度……

ど……どれだけ……
すれば……
満足……なの……？

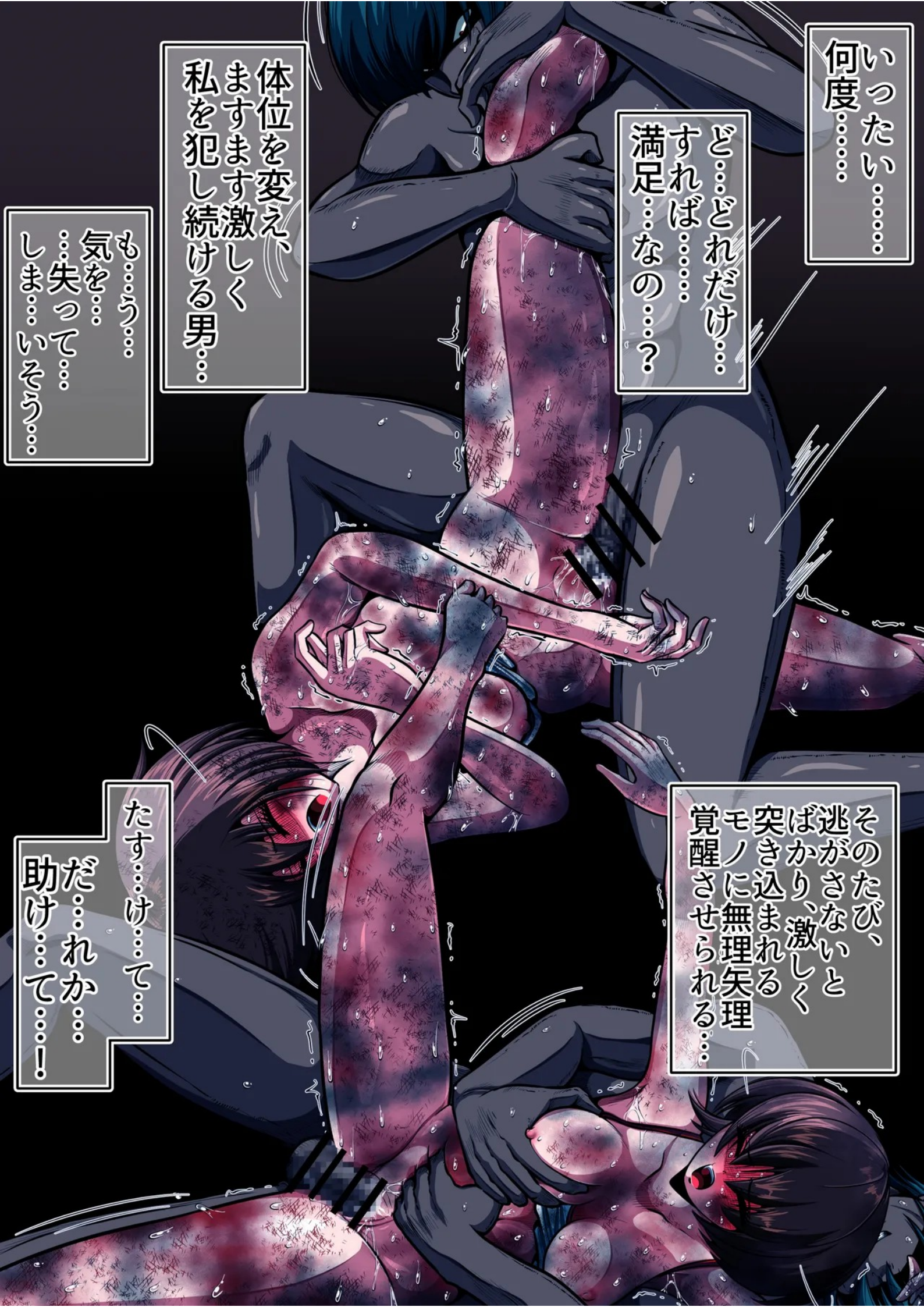
体位を変え、
ますます激しく
私を犯し続ける男……

も……う……
気を……
……失って……
しま……いそう……

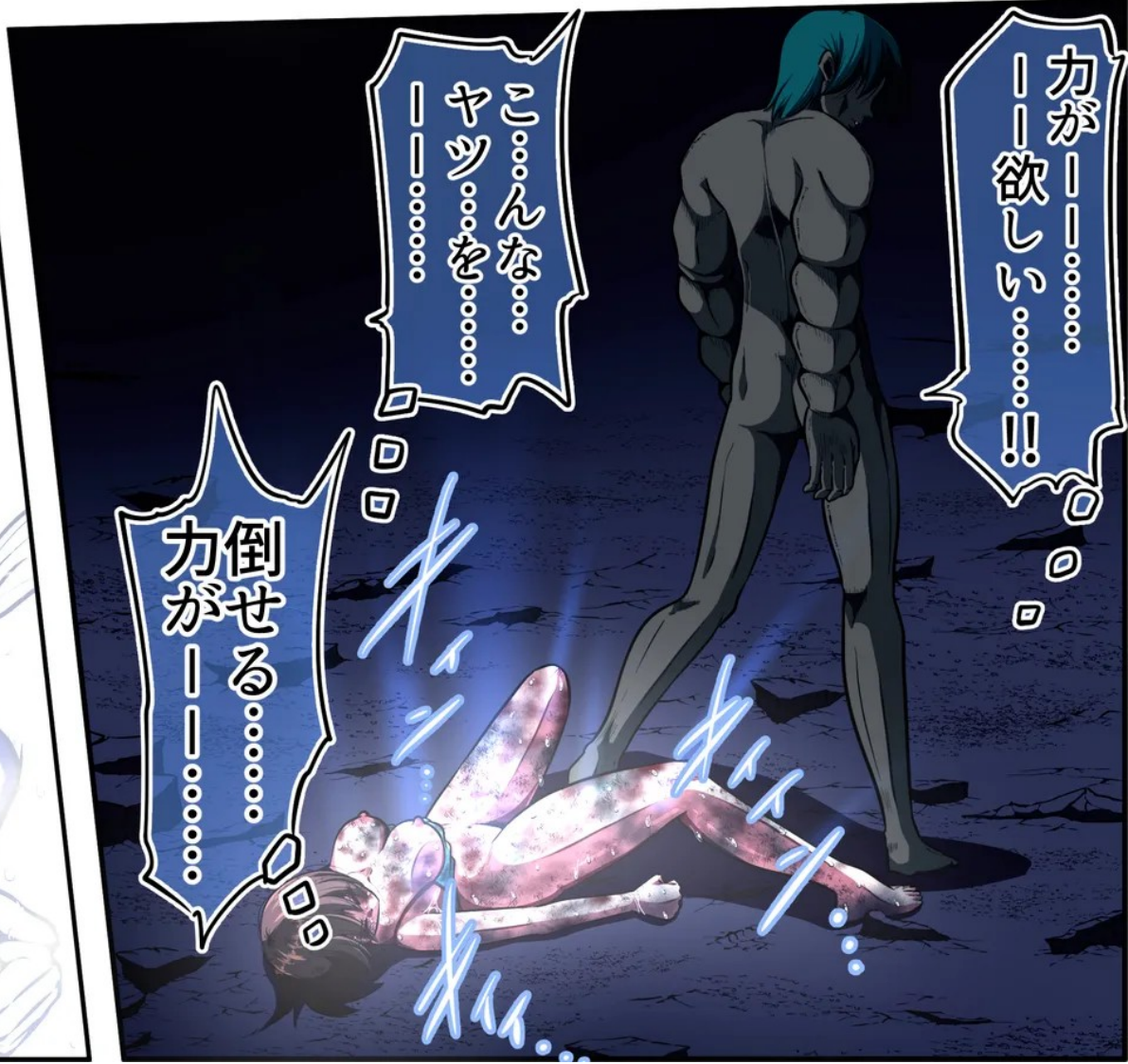
そのたび、
逃がさないと
ばかり、激しく
突き込まれる
モノに無理矢理
覚醒させられる……

たす……け……て……

だ……れか……
助け……て……!!



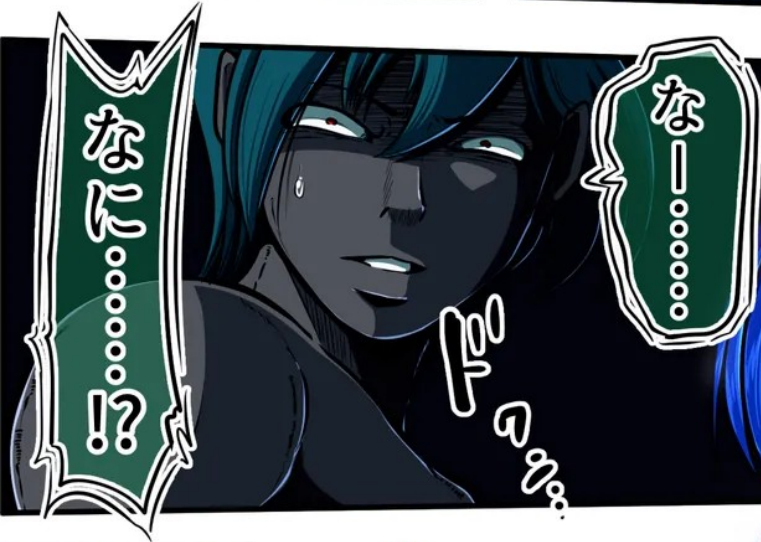


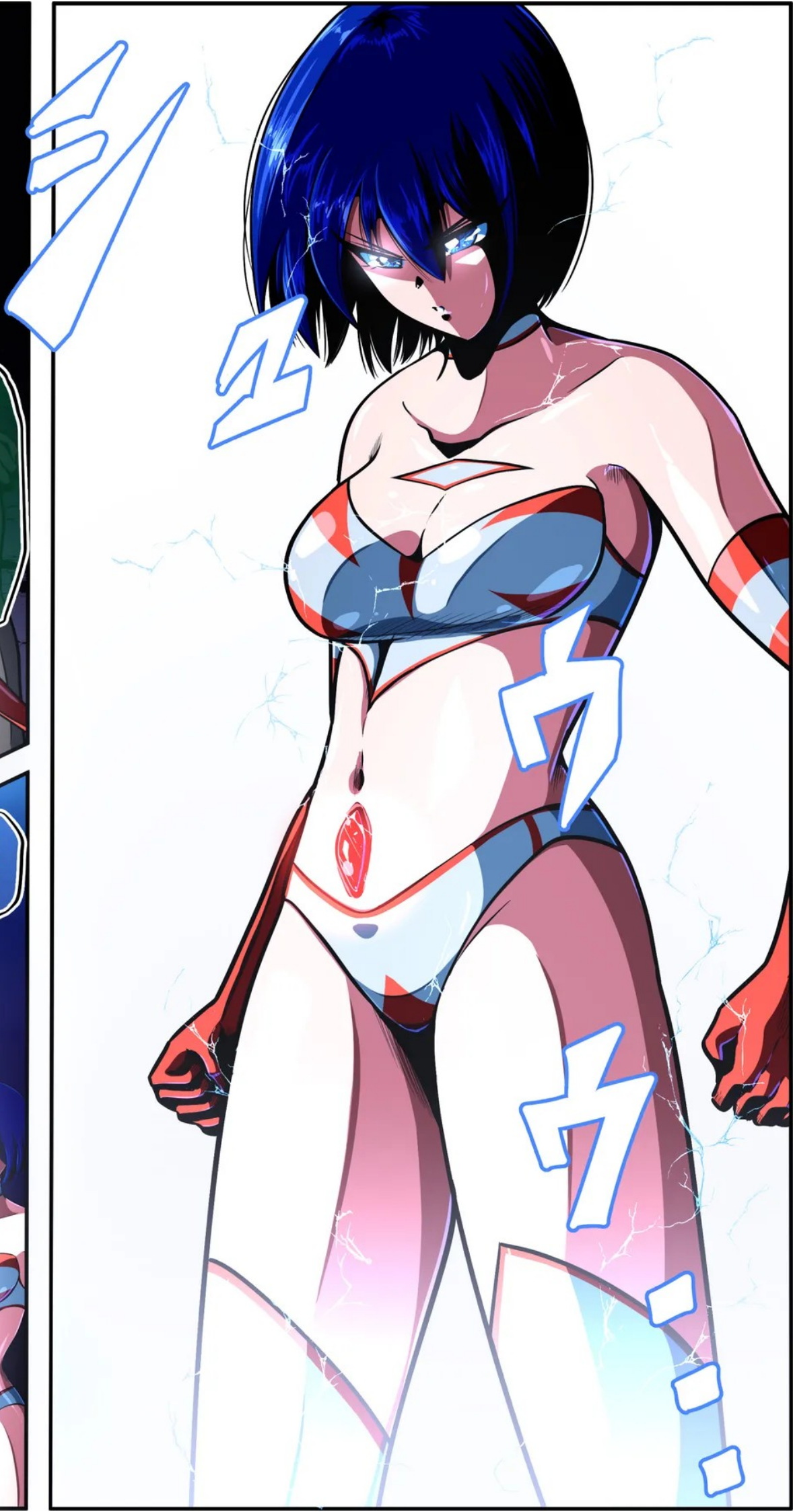


私だけのー

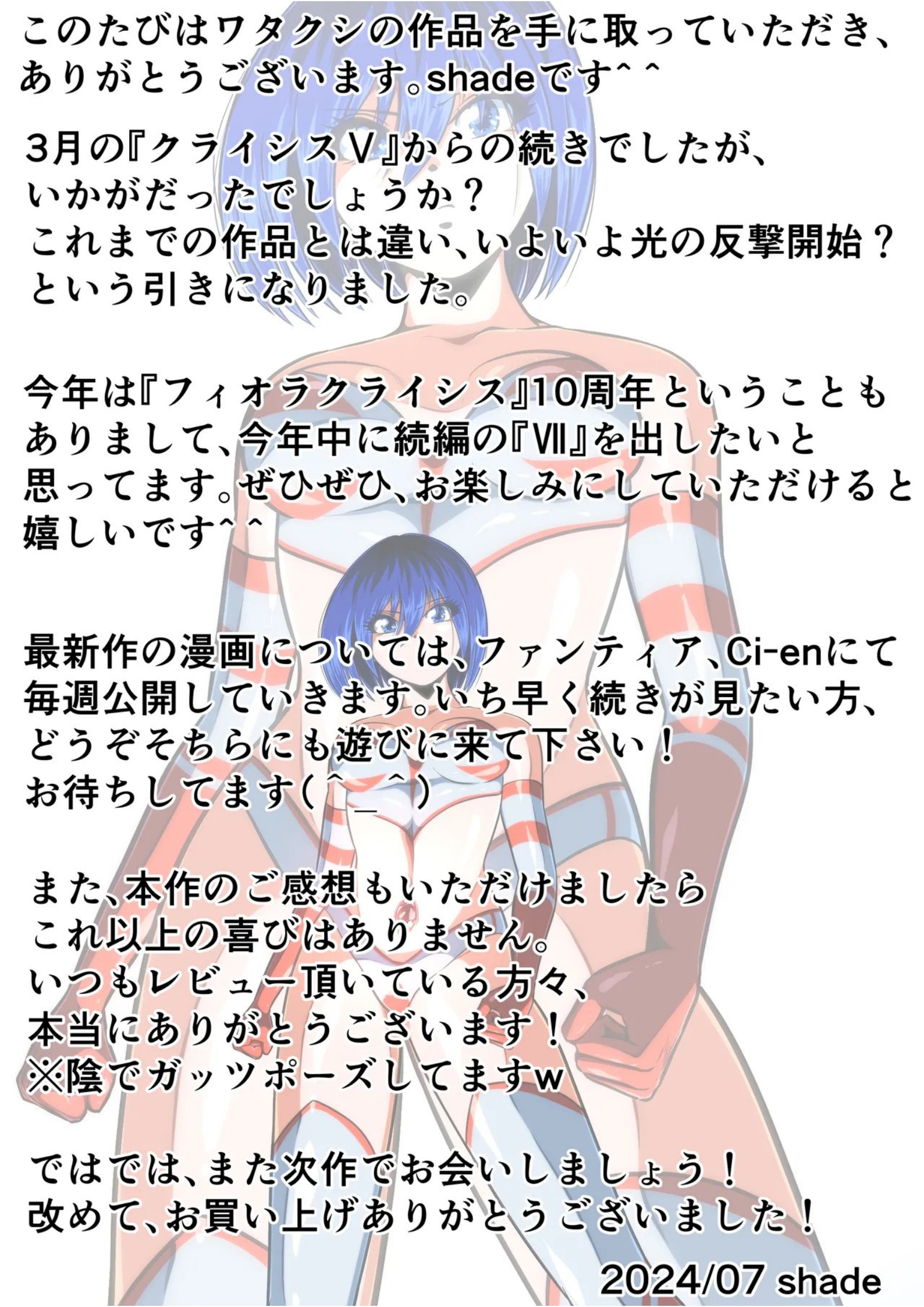
カ
が
!!











このたびはワタクシの作品を手にとっていただき、
ありがとうございます。shadeです^^

3月の『クライシスV』からの続きでしたが、
いかがだったでしょうか？

これまでの作品とは違い、いよいよ光の反撃開始？
という引きになりました。

今年は『フィオラクライシス』10周年ということも
ありまして、今年中に続編の『VII』を出したいと
思ってます。ぜひぜひ、お楽しみにしていただけると
嬉しいです^^

最新作の漫画については、ファンティア、Ci-enにて
毎週公開していきます。いち早く続きが見たい方、
どうぞそちらにも遊びに来て下さい！
お待ちしております(^-^)

また、本作のご感想もいただけたら
これ以上の喜びはありません。
いつもレビュー頂いている方々、
本当にありがとうございます！
※陰でガッツポーズしてますw

ではでは、また次作でお会いしましょう！
改めて、お買い上げありがとうございました！

2024/07 shade



FIORA CRISIS

フィオラクライシス

続く絶望の夜... 絶体絶命の光!